

昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院 年報

目 次

I 病院概要

1) 病院理念	7
2) 施設概要	11
3) 沿 革	13
4) 組 織	16
5) 医療機関の承認・指定状況等	18
6) 届出施設基準	19

II 診療統計及び臨床評価指標

1) 病院運営委員会に報告している統計資料	25
2) 診療科別・疾病分類別（入院）順位表	31
3) 診療科別 外来・入院診療実績	39

III 各部門活動状況

1 昭和大学病院

〈診療部門〉

1) 呼吸器・アレルギー内科	45
2) リウマチ・膠原病内科	47
3) 腎臓内科	48
4) 消化器内科	50
5) 血液内科	52
6) 循環器内科	53
7) 腫瘍内科	55
8) 総合診療科（ER）	57
9) 感染症内科	58
10) 心臓血管外科	60
11) 呼吸器外科	62
12) 消化器・一般外科	63
13) 乳腺外科	65
14) 小児外科	66
15) 脳神経外科	68
16) 整形外科	70
17) リハビリテーション科	72
18) 形成外科	73
19) 美容外科	75
20) 産婦人科	76
21) 小児科	79
22) 泌尿器科	81
23) 耳鼻咽喉科	83

24) 放射線科	85
25) 放射線治療科	87
26) 麻酔科	89
27) 救急医学科	91
28) 臨床病理診断科	93
29) 歯科・口腔外科	95
〈中央診療部門〉	
1) 総合周産期母子医療センター	96
1-1) 産科部門	96
1-2) 新生児部門	98
2) 血液浄化センター	100
3) 救命救急センター	102
4) ICU	103
5) CCU	105
6) リハビリテーションセンター	106
7) 中央手術室	108
8) 緩和ケアセンター	109
9) 褥瘡ケアセンター	111
10) 腫瘍センター	112
11) プレストセンター	113
12) 輸血センター	115
13) 超音波センター	117
14) 内視鏡センター	118
15) 頭頸部腫瘍センター	119
〈診療・患者支援部門〉	
1) 看護部	121
2) 薬局	123
3) 放射線室	125
4) 臨床検査室	127
5) 栄養科	129
6) 臨床工学室	131
〈診療運営部門〉	
1) 臨床試験支援センター	133
2) 診療録管理室	135
3) 医療情報室	136
4) 管理課	137
5) クオリティマネジメント課	139
6) 医事課	141
7) 医療推進課	143
〈クオリティマネジメント室 医療安全管理部門〉	
1) 医療安全管理部門	144
〈クオリティマネジメント室 感染管理部門〉	
1) 感染管理部門	145

〈ベッドコントロール管理室〉	
1) ベッドコントロール管理室	147
〈総合相談センター〉	
1) 総合相談センター	148
2 昭和大学病院附属東病院	
〈診療部門〉	
1) 糖尿病・代謝・内分泌内科	153
2) 神経内科	155
3) 精神・神経科	157
4) 眼 科	158
5) 皮膚科	160
6) 麻酔科（ペインクリニック）	162
〈中央診療部門〉	
1) 手術室	164
〈診療・患者支援部門〉	
1) 看護部(大学病院看護部に収蔵 P121参照)	
2) 薬局	165
3) 臨床検査室(大学病院臨床検査室に収蔵 P127参照)	
4) 放射線室	167
5) 栄養科	168
〈診療運営部門〉	
1) 臨床試験支援室(大学病院臨床試験センターに収蔵 P133参照)	
2) 管理課	170
〈クオリティマネジメント室 医療安全管理部門〉	
1) 医療安全管理部門	171
〈クオリティマネジメント室 感染管理部門〉	
1) 感染管理部門	173
〈総合相談センター〉	
1) 総合相談センター(大学病院総合相談センターに収蔵 P148参照)	

〈本文のデータはすべて平成29年3月時点のものを記載しております。〉

I 病院概要

1) 病院理念

昭和大学の理念

本学は、創設者である上條秀介博士の「国民の健康に親身になって尽せる臨床医家を養成する」という願いのもとに設立された。その後、医学部・歯学部・薬学部および保健医療学部の四学部からなる医系総合大学に発展し、人々の健康の回復・維持・増進に貢献すべく、医療に携わる多くの専門家を輩出してきた。価値観が多様化し、社会構造の変化が地球規模で進む現代では、人々の医療に対する要求は多様かつ高度になり、医療のあり方もそれぞれの専門領域で深化するとともに分化してきた。その一方で、多種の医療専門職が互いに連携して克服すべき課題も生じ、専門領域の新たな統合も模索されてきている。このような時代の要請に対して、本学こそ、医系総合大学という特長を生かして、専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造をめざすにふさわしく、またその達成が可能であると自ら信じるものである。これまでも増して、建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」の精神を體現し、真心を持って国民一人一人の健康を守るために孜孜として尽力することを本学の使命とする。

昭和大学病院の理念

● 患者本位の医療	● 高度医療の推進	● 医療人の育成
-----------	-----------	----------

昭和大学病院が目標とする医療

1. 患者さんの目線で考える医療
2. 職種・職域を越えたチーム医療
3. 先進的な医療の実践

昭和大学病院の基本方針

1. 患者さんにとって安心・安全で質の高い医療を提供する。
2. 地域との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
3. 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
4. 生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた臨床研究を実施する。

昭和大学病院職員の倫理指針

1. 安全で良質な医療の提供に努める。
2. 患者さんの生命及び人間としての尊厳、権利を尊重する。
3. 患者さんに対して全て平等に接する。
4. 患者さんに対し治療について解りやすい言葉と方法で納得されるまで説明する。

患者さんの権利

医療は患者さんと医療従事者（医療機関）との十分な信頼関係の上で成り立っています。昭和大学病院は、すべての患者さんの下記の権利を尊重した医療を行います。

1. 安全で良質な医療を受ける権利。
2. 各人の人格が尊重された医療を受ける権利。
3. 個人の希望や意見を述べる権利とともに、希望しない医療を拒否する権利。
4. 解りやすい言葉と方法で、納得できるまで説明と情報を受ける権利。
5. 十分な説明と情報を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利。

当病院は医学教育のための施設でもあります。そのため、医学生・薬学生や看護学生などの教育実習が行われております。また、当病院は教育とともに医学研究を行っておりますので、患者さんの医学的な記録を研究に使用させていただくことがあります。この場合、患者さんの人権は保護された上で行いますので、あわせて皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昭和大学病院を受診される患者の皆様へ

－医療安全に関するメッセージ－

病院の中で行われる手術や注射、検査などを診療行為と言います。その診療行為の多くは、皮膚を切ったり、体に針を刺したりするため、身体にとって負担となるわけです。通常、その負担よりも診療行為による治療効果等の「利益」の方が大きいので、病院では診療行為が行われるわけです。しかし、今までの医療の発展の歴史や、今後とも発展させて行かねばならないことを考えますと、現在も医療とは本質的に不確実なものであることをご理解下さい。つまり、私たち医療に携る者が、例えば、不注意によって起こしてしまうような「過失」がなくても、重大な合併症や偶発症が起こり得ます。加齢に伴う、またはひそかに進行していた病気が診療行為の前や後に発症する可能性もあります。ですからそれらが起こった場合は、治療に最善を尽くすことはもちろんですが、最悪の事態もあり得ます。生命の仕組みを解明する努力は日進月歩でなされていますが、私ども医学の専門家からみても、生命は複雑でかつ神秘的でさえあります。重要な合併症で予想できるものについては十分に説明することができます。しかし、極めて稀なものや予想のつかないものもありますので、全ての可能性を説明することはできません。つまり、このように医療は必ずしも確実ではないということです。医療の進歩により確実に説明できる範囲が増えていることは確かですが、全てにわたって説明できるということはこれからも不可能と思わねばなりません。今後皆様には、私どもが医療行為を行うにあたり、同意書などを求めることがあると思います。その場合には、こうした不確実なことが医療には存在することをご承知いただいた上で同意書に署名して下さい。疑問があるときには、納得できるまで質問して下さい。納得できない場合には、無理に結論を出さずに、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）をお聞きになるようお勧めします。何かお困りのことが生じましたら『総合相談センター（中央棟 1 階正面入口から入って右隣り）』に遠慮なくご相談下さい。今後とも、皆様とともに協働して質の高い医療を実践していく所存です。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

迷惑行為について

次のような迷惑行為は、診療をお断りするとともに、所轄警察に届ける場合があります。

- ・ 他の患者さんや職員にセクシャルハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはその恐れが強い場合。
- ・ 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、あるいは職員の業務を妨げた場合。
- ・ 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合。
- ・ 建物設備等を故意に破損した場合。
- ・ 受診に必要なのない危険な物品を院内に持ち込んだ場合。

これからの医療にあたって

「新しい医療の考え方 当病院ではこのように考えております。」今日の医療環境では、一つの診療所や病院のみで患者さんの診断から治療、経過観察が終了するまでのすべてを行うことは難しくなっております。（これを院内完結医療といいます。）一方、近隣の医療機関と連携・協力して医療にあたることを地域内完結医療といい、国の医療政策でもあります。当病院は、地域内完結医療を目指し、病診連携を積極的に行っており「かかりつけ医」の推進をしております。病状が安定され、お薬のみで来院されている方や退院後などに往診が必要な患者さんにおかれましては、紹介元の先生方のところに戻っていただき、「かかりつけ医」が決まっていない患者さんにおかれましては、ご希望に応じて患者さんのご自宅に近い診療所・病院をご紹介します。また、かかりつけ医の先生方の診療において専門治療が必要と判断されたときや、定期的に検査が必要な患者さんにつきましては、従来どおり安心して当病院で診察を行えます。詳細につきましては、主治医または医療連携窓口（中央棟1階正面入口奥）へご相談下さい。

患者さんの個人情報について

当病院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。また、取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 個人情報の利用目的

個人情報は、各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで下記の目的に利用されます。

（1）当病院での利用

患者さんがお受けになる医療サービス

医療保険事務

患者さんに関係する管理運営業務

（入退院等の病棟管理、会計・経理、医療事故の報告、医療サービスの向上）

医療サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

（2）当病院および学校法人昭和大学での利用

医学系教育

症例に基づく研究

外部監査機関への情報提供

この利用に当たりましては、匿名化するよう努力します。

(3) 他の事業者等への情報提供

他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との医療サービス等に関する連携

他の医療機関等からの医療サービス等に関する照会への回答

患者さんの診療等にあたり外部の医師等の意見・助言を求める場合

検体検査業務の委託その他の業務委託

ご家族への病状説明

医療保険事務（保険事務の委託、審査支払機関へのレセプトの提出）

審査支払機関又は保険者からの照会への回答

関係法令等に基づく行政機関及び司法機関等への提出等

関係法令に基づいて事業者等からの委託を受けて健康診断を行った場合における、事業者等へのその結果通知

医師賠償責任保険などに係る医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

(4) その他の利用

上記利用目的以外に個人情報を利用する場合は、書面により同意をいただくことといたします。

2. 個人情報開示請求

所定の手続きのうえ、自己の個人情報の開示を請求することができます。

(1) 開示相談窓口：総合相談センター患者相談担当（03-3784-8775）

(2) 請求手数料：患者さんが個人情報の開示を請求する場合は、当病院が定めた手数料を納めていただきます。

手数料 5,400 円（税込） コピー代 1 ページ 43 円（税込）

※詳細は窓口にご確認ください。

3. 個人情報についての相談他

当病院での個人情報の取扱い等に関して、ご不明な点・ご異義等がございましたら、下記にご連絡下さい。

総合相談センター患者相談担当（03-3784-8775）

4. 付記

- ・上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当医にご相談下さい。
- ・お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
- ・これらのお申し出は、いつでも撤回、変更することが可能です。

診療録について

当病院の診療録は、院内、院外の施設に保存しており、運用管理においては、日常の診療に不都合が生じることの無いよう万全の体制を整えております。また、主に院外の保存につきましては、患者さんの個人情報の保護に努めた運用を行っておりますのでご了承下さい。

2) 施設概要

規模	中央棟 入院棟	S R C造 S R C造	地上 1 1 階 地上 1 8 階	地下 3 階 地下 3 階
面積	(延床面積)	中央棟 入院棟	38703.71 m ² 29297.58 m ²	
電気設備	特別高圧 S N W 方式 3 回線 22 K V (3,000 K V A × 3) 設備容量 中央棟 変圧器 25 台 9,950 K V A、入院棟 変圧器 23 台 5,000 K V A、 計 14,950 K V A 自家用発電機 中央棟 ガスタービン発電機 (空冷式) 1,500 K V A × 1 台 入院棟 ディーゼル発電機 (水冷式) 1,250 K V A × 1 台 C V C F 設備 中央棟 2 組・100 V 出力 100 K V A 入院棟 1 組・100 V 出力 100 K V A			
空調設備	中央棟 入院棟	空調機 F C U P A C 送排風機 空調機 F C U P A C 送排風機	53 台 521 台 20 台 192 台 21 台 400 台 24 台 60 台	
給排水設備	給水設備 給湯設備 排水設備 R I 排水設備	中央棟 中央棟 中央棟 中央棟	上水受水槽 217 m ³ 、上水高架水槽 43 m ³ 雑用水受水槽 145 m ³ 、雑用水高架水槽 27 m ³ 入院棟 上水受水槽 500 m ³ 、上水高架水槽 30 m ³ × 2 台 9.5 m ³ × 2 台 7.9 m ³ × 2 台、2.2 m ³ × 2 台、2.9 m ³ × 2 台 汚水排水調整槽 130 m ³ 、雑排水調整槽 190 m ³ 、雨水貯留槽 204 m ³ 汚水槽 20 m ³ 、雑排水槽 20 m ³ 、グリストラップ 20 m ³ × 2 槽 貯留槽 20 m ³ × 3 基 (排水量 1 m ³ / 日)	
ガス設備	都市ガス (中圧・低圧)			
昇降機設備	中央棟 入院棟	乗用 (展望用) 人荷用 (非常用) 寝台用 乗用 荷物用 (クリーンタイプ) 乗用 (油圧) ダムウェーター エスカレーター 乗用 (非常用) 寝台用 (非常用) 寝台用 人荷用 (非常用) 人荷用 (厨房用) ダムウェーター	120 m / m i n 120 m / m i n 120 m / m i n 120 m / m i n 60 m / m i n 45 m / m i n 30 m / m i n 30 m / m i n 150 m / m i n 150 m / m i n 105 m / m i n 105 m / m i n 150 m / m i n 60 m / m i n	15 人用 3 基 (No. 1 ~ 3) 26 人用 2 基 (No. 4・9) 15 人用 2 基 (No. 5・6) 15 人用 2 基 (No. 7・8) 600 k g 1 基 (No. 10) 9 人用 1 基 (No. 11) 100 k g 2 基 (DW No. 1・2) 1200 形 8 基 17 人用 2 基 (No. 1・2) 14 人用 1 基 (No. 3) 14 人用 1 基 (No. 4) 17 人用 1 基 (No. 5) 17 人用 1 基 (No. 6) 100 k g 1 基 (故障中)
エネルギー設備	中央棟 入院棟	電動ターボ冷凍機 × 2 台 (289 U S R T) 冷温水発生機 × 2 台 (564 U S R T) 貫流ボイラー × 4 台 (換算蒸発量 2,000 k g / h) 真空温水ボイラー × 2 台 (1000 M C a l / h、400 M C a l / h) × 1 台 冷温水発生機 × 2 台 (450 U S R T) 貫流ボイラー × 3 台 (換算蒸発量 2,000 k g / h)	燃料: 都市ガス 13 A および非常用灯油 燃料: 都市ガス 13 A 及び灯油 燃料: 非常用灯油 燃料: 都市ガス 13 A 燃料: 都市ガス 13 A	

■昭和大学病院附属東病院(平成29年3月現在)

規模	SRC造 地上7階 地下2階				
面積	(延床面積) 東病院 12,955㎡				
電気設備	地中方式 1回線6.6kv 設備容量 Tr8台 2,600KVA 自家発電機 ガスタービン発電機(空冷式)500KVA CVCF設備 1組・100v 15KVA				
空調設備	AC 8台 AHE 3台 FCU 66台 PM・モジュラック 計210台 PMAC 131台 モジュラック 79台 PAC 5台 エアコン 12台 給気ファン (CT室、X線室、DR、監視室、栄養科、清掃室、霊安室、守衛室、診療録) 計84台 シロッコ型 20台 ライン型 43台 換気扇 21台				
給排水設備	給水設備 上水受水槽 60㎡ 1基 (加圧ポンプ式) 消火水槽 給湯設備 ストレージタンク 4.2㎡×2台 排水設備 機械排水槽×1 雨水槽×2 汚水槽(86㎡)×1 雑排水層(80㎡)×1 湧水槽×3 グリストラップ(1㎡)×1 グリストラップ 栄養科(1㎡)×1 2階食堂×1				
ガス設備	都市ガス(低圧)				
昇降機設備	寝台用	2台	No.1、2	90m/min	14名
	乗用	2台	No.3、4	90m/min	11名
	ダムウェーター	2台	No.5、6	30m/min	200kg
エネルギー設備	水冷チラー×3台 207kw×3 燃料:電気 ボイラー×2台 350kg/h(換算蒸発量) 燃料:ガス ボイラー×1台 400kg/h(換算蒸発量) 燃料:灯油 バコティンヒーター×2台 679kw(最大燃焼量) 燃料:ガス バコティンヒーター×1台 40,600KJ/m³(低発熱量) 燃料:ガス・灯油(併用)				

3) 沿革

昭和大学病院沿革

年 号	西 暦	年 譜
大正 14	1925	医学博士上條秀介、医学専門学校設立の必要を提唱し石井吉五郎らと同志を募る。 学校設立地を東京府荏原郡平塚大字中延に決める。
大正 15	1926	第 1 回創立委員会開催、創立の方針を決める。創立委員長に鍋木忠正。 上條秀介宅を創立事務所とし、上條秀介常務委員となる。
昭和 2	1927	東京府荏原郡荏原町の敷地に講堂及び附属医院を建築着工。
昭和 3	1928	財団法人昭和医学専門学校を設立し、昭和医学専門学校設置。講堂及び附属医院竣工。
昭和 21	1946	学校法人昭和医科大学設立。昭和医科大学病院に名称変更。
昭和 39	1964	昭和医科大学病院を昭和大学病院に名称変更。
昭和 55	1980	昭和大学病院入院棟竣工。
昭和 62	1987	東棟（現、昭和大学病院附属東病院）開設。
平成 6	1994	昭和大学病院、特定機能病院に認可される。
平成 7	1995	阪神淡路大震災で昭和大学医療救援隊 1 か月間医療奉仕。 エイズ拠点病院となる。
平成 8	1996	昭和大学病院中央棟第一期工事竣工、診療開始。 （地域）災害拠点病院に選定される。
平成 9	1997	東京都災害時後方医療施設の指定を受ける。
平成 10	1998	昭和大学病院中央棟二期工事竣工。
平成 11	1999	昭和大学病院中央棟二期工事竣工。東棟分離・独立。 （昭和大学病院附属東病院開設） 救命救急センターの認定を受ける。 日本医療機能評価機構により病院機能評価の認定を受ける。
平成 15	2003	東京都総合周産期母子医療センターとして指定を受ける。 DPC 対象病院となる。 東京都 CCU ネットワークに加盟する。
平成 16	2004	臨床研修指定病院となる。 日本医療機能評価機構により病院機能評価の更新認定を受ける。
平成 17	2005	東京 DMAT 指定医療機関として指定を受ける
平成 18	2006	特定機能病院入院基本料（7：1 入院基本料）届け出。
平成 20	2008	東京都認定がん診療病院として認定を受ける。
平成 21	2009	東京都母体救命対応総合周産期母子医療センターとして指定される。 日本医療機能評価機構により病院機能評価の更新認定を受ける。
平成 22	2010	がん診療連携拠点病院として認定を受ける。 ブレストセンターの新設。
平成 23	2011	臓器別のセンターの新設。 総合診療部の新設。
平成 24	2012	東京都より DMAT カーが配備。 卒後臨床研修評価機構により臨床研修評価の認定を受ける。

年 号	西 暦	年 譜
平成 25	2013	内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入。 内視鏡センター改修工事
平成 26	2014	日本医療機能評価機構により病院機能評価の更新認定を受ける。 がん診療連携拠点病院としての更新認定を受ける。 卒後臨床研修評価機構により臨床研修評価の更新認定を受ける。 頭頸部腫瘍センターの新設。 優良防火対象物の認定を受ける。
平成 27	2015	ハイブリッド手術室の新設。

昭和大学病院附属東病院沿革

年 号	西 暦	年 譜
昭和 62	1987	東棟（現、昭和大学病院附属東病院）開設。
平成 11	1999	昭和大学病院より分離・独立。 昭和大学病院附属東病院開設。
平成 21	2009	DPC 対象病院となる。

病床種別病床数の推移
施設名 昭和大学病院、昭和大学附属東病院

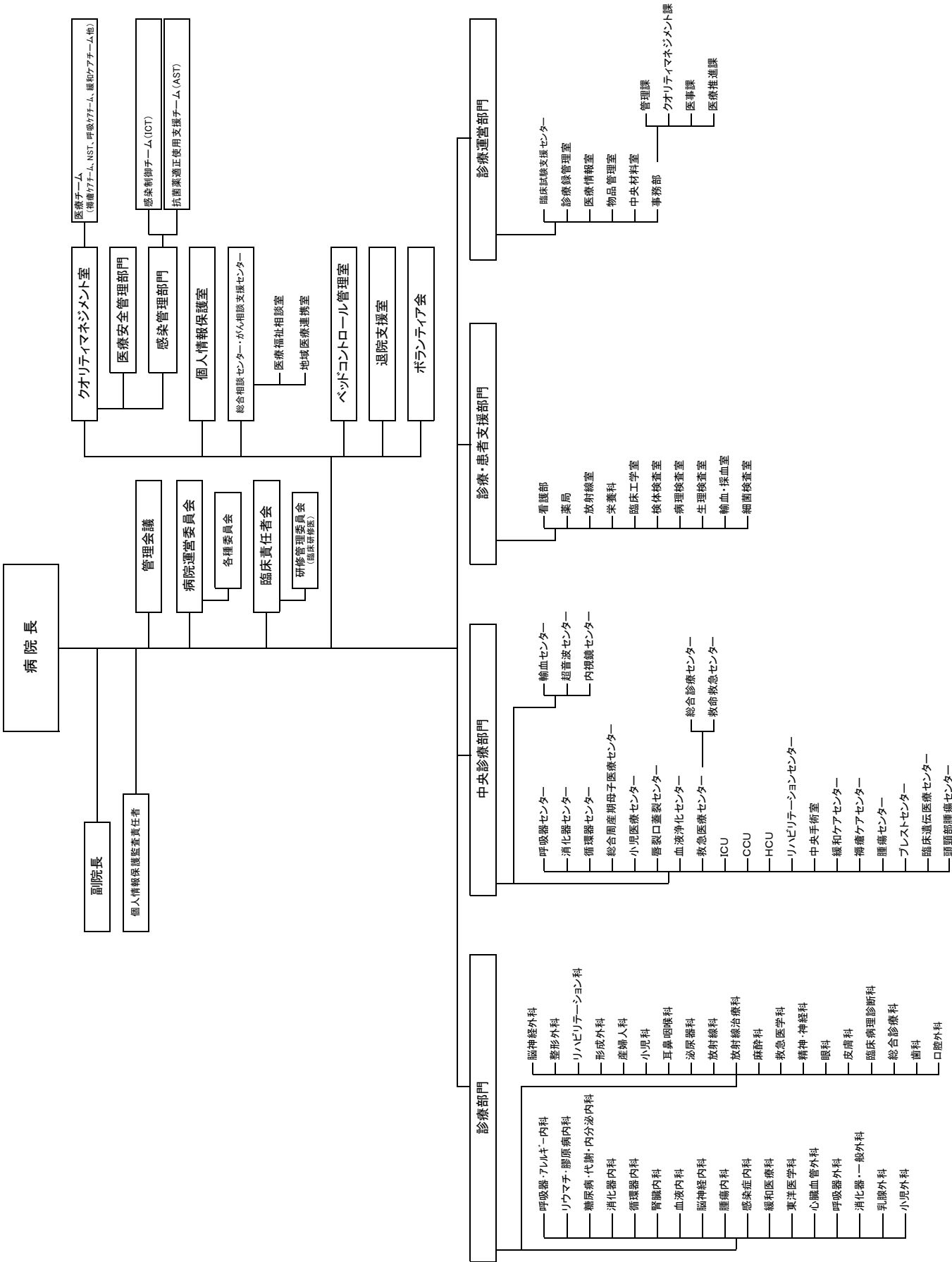
沿革

平成29年3月31日現在

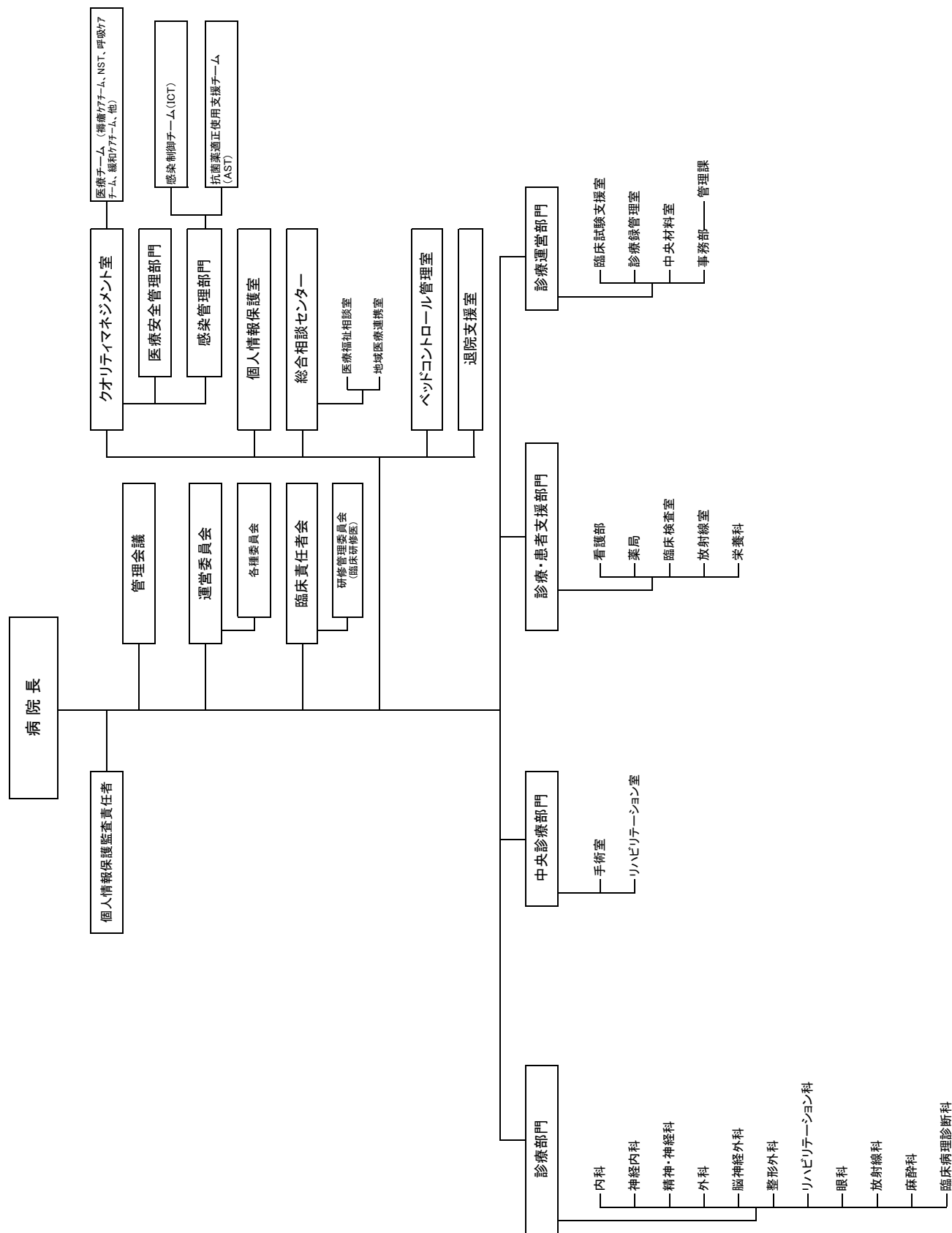
年月日		病床数					備考
		総数	一般	精神	結核	伝染	
昭和4年4月1日		92	65			27	昭和医学専門学校附属医院 入院病棟開棟
昭和6年4月1日		104	77			27	
昭和13年4月1日		324	252		45	27	
昭和24年9月1日		309	224		57	28	
昭和25年1月1日		264	221	3	38	2	
昭和24年12月31日		264	261	3			
昭和26年7月1日		158	158				
昭和28年3月1日		309	178		125	6	
昭和29年6月1日		309	184		125		
昭和31年9月1日		463	338		125		
昭和32年2月1日		467	342		125		
昭和32年12月1日		467	399		68		
昭和34年6月1日		600	532		68		
昭和39年3月1日		696	631		65		昭和大学病院と改称
昭和43年7月1日		806	806				
昭和44年10月1日		749	749				
昭和47年7月1日		753	753				
昭和48年6月1日		767	767				
昭和49年8月9日		727	727				
昭和55年2月5日		723	723				
昭和55年12月4日		1,343	1,343				入院棟開棟
昭和56年1月23日		826	826				入院棟へ移転した病棟を閉鎖
昭和61年5月1日		890	890				
昭和56年6月9日		843	843				
昭和57年4月12日		990	990				西病棟開棟
昭和57年7月5日		943	943				
昭和60年8月7日		936	936				N4階改修
昭和61年4月18日		946	946				旧本館4-2病棟改修
昭和61年12月17日		947	947				N15階改修
昭和62年4月28日		1,118	1,068	50			東病棟開棟
昭和62年7月7日		1,123	1,073	50			N9階改修
昭和63年12月28日		1,131	1,081	50			救急センター改修
平成1年3月23日		1,140	1,090	50			入院棟改修
平成1年4月4日		1,148	1,098	50			"
平成1年7月28日		1,180	1,130	50			旧4-2病棟改修
平成5年3月23日		1,176	1,126	50			本館改修
平成6年2月22日		1,142	1,092	50			本館B1、1、2、3階改修
平成9年4月22日		1,373	1,323	50			N5、6、8、9階、C1、6、8、9階改修
平成9年7月8日		1,027	977	50			N2階、旧病棟(本館、西病棟)改修
平成9年9月10日		1,031	981	50			N7、10階改修
平成9年9月29日		1,044	994	50			N2、11階改修
平成9年10月20日		1,047	997	50			N11階改修
平成10年4月2日		1,053	1,003	50			N11、14、15階改修
平成10年6月8日		1,061	1,011	50			N12、13階改修
平成10年8月12日		1,070	1,020	50			N9、10階改修
平成10年10月1日		1,094	1,044	50			N5、東棟2、4階改修
平成10年10月7日		1,100	1,050	50			N4-1、6、7階改修
平成11年2月16日	大学病院	1,050	1,050				東棟が東病院として独立して開設
	東病院	215	165	50			
平成11年4月1日	大学病院	885	885				中央棟改修
	東病院	215	165	50			
平成14年10月23日	大学病院	873	873				N5階改修(MFICU、LDR、新生児室の設置)
	東病院	215	165	50			
平成15年4月1日	大学病院	879	879				"
	東病院	215	165	50			
平成18年5月10日	大学病院	879	879				E3～5階改修
	東病院	199	199				
平成18年6月6日	大学病院	853	853				N3、4、6～9、12、13、16階改修
	東病院	199	199				
平成22年12月1日	大学病院	844	844				・ N6階の3室(15床)を新生児室へ改修 ・ NICUとMFICUを3床ずつ増床
	東病院	199	199				
平成23年2月28日	大学病院	815	815				・ 臓器別のセンターの新設 ・ 総合診療部の新設
	東病院	199	199				
平成27年7月15日	大学病院	815	815				・ C8Aカンファレンスルームを2床室へ改修 ・ N5LDRの1床室2部屋を分娩室へ用途変更
	東病院	199	199				
平成27年8月24日	大学病院	815	815				・ C9階4床室と隣接する部屋の間の壁を撤去し、4床室と8床室へ改修 ・ N4階2病棟の3床室2部屋を2床室2部屋へ減床 ・ N4GCUの31床室を25床室へ減床
	東病院	199	199				
平成27年9月10日	大学病院	815	815				・ N7階の1床室2部屋を4床室1部屋へ改修 ・ N5LDRの1床室2部屋を分娩室へ用途変更
	東病院	199	199				
平成27年9月30日	大学病院	815	815				・ N7階の1床室2部屋を4床室1部屋へ改修 ・ N5LDRの1床室2部屋を分娩室へ用途変更
	東病院	199	199				

昭和大学組織図

平成 28 年 4 月 1 日



昭和大学東病院組織図



5) 医療機関の承認・指定状況等

法令等の名称		承認(指定)等の年月日
医療法による病院開設承認		昭和 3年 5月 15日
特定機能病院		平成 6年 3月 1日
消防法による救急医療機関		昭和 40年 3月 18日
労働者災害補償保険法による医療機関		昭和 26年 7月 1日
地方公務員災害補償法による医療機関		昭和 26年 7月 1日
原爆援護法	一般医療	昭和 35年 10月 1日
	認定医療	—
	健康医療	—
戦傷病者特別援護法による医療機関		昭和 28年 2月 12日
母子保健法	妊娠中毒	昭和 45年 4月 1日
	妊娠乳児健康診査	昭和 45年 4月 1日
	養育医療	昭和 35年 2月 15日
生活保護法による医療機関		昭和 30年 10月 1日
障害者自立支援法	育成医療・更正医療機関	平成 19年 1月 1日
	精神通院医療機関	平成 19年 2月 1日
臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)		昭和 63年 3月 29日
指定小児慢性特定疾病医療機関		平成 27年 1月 1日
難病医療費助成指定医療機関		平成 27年 1月 1日

小児慢性特定疾患治療研究事業	
悪性新生物	昭和 48年 4月 1日
慢性腎疾患	昭和 48年 4月 1日
慢性呼吸器疾患	昭和 48年 4月 1日
慢性心疾患	昭和 48年 4月 1日
内分泌疾患	昭和 48年 4月 1日
膠原病	昭和 48年 4月 1日
糖尿病	昭和 48年 4月 1日
先天性代謝異常	昭和 48年 4月 1日
血友病等血液疾患・免疫疾患	昭和 48年 4月 1日
神経・筋疾患	昭和 48年 4月 1日
慢性消化器疾患	昭和 48年 4月 1日
先天性血液凝固因子障害等治療研究事業	
先天性血液凝固因子欠乏症	平成 元年 4月 1日

6) 届出施設基準 昭和大学病院

昭和大学病院

基本診療料に係る施設基準
歯科外来診療環境体制加算
特定機能病院入院基本料（7 対 1）
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加入算
妊産婦緊急搬送入院加算
診療録管理体制加算 1
急性期看護補助体制加算（50 対 1）
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算 1・2
緩和ケア診療加算
がん診療連携拠点病院加算
医療安全対策加算 1
感染防止対策加算 1
患者サポート体制充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊婦管理加算
ハイリスク分娩管理加算 ※平成 28 年取扱分娩件数 1,162 件 ※医師数 46 名/助産師数 40 名（平成 28 年 4 月 1 日現在）
退院調整加算
救急搬送患者地域連携紹介加算
呼吸ケアチーム加算
病棟薬剤業務実施加算
データ提出加算 2
救命救急入院料 1
特定集中治療室管理料 3（小児加算）
ハイケアユニット入院医療管理料 1
総合周産期特定集中治療室管理料 1・2
新生児治療回復室入院医療管理料
小児入院医療管理料 1
特掲診療料に係る施設基準
ウイルス疾患指導料
心臓ペースメーカー指導管理料（植込型除細動器移行加算）
高度難聴指導管理料
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料 1・2・3
外来緩和ケア管理料
移植後患者指導管理料（臓器移植後）
糖尿病透析予防指導管理料
地域連携小児夜間・休日診療料 2
地域連携夜間・休日診療料
院内トリアージ実施料
外来リハビリテーション診療料
外来放射線照射診療料
ニコチン依存症管理料
地域連携診療計画管理料
がん治療連携計画策定料
がん治療連携管理料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
医療機器安全管理料 2

歯科治療総合医療管理料
持続血糖測定器加算
造血器腫瘍遺伝子検査
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅰ）
検体検査管理加算（Ⅱ）
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
植込型心電図検査
時間内歩行試験
胎児心エコー法
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
補聴器適合検査
小児食物アレルギー負荷検査
センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る。）（併用法・単独法）
画像診断管理加算 1
画像診断管理加算 2
遠隔画像診断
CT 撮影及び MRI 撮影
冠動脈 CT 撮影加算
外傷全身 CT 加算
大腸 CT 撮影加算
心臓 MRI 撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算 1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）
透析液水質確保加算 2
一酸化窒素吸入療法
組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型（拡大副鼻腔手術）
上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）
乳がんセンチネルリンパ節加算 1、乳がんセンチネルリンパ節加算 2
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
経皮的冠動脈形成術
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
経皮的冠動脈ステント留置術
経皮的大動脈弁置換術
磁気ナビゲーション加算
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術（レーザーシースを用いるもの）
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
経皮的大動脈遮断術
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術

ダメージコントロール手術
腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術
体外衝撃波胆石破碎術
腹腔鏡下肝切除術
生体部分肝移植術
体外衝撃波膵石破碎術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下小切開副腎摘出術
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
同種死体腎移植術
生体腎移植術
腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術
腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術
人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
胎児胸腔・羊水腔シャント術
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術
輸血管理料Ⅰ
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
内視鏡手術用支援機器加算
麻酔管理料（Ⅰ）
麻酔管理料（Ⅱ）
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療（IMRT）
画像誘導放射線治療加算 IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算
保険医療機関間の連携による病理診断
病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料

昭和大学病院附属東病院

基本診療科に係る施設基準

一般病棟入院基本料（7 対 1）

臨床研修病院入院診療加算

診療録管理体制加算 2

重症皮膚潰瘍管理加算

医療安全対策加算 1

感染防止対策加算 2

データ提出加算 2

特掲診療科に係る施設基準

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

糖尿病透析予防指導管理料

地域連携診療計画退院時指導料（I）

薬剤管理指導料

持続血糖測定器加算

皮下連続式グルコース測定

神経学的検査

ロービジョン検査判断料

内服・点滴誘発試験

遠隔画像診断

CT 撮影及び MRI 撮影

脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術

緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））

網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）

網膜再建術

医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6（歯科点数表第 2 章第 9 部の通則 4 を含む）に掲げる手術

Ⅱ 診療統計及び臨床評価指標

平成 28 年度 昭和大学病院 診療統計表 -1

1) 病院運営委員会に報告している統計資料

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
許可病床数		815床													
診療実日数	初診患者数	3,178	3,020	3,376	3,321	3,352	3,192	3,195	3,088	3,156	2,953	2,874	3,386	3,174	38,091
	入院	30	31	31	30	31	30	30	31	30	31	28	31	30	365
	外来	25	23	26	25	26	24	25	23	23	23	23	26	24	292
	病床利用率	85.7%	80.9%	87.5%	83.7%	81.6%	81.3%	84.3%	81.0%	81.8%	80.6%	87.3%	83.0%	83.2%	
入院	新入院数	1,611	1,573	1,693	1,632	1,736	1,617	1,685	1,595	1,547	1,731	1,596	1,745	1,647	19,761
	入院平均在院日数	11.5	12.1	11.4	11.4	10.9	11.1	11.4	11.3	11.1	11.6	11.1	11.1	11.1	
	分娩件数	105	78	106	96	98	97	105	116	104	103	86	96	99	
	一日平均外来患者数	1,401	1,430	1,410	1,424	1,383	1,479	1,410	1,468	1,529	1,464.1	1,450	1,466	1,443	
救急搬送患者数	救急搬送患者数	327	322	322	344	380	346	397	416	443	387	348	381	369	4,432
	救急車件数	593	543	535	601	669	605	643	658	660	628	566	584	607	7,285
	三次救急	100	82	80	76	73	76	62	93	98	95	74	74	82	909
	品川区子ども夜間救急室	128	74	143	160	133	96	106	116	119	76	82	105	112	1,450
放射線部	撮影総患者数	13,249	12,979	13,846	13,022	13,156	13,093	13,073	12,746	13,129	13,023	12,563	13,257	13,095	157,136
	心臓血管患者数	261	250	272	240	258	231	230	238	231	231	270	281	256	3,074
	CT	916	870	986	976	942	900	949	923	944	887	828	964	924	11,085
	全身	2,232	2,215	2,413	2,253	2,367	2,337	2,381	2,247	2,252	2,342	2,224	2,453	2,310	27,716
	RI	231	261	282	282	259	253	256	250	224	222	222	277	253	3,036
	インビボ	868	792	903	773	816	793	816	745	795	747	749	898	808	9,695
	MRI	770	722	818	792	843	739	742	691	724	739	742	856	774	9,291
	全身	555,273	546,721	580,449	559,212	560,791	565,260	560,207	529,440	543,777	568,694	528,404	581,389	556,635	6,679,617
	輸血センター	5,702	5,993	6,562	5,993	6,354	6,432	6,165	5,862	6,096	6,657	6,093	6,490	6,200	74,399
	件数	11,071	10,559	11,133	11,032	11,182	10,885	10,933	10,517	11,216	10,795	10,438	11,416	10,915	130,977
薬局	入院	22,246	20,740	22,093	21,594	21,803	21,047	21,469	20,658	21,713	20,701	20,289	21,907	21,355	256,260
	注射薬	11,014	11,323	11,288	10,860	10,759	10,523	11,441	10,332	10,903	11,441	10,399	8,111	10,691	128,297
	外来	159	142	160	151	156	142	134	134	157	121	141	169	147	1,766
	件数	451	452	481	471	464	403	427	398	484	351	406	491	440	5,279
	院外処方	16,255	15,910	16,348	17,034	16,284	16,117	15,919	15,251	17,416	15,430	16,229	16,730	16,244	194,923
	入院	3,293	3,008	3,796	3,100	3,436	3,230	3,674	3,390	3,912	3,863	4,067	4,307	3,590	43,076
	外来	1,821	1,680	1,829	1,961	1,664	1,612	1,567	1,746	1,428	1,734	1,997	2,214	1,771	21,253
	患者数	986	981	1,176	1,084	1,072	1,004	1,128	998	944	939	1,007	1,097	1,035	12,416
	内視鏡センター	2,135	1,978	2,269	2,197	2,149	2,079	2,180	2,180	2,121	2,071	2,213	2,167	2,167	26,004
	超音波センター	560	490	470	474	406	344	401	333	535	497	414	477	450	5,401
総合相談センター	血液浄化センター	633	660	722	626	770	680	684	698	657	674	668	747	685	8,219
	腫瘍センター	491	799	956	926	1,120	1,061	1,314	987	1,052	1,103	853	1,058	977	11,720
	緩和ケアセンター	593	543	658	595	710	623	599	599	621	597	616	698	621	7,452
	手術室	62	75	61	48	85	87	61	76	73	63	58	70	68	819
	緊急	4	9	3	8	8	5	6	6	8	1	7	6	6	71
	診療録情報開示件数	63	62	65	66	30	46	53	45	62	54	63	82	58	691
	入院	157	162	178	160	154	190	176	177	181	186	176	211	176	2,108
	外来	1,782	1,830	1,982	1,964	2,077	1,896	1,812	1,839	1,735	1,565	1,755	1,840	1,940	22,077
	生検	974	956	1,137	948	948	1,063	1,007	987	885	953	1,028	992	990	11,878
	細胞診	81	74	105	81	86	65	68	73	68	81	87	93	80	962
総合相談センター	迅速検査件数	373	386	415	388	420	419	423	424	428	422	467	484	421	5,049
	入院(実件数)	73	80	58	57	65	57	53	61	64	59	68	72	64	767
	外来(実件数)	69	65	62	45	60	55	73	71	59	77	65	60	63	761
	件数	34	23	25	16	17	19	31	26	23	33	22	25	25	294
	24時間以内	3	4	4	2	2	1	5	2	0	4	2	1	3	30
	死産数	21.2%	23.1%	18.6%	20.0%	9.5%	22.2%	18.9%	11.4%	26.8%	19.5%	21.4%	32.4%	20.4%	
	剖検率	7	9	7	6	4	8	7	5	11	8	9	12	8	93
	剖検数	1,428	1,690	1,849	1,529	1,763	1,573	1,611	1,618	1,608	1,581	1,580	1,720	1,629	19,550
	対象	1587	1473	1620	1566	1575	1566	1598	1571	1525	1347	1381	2156	1,580	19,965
	紹介件数	1,502	1,292	1,505	1,401	1,469	1,393	1,353	1,320	1,428	1,300	1,500	1,821	1,7284	1,440
	逆紹介件数														

平成28年度 昭和大学病院附属東病院 診療統計表 -2

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
許可病床数		199床													
診療実日数	初診患者数	879	992	1,033	1,032	937	1,015	1,076	922	871	928	878	1,002	964	11,565
	入院 外来	30 25	31 23	30 26	31 25	31 26	30 24	31 25	30 23	31 23	31 23	28 23	31 26	30 24	365 292
病床利用率		75.4%	65.1%	76.2%	73.9%	68.5%	65.4%	61.5%	68.1%	64.2%	69.5%	81.3%	72.0%	73.1%	
新入院数		407	393	509	401	375	338	356	356	372	405	372	357	387	4,641
入院平均在院日数		9.2	9.7	8.6	8.8	9.8	9.5	9.6	9.0	8.7	8.8	8.5	8.8	9.1	
一日平均外来患者数		493	501	481	492	488.1	514.4	520.5	521.8	538.0	520.2	507.8	506.0	506.9	
救急搬送患者数		1	5	5	6	9	15	13	7	6	2	6	6	7	81
救急車件数		3	6	1	6	5	5	5	3	7	5	1	4	4	51
放射線室	撮影総患者数	128	661	770	735	708	633	694	655	649	679	644	733	641	7,689
	心臓血管患者数	1	4	1	1	3	2	2	1	0	2	1	3	2	21
	CT	238	276	241	286	234	223	269	209	212	232	247	149	235	2,816
	全身	180	143	220	202	169	179	155	147	152	168	161	131	167	2,007
	RI	57	42	68	68	52	47	58	49	62	39	70	70	57	682
	MRI	261	232	293	277	239	213	252	245	229	235	254	299	252	3,029
	全身	63	60	77	64	51	62	63	59	60	50	58	49	60	716
臨床病理検査室 輸血センター	件数	460	392	454	414	415	379	436	383	388	430	454	400	417	5,005
	件数	122	126	89	160	112	144	90	140	99	158	88	180	126	1,508
	入院	2,665	2,418	2,737	2,905	2,686	2,398	2,552	2,321	2,326	2,473	2,339	2,481	2,525	30,301
	件数	7,676	7,445	7,825	8,822	7,970	7,052	7,749	6,740	6,453	6,880	7,128	7,045	7,399	88,785
薬局	注射薬	1,024	917	897	974	1,076	1,062	1,074	1,068	982	982	847	1,054	996	11,957
	枚数	5	6	9	21	29	24	31	32	26	41	37	27	24	288
	外来	27	50	53	86	80	63	71	69	76	85	87	91	70	838
	件数														
手術室	院外処方	10,074	9,351	10,179	10,310	9,510	9,775	10,297	9,072	9,845	9,314	9,285	9,789	9,733	116,801
	枚数	298	273	345	344	266	311	291	301	289	301	307	292	302	3,618
	緊急	16	16	14	17	12	18	23	23	24	8	12	17	16	190
	入院	12	13	15	17	23	17	6	12	10	11	11	14	13	161
総合栄養センター	外来	34	39	48	41	51	39	51	46	57	71	68	64	51	609
	生検	85	74	96	87	84	101	91	98	99	75	88	98	90	1,076
	細胞診	14	12	11	21	23	17	10	16	19	10	11	17	15	181
	迅速検査件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合相談センター	入院(実件数)	68	60	63	66	75	62	70	68	63	52	59	98	67	804
	外来(実件数)	2	5	7	8	7	7	8	9	10	9	11	16	8	99
	件数	0	1	0	1	6	1	1	1	2	2	1	3	2	23
	24時間以内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡数	死産数	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	剖検率														
24時間以上剖検		大学病院合算 大学病院合算													
入院診療計画 対象者数	対象	424	373	514	515	401	449	399	406	447	381	486	398	433	5,193
	紹介件数	418	398	480	453	405	451	447	421	379	376	398	433	422	5,059
	逆紹介件数	394	382	421	378	383	342	333	349	319	327	372	484	374	4,484

昭和大学病院 診療科別入院状況表 -2

昭和大学病院

診療科	定床	10月			11月			12月			1月			2月			3月			年間平均		
		一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)
呼吸器アレルギー・内科	48	43.8	102.4%	17.3	43.7	104.7%	18.9	45.8	110.8%	20.5	54.5	123.4%	18.3	56.3	133.9%	17.1	51.8	120.0%	19.0	46.2	110.9%	16.6
呼吸器外科		5.3		10.2	6.6		11.0	7.4		11.8	4.8		12.1	8.0		11.4	5.8		12.4	7.0		14.6
リウマチ膠原病内科		0.2		1.1	0.1		1.0	0.1		1.0	0.1		2.0	0.5		2.2	1.2		9.1	0.3		2.4
糖尿病内分泌代謝内科		0.2		1.0	0.2		2.5	0.2		0.7	0.2		1.2	0.5		7.3	0.1		1.0	0.2		1.8
腎臓内科	26	20.0	76.9%	25.4	23.7	91.0%	23.6	25.1	96.5%	20.6	26.8	103.1%	21.9	28.3	108.7%	17.1	31.6	121.6%	21.8	25.7	98.7%	21.5
消化器内科	145	88.4	101.3%	11.4	73.0	91.9%	10.6	65.4	82.2%	8.9	66.5	83.0%	10.4	73.4	92.8%	9.4	61.4	78.7%	8.3	74.9	83.6%	11.5
消化器一般外科		58.5		12.6	60.2		12.2	53.8		13.3	53.8		12.0	61.2		13.2	52.7		12.6	56.4		13.7
血液内科	40	45.8	114.6%	32.0	42.7	106.7%	35.5	37.3	93.2%	31.9	41.2	103.1%	35.2	47.1	117.7%	33.1	42.0	105.1%	30.0	43.6	109.1%	32.9
腫瘍内科	46	40.6	88.4%	18.7	41.1	89.3%	15.3	43.7	95.0%	18.4	43.4	94.3%	18.4	39.0	84.9%	15.6	34.8	75.7%	15.7	42.2	91.7%	15.9
循環器内科	64	61.4	96.0%	10.3	70.3	109.8%	11.5	66.4	103.8%	10.8	64.5	100.9%	11.5	68.7	107.3%	9.4	71.6	111.9%	9.7	66.4	103.7%	10.6
神経内科		0.7		0.9	0.9		1.0	1.2		0.9	1.0		0.5	0.8		0.8	2.0		1.4	1.1		0.9
心臓血管外科	12	8.9	74.5%	26.8	9.8	81.7%	17.4	9.2	76.9%	16.7	6.5	53.8%	19.0	7.4	61.6%	16.4	7.9	66.1%	18.7	9.9	82.9%	22.4
乳腺外科	18	20.0	110.9%	9.2	16.5	91.7%	8.0	16.9	93.9%	9.0	15.9	88.2%	8.1	17.2	95.4%	8.3	15.8	87.8%	7.9	17.1	95.1%	8.7
小児科	56	48.5	86.6%	9.1	40.0	71.4%	8.9	48.0	85.8%	9.8	45.1	80.6%	11.4	42.4	75.6%	7.9	43.5	77.7%	8.3	44.5	79.4%	9.3
小児外科	7	5.3	75.6%	7.8	2.7	39.0%	4.5	3.8	54.8%	3.7	2.9	41.5%	4.5	6.1	87.2%	5.3	5.6	80.6%	5.1	4.6	65.1%	5.8
脳神経外科	38	33.5	88.0%	13.1	27.9	73.4%	11.9	35.4	93.2%	13.7	36.0	94.8%	15.2	35.8	94.3%	12.5	31.1	81.7%	12.5	33.8	88.9%	13.0
整形外科	64	61.2	95.6%	20.4	53.1	82.9%	20.3	52.8	82.6%	16.3	48.8	76.3%	19.1	57.8	90.3%	17.5	53.5	83.6%	15.7	54.5	85.2%	18.3
形成外科	24	18.2	75.7%	6.5	15.5	64.7%	7.8	20.1	83.6%	7.4	21.8	91.0%	8.3	23.8	99.0%	7.7	23.0	96.0%	7.2	20.4	85.2%	7.4
産婦人科	65	52.1	80.1%	6.6	59.4	91.4%	7.1	58.4	89.8%	7.1	49.5	76.1%	6.2	57.6	88.6%	7.7	57.9	89.0%	7.2	54.9	84.4%	6.9
耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍センター	26	27.2	104.7%	9.8	27.9	107.3%	10.3	30.8	118.5%	11.3	29.7	114.3%	9.5	30.2	116.1%	11.4	34.3	131.9%	12.8	27.9	107.1%	10.6
皮膚科		0.3		5.3	0.2		6.0	0.5		2.9	0.5		2.9	0.1		4.0	0.8		4.2	0.5		4.4
泌尿器科	22	21.1	95.9%	9.8	22.2	100.9%	8.3	21.4	97.4%	9.0	19.4	88.1%	9.7	22.9	104.2%	9.2	23.6	107.3%	9.7	21.6	98.0%	9.5
救急医学科	13	7.8	59.8%	3.7	6.9	53.1%	3.3	6.2	47.9%	3.3	8.4	64.5%	4.2	8.6	65.9%	6.1	8.5	65.5%	5.8	7.2	55.1%	4.1
総合内科(ER)	7	6.5	93.5%	3.6	3.6	51.0%	2.3	5.1	72.8%	3.9	3.9	55.3%	2.9	5.6	80.6%	3.6	4.0	56.7%	2.7	5.7	81.3%	3.4
小計	721	675.6	93.7%	11.4	648.4	89.9%	11.3	655.5	90.9%	11.1	645.4	89.5%	11.6	699.1	97.0%	11.1	664.6	92.2%	10.8	666.6	92.5%	11.3
※患者数については各診療科に含まれる																						
N16, ICU, 病院管理ベッド	80																					
合計	801	675.6	84.3%	11.4	648.4	81.0%	11.3	655.5	81.8%	11.1	645.4	80.6%	11.6	699.1	87.3%	11.1	664.6	83.0%	10.8	669.1	83.5%	11.3

昭和大学病院附属東病院

診療科	定床	10月			11月			12月			1月			2月			3月			年間平均		
		一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)
リウマチ膠原病内科	53	21.9	61.6%	26.6	26.2	76.8%	31.2	20.4	62.8%	18.8	21.9	66.4%	24.4	27.6	85.6%	26.6	24.8	77.2%	27.0	22.6	67.2%	24.6
糖尿病内分泌代謝内科		10.7		10.7	15.6		12.8	12.9		9.3	13.3		12.1	17.7		15.3	16.1		11.1	16.0		12.2
神経内科	43	36.6	85.2%	20.8	37.5	87.1%	21.7	38.6	89.8%	16.9	45.4	105.5%	24.1	47.5	110.5%	19.6	44.6	103.8%	19.7	41.2	95.9%	20.0
脳神経外科		0.9		17.3	1.5		90.0	2.2		22.0	4.3		43.3	3.2		18.9	1.7		25.0	2.2		31.9
整形外科		4.5		20.5	5.2		21.6	5.8		19.0	6.3		29.2	12.5		26.0	15.8		34.1	9.5		25.3
眼科	47	36.0	76.7%	4.0	35.4	75.4%	4.1	33.9	72.2%	4.1	33.5	71.3%	4.1	38.3	81.5%	4.3	29.8	63.4%	4.1	34.9	74.3%	3.9
皮膚科	16	11.3	70.6%	14.5	11.2	69.8%	14.2	12.4	77.2%	10.0	13.3	83.1%	12.0	12.1	75.4%	9.8	9.0	56.3%	7.6	11.4	71.1%	11.7
麻酔科		0.3		3.0	0.2		12.0	0.1		6.0				0.4		9.0				0.3		
小計	159	122.5	77.0%	9.5	135.5	85.2%	10.7	127.7	80.3%	9.0	138.2	86.9%	10.9	161.8	101.8%	11.0	143.3	90.1%	11.1	139.5	86.1%	10.0
※患者数については各診療科に含まれる																						
E6, 病院管理ベッド	40																					
合計	199	122.5	61.5%	9.5	135.5	68.1%	10.7	127.7	64.2%	9.0	138.2	69.5%	10.9	161.8	81.3%	11.0	143.3	72.0%	11.1	139.5	70.1%	10.0

※1 平均在院日数=院患者延べ日数÷退院

昭和大学病院 病棟別入院状況表 -1

病 棟	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	定床	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※3)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※4)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※5)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※6)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※6)	一日平均 患者数	病 床 利用率
N-16	24	21.3	88.8%	12.8	22.7	94.5%	14.4	21.5	89.4%	14.3	20.9	87.1%	11.2	21.4	89.0%	13.9	18.8	78.5%	9.9					
N-15	53	47.6	89.7%	13.1	46.4	87.5%	15.0	48.8	92.1%	13.6	42.3	79.7%	9.0	42.9	80.9%	11.1	41.7	78.7%	10.7					
N-14	54	52.3	96.9%	15.6	49.0	90.7%	16.2	52.7	97.6%	16.7	51.5	95.4%	15.0	47.7	88.4%	13.9	50.6	93.8%	16.3					
N-13	43	39.2	91.2%	18.9	36.5	85.0%	14.4	37.4	87.0%	13.9	35.0	81.5%	15.5	35.2	81.9%	16.7	36.8	85.7%	17.5					
N-12	53	51.3	96.7%	15.7	47.6	89.8%	11.5	50.5	95.3%	14.2	49.6	93.6%	13.4	46.0	86.7%	10.3	47.7	90.0%	13.4					
N-11	55	54.4	99.0%	23.1	53.1	96.5%	19.8	54.5	99.2%	23.1	53.9	98.1%	23.5	52.2	94.9%	20.9	53.0	96.3%	19.5					
N-10	50	46.0	92.0%	28.5	47.2	94.5%	48.4	47.6	95.3%	29.9	46.0	92.1%	31.0	46.8	93.5%	52.5	45.0	90.1%	39.2					
N- 9	54	51.2	94.8%	24.0	46.0	85.2%	22.3	47.2	87.4%	16.1	48.3	89.4%	17.9	45.6	84.5%	15.5	48.1	89.0%	21.0					
N- 8	54	43.5	80.5%	9.8	38.7	71.7%	9.0	48.3	89.5%	9.6	44.2	81.9%	10.4	42.9	79.5%	10.4	39.4	73.0%	10.0					
N- 7	49	47.0	95.9%	10.5	45.4	92.6%	14.0	45.9	93.7%	10.6	43.0	87.7%	10.1	38.7	79.0%	8.5	41.1	83.8%	10.5					
C9-A	32	26.9	79.0%	8.3	26.4	82.6%	9.4	27.2	85.0%	7.7	26.6	83.2%	10.1	22.4	69.9%	6.8	24.7	77.1%	7.2					
C8-A	34	29.9	93.5%	14.2	28.4	83.5%	15.6	30.1	88.4%	15.9	28.9	84.9%	17.4	26.8	78.7%	13.4	24.3	71.6%	10.3					
C8-B	44	36.7	83.5%	7.6	33.2	75.4%	7.3	40.0	90.9%	6.9	39.1	88.9%	7.7	39.5	89.7%	7.5	39.1	88.8%	7.6					
小計	599	547.3	91.4%	14.1	520.6	86.9%	14.3	551.8	92.1%	13.3	529.4	88.4%	13.3	508.0	84.8%	12.6	510.4	85.2%	13.1					
N- 6	38	30.3	79.7%	6.6	22.1	58.1%	6.4	31.3	82.5%	6.7	27.3	71.7%	6.5	28.5	74.9%	7.2	28.5	74.9%	6.8					
N-5(MFICU)	9	6.2	68.5%	11.1	5.9	65.9%	8.4	6.8	75.2%	10.5	6.0	66.7%	11.6	5.6	62.7%	6.8	7.1	79.3%	21.1					
N-41(NICU)	15	9.7	64.7%	32.0	11.2	74.8%	33.1	12.0	80.2%	31.2	12.2	81.3%	37.5	11.8	78.5%	40.4	10.5	70.0%	22.4					
N-41(GCU)	17	8.9	52.5%	29.5	9.9	58.1%	45.4	14.2	83.5%	38.6	13.7	80.8%	45.6	13.4	78.9%	27.0	7.1	41.8%	21.7					
小児センター	50	33.9	67.8%	4.9	31.5	62.9%	5.6	40.9	81.8%	5.7	40.8	81.5%	6.3	43.3	86.6%	6.3	40.7	81.4%	6.3					
小計	129	89.0	69.0%	7.2	80.5	62.4%	8.1	105.2	81.6%	8.1	100.0	77.5%	8.7	102.6	79.5%	8.4	93.9	72.8%	8.1					
N-2(GCU)	10	5.9	59.0%	10.8	7.8	78.1%	14.4	7.0	69.7%	11.5	6.0	60.0%	14.6	6.8	67.7%	12.0	7.3	73.0%	16.5					
C9-B(HCU)	12	9.0	74.7%	12.0	8.6	72.0%	26.5	8.6	71.7%	18.1	8.8	73.1%	12.9	7.8	65.3%	14.4	8.5	70.8%	14.5					
C9-C(ER)	22	16.9	76.8%	3.3	14.3	65.0%	3.1	12.4	56.4%	2.6	12.4	56.2%	2.3	13.0	59.2%	2.7	15.5	70.6%	2.7					
C-6(ICU)	14	9.5	67.6%	23.1	9.3	66.1%	23.6	8.9	63.8%	34.9	7.0	50.2%	21.6	8.6	61.3%	23.8	8.7	61.9%	19.7					
救急センター	15	8.9	59.1%	3.9	6.6	43.9%	3.4	7.4	49.1%	4.7	7.2	48.2%	4.9	6.5	43.4%	4.2	6.9	46.2%	4.0					
小計	73	50.1	68.6%	5.8	46.6	63.8%	6.3	44.3	60.6%	6.2	41.4	56.7%	5.4	42.7	58.6%	5.7	46.9	64.3%	5.6					
合 計	801	686.4	85.7%	11.5	647.7	80.9%	12.1	701.3	87.5%	11.4	670.7	83.7%	11.4	653.4	81.6%	10.9	651.2	81.3%	11.1					

(別掲)

N-2(GCU)	10	7.1	71.0%	4.2	9.4	93.9%	4.4	8.3	82.7%	4.4	7.2	71.6%	4.8	7.9	79.0%	4.9	8.4	83.7%	5.9					
C-6(ICU)	14	13.9	99.0%	2.0	13.3	94.7%	2.2	13.4	95.5%	1.9	11.1	79.5%	1.7	12.6	90.1%	2.0	13.1	93.6%	1.9					
C9-B(HCU)	12	13.1	108.9%	1.9	12.0	100.3%	2.4	12.7	105.6%	2.0	12.7	105.6%	2.1	12.0	100.0%	1.7	12.4	103.1%	2.0					
C9-C(ER)	23	21.4	93.2%	2.2	18.4	79.8%	2.0	15.5	67.4%	1.8	16.5	71.7%	1.6	17.1	74.5%	1.8	19.7	89.5%	1.9					
新生児	20	24.1	120.3%	5.8	14.2	71.0%	5.5	19.7	98.5%	5.7	19.1	95.5%	5.7	18.3	91.6%	5.9	19.8	99.0%	6.1					

昭和大学病院附属東病院

病 棟	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	定床	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病 床 利用率
E- 6	24	18.0	74.9%	9.3	16.5	69.0%	12.3	19.4	81.0%	9.8	16.7	69.8%	10.4	14.2	59.1%	10.0	13.7	57.1%	10.2					
E- 5	44	31.9	72.6%	3.7	28.3	64.3%	3.6	38.0	86.4%	3.6	32.3	73.3%	3.7	29.0	66.0%	4.3	27.1	61.7%	4.3					
E- 4	53	33.3	62.8%	12.7	25.8	48.6%	11.0	35.9	67.8%	11.8	35.1	66.2%	14.6	33.7	63.7%	14.7	34.9	65.8%	17.7					
E- 3	45	38.9	86.4%	18.8	32.2	71.5%	19.3	33.4	74.3%	14.7	36.0	80.0%	18.9	33.7	74.9%	19.6	30.9	68.7%	14.8					
E- 2	33	27.9	84.6%	19.7	26.8	81.2%	23.0	24.8	75.1%	15.6	26.9	81.5%	21.5	25.5	77.4%	17.0	23.5	71.2%	18.1					
合 計	199	150.0	75.4%	9.5	129.6	65.1%	9.6	151.6	76.2%	8.2	147.0	73.9%	9.8	136.2	68.5%	10.3	130.1	65.4%	10.5					

昭和大学病院 病棟別入院状況表 -2

昭和大学病院

病棟	定床	10月				11月				12月				1月				2月				3月				年間平均			
		一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※2)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※3)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※4)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※5)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※6)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※7)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※8)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※9)	
N-16	24	20.5	85.2%	10.9	17.8	74.2%	10.0	21.1	88.0%	11.3	21.4	89.2%	16.1	20.0	83.3%	9.9	18.7	77.8%	11.7	20.5	85.4%	12.2	20.5	85.4%	12.2	20.5	85.4%	12.2	
N-15	53	45.1	85.1%	11.1	46.1	86.9%	12.3	43.5	82.2%	9.9	44.9	84.7%	12.4	48.0	90.5%	10.3	47.0	88.7%	11.6	45.4	85.6%	11.7	45.4	85.6%	11.7	45.4	85.6%	11.7	
N-14	54	52.6	97.5%	19.7	47.7	88.4%	15.4	46.4	86.0%	12.2	46.9	86.8%	13.8	50.5	93.5%	11.1	46.1	85.3%	11.1	49.5	91.7%	14.7	49.5	91.7%	14.7	49.5	91.7%	14.7	
N-13	43	37.4	86.9%	16.8	36.4	84.6%	14.2	33.6	78.2%	13.5	33.6	78.1%	14.2	38.0	88.4%	14.0	33.5	77.9%	13.3	36.1	83.9%	15.2	36.1	83.9%	15.2	36.1	83.9%	15.2	
N-12	53	49.0	92.5%	13.5	47.2	89.0%	13.6	46.4	87.5%	14.7	44.9	84.7%	16.0	48.6	91.6%	12.0	43.3	81.6%	10.3	47.7	89.9%	13.2	47.7	89.9%	13.2	47.7	89.9%	13.2	
N-11	55	53.6	97.4%	22.3	52.5	95.4%	21.1	50.9	92.5%	24.4	51.8	94.3%	25.1	54.1	98.4%	23.9	51.6	93.8%	23.3	53.0	96.3%	22.5	53.0	96.3%	22.5	53.0	96.3%	22.5	
N-10	50	45.6	91.2%	31.8	45.5	90.9%	35.8	44.8	89.6%	25.1	46.4	92.8%	39.0	48.1	96.2%	38.4	47.3	94.6%	35.9	46.4	92.7%	36.3	46.4	92.7%	36.3	46.4	92.7%	36.3	
N-9	54	50.1	92.8%	22.7	46.8	86.6%	22.3	37.4	69.2%	13.1	38.7	71.7%	15.7	49.2	91.1%	18.4	45.9	85.0%	15.5	46.2	85.5%	18.7	46.2	85.5%	18.7	46.2	85.5%	18.7	
N-8	54	44.0	81.5%	11.5	43.8	81.1%	11.5	47.9	88.6%	16.8	45.2	83.6%	14.3	49.0	90.7%	10.3	48.7	90.3%	11.1	44.6	82.7%	11.2	44.6	82.7%	11.2	44.6	82.7%	11.2	
N-7	49	44.7	91.2%	10.1	45.7	93.3%	9.9	45.7	93.2%	12.6	43.9	89.7%	11.2	48.1	98.2%	11.7	47.7	97.4%	14.5	44.7	91.3%	11.2	44.7	91.3%	11.2	44.7	91.3%	11.2	
C9-A	32	25.3	79.0%	7.3	24.6	76.9%	8.3	23.4	73.1%	8.7	24.2	75.7%	8.2	28.5	89.0%	9.7	22.6	70.7%	7.3	25.2	78.4%	8.3	25.2	78.4%	8.3	25.2	78.4%	8.3	
C8-A	34	27.3	80.3%	15.0	22.3	65.7%	10.6	26.7	78.7%	14.3	28.0	82.4%	15.3	30.3	89.1%	15.5	28.0	82.4%	13.1	27.6	81.6%	14.2	27.6	81.6%	14.2	27.6	81.6%	14.2	
C8-B	44	38.3	87.0%	7.2	35.7	81.1%	7.1	36.9	83.8%	7.5	32.5	73.8%	6.5	39.5	89.7%	7.6	38.1	86.5%	7.2	37.4	84.9%	7.3	37.4	84.9%	7.3	37.4	84.9%	7.3	
小計	599	533.4	89.1%	13.7	512.0	85.5%	13.3	504.7	84.3%	13.3	502.4	83.9%	14.1	551.8	92.1%	12.9	518.5	86.6%	12.7	524.2	87.5%	13.4	524.2	87.5%	13.4	524.2	87.5%	13.4	
N-6	38	28.1	74.0%	6.4	32.7	86.0%	6.8	33.5	88.1%	6.9	28.3	74.4%	6.3	30.3	79.7%	7.1	30.0	78.9%	6.6	29.2	76.9%	6.7	29.2	76.9%	6.7	29.2	76.9%	6.7	
N-5(MFICU)	9	5.5	60.9%	10.5	7.2	79.6%	9.7	6.1	68.1%	10.7	5.7	63.1%	7.4	7.4	81.7%	12.0	6.5	72.4%	16.3	6.3	70.3%	11.3	6.3	70.3%	11.3	6.3	70.3%	11.3	
N-41(NICU)	15	11.8	78.7%	30.4	11.4	76.2%	34.3	12.8	85.6%	21.9	13.3	88.4%	41.0	11.8	78.8%	25.5	11.8	78.5%	38.3	11.7	78.0%	32.3	11.7	78.0%	32.3	11.7	78.0%	32.3	
N-41(GOU)	17	13.4	78.9%	23.4	9.9	58.2%	31.1	13.5	79.5%	37.9	15.1	89.0%	33.0	11.8	69.3%	22.5	13.8	81.4%	38.9	12.1	71.0%	32.9	12.1	71.0%	32.9	12.1	71.0%	32.9	
小児セクター	50	37.5	75.0%	5.8	32.0	64.0%	5.5	38.6	77.2%	5.5	33.0	65.9%	5.4	38.1	76.3%	5.0	39.3	78.6%	4.6	37.5	74.9%	5.6	37.5	74.9%	5.6	37.5	74.9%	5.6	
小計	129	96.3	74.7%	8.0	93.2	72.2%	7.9	104.5	81.0%	8.1	95.3	73.9%	8.1	99.4	77.0%	7.6	101.4	78.6%	7.5	96.8	75.0%	8.0	96.8	75.0%	8.0	96.8	75.0%	8.0	
N-2(GCU)	10	6.9	69.0%	9.1	6.3	63.0%	15.5	7.3	73.2%	14.7	6.6	66.5%	11.4	5.6	56.4%	8.1	7.5	74.5%	12.2	6.8	67.5%	12.6	6.8	67.5%	12.6	6.8	67.5%	12.6	
C9-B(HCU)	12	8.7	72.6%	13.1	9.6	79.7%	25.6	8.8	73.4%	24.5	8.5	71.2%	15.6	9.5	79.2%	21.0	8.9	73.9%	17.2	8.8	73.1%	17.9	8.8	73.1%	17.9	8.8	73.1%	17.9	
C9-C(ER)	22	14.6	66.4%	2.8	10.6	48.3%	2.2	13.1	59.5%	2.6	14.6	66.3%	2.9	14.8	67.4%	3.2	11.6	52.6%	2.4	13.7	62.1%	2.7	13.7	62.1%	2.7	13.7	62.1%	2.7	
C-6(ICU)	14	7.9	56.2%	28.5	9.6	68.3%	40.7	9.5	68.0%	23.3	8.5	61.1%	27.7	8.4	59.7%	25.8	8.4	59.7%	22.2	8.7	62.0%	26.2	8.7	62.0%	26.2	8.7	62.0%	26.2	
救急セクター	15	7.8	51.8%	3.7	7.2	48.2%	3.3	7.5	49.9%	3.4	9.3	62.2%	4.0	9.6	64.3%	5.8	8.4	55.9%	5.3	7.8	51.9%	4.2	7.8	51.9%	4.2	7.8	51.9%	4.2	
小計	73	45.9	62.8%	5.3	43.3	59.3%	5.9	46.2	63.3%	5.8	47.6	65.3%	5.7	48.0	65.7%	6.4	44.6	61.2%	6.0	45.6	62.5%	5.8	45.6	62.5%	5.8	45.6	62.5%	5.8	
合計	801	675.6	84.3%	11.4	648.4	81.0%	11.3	655.5	81.8%	11.1	645.4	80.6%	11.6	699.1	87.3%	11.1	664.6	83.0%	10.8	666.6	83.2%	11.3	666.6	83.2%	11.3	666.6	83.2%	11.3	

(別掲)

N-2(GCU)	10	8.1	81.0%	4.4	7.4	74.2%	5.2	8.4	83.9%	5.5	8.2	81.6%	3.7	7.1	71.1%	3.1	8.9	89.0%	4.3	8.0	80.2%	4.6	8.0	80.2%	4.6	8.0	80.2%	4.6
C-6(ICU)	14	11.4	81.1%	2.1	13.9	99.3%	2.2	13.8	98.6%	2.1	12.3	87.6%	2.2	13.0	93.1%	1.7	12.4	88.5%	2.0	12.8	91.7%	2.0	12.8	91.7%	2.0	12.8	91.7%	2.0
C9-B(HCU)	12	12.3	102.2%	2.2	13.5	112.5%	2.3	12.5	104.0%	2.3	12.0	100.0%	2.2	13.6	113.4%	2.2	12.8	106.5%	2.1	12.6	105.2%	2.1	12.6	105.2%	2.1	12.6	105.2%	2.1
C9-C(ER)	23	19.0	82.6%	1.8	15.0	68.2%	1.4	17.2	74.6%	1.7	19.7	89.4%	1.8	19.2	87.3%	2.0	15.9	69.3%	1.5	17.9	79.0%	1.8	17.9	79.0%	1.8	17.9	79.0%	1.8
新生児	20	17.5	87.4%	5.5	23.0	114.8%	5.9	17.8	89.0%	5.6	17.8	88.9%	5.5	17.7	88.0%	5.8	16.1	80.5%	5.5	18.8	93.8%	5.7	18.8	93.8%	5.7	18.8	93.8%	5.7

昭和大学病院附属東病院

病棟	定床	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※2)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※3)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※4)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※5)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※6)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※7)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※8)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※9)
E-6	24	11.0	46.0%	7.8	10.1	42.2%	9.1	11.6	48.5%	6.9	13.4	55.8%	8.0	16.8	69.9%	12.2	15.3	63.7%	10.9	14.7	61.4%	9.7	14.7	61.4%	9.7	14.7	61.4%	9.7
E-5	44	32.6	74.0%	4.3	33.9	77.0%	4.4	28.9	65.7%	4.0	29.9	68.0%	4.4	38.2	86.6%	4.9	27.5	62.5%	4.1	31.5	71.5%	4.1	31.5	71.5%	4.1	31.5	71.5%	4.1
E-4	53	29.3	55.3%	14.5	35.2	66.5%	18.4	31.9	60.3%	13.0	35.7	67.4%	18.5	37.9	71.5%	15.9	35.7	67.3%	15.1	33.7	63.6%	14.8	33.7	63.6%	14.8	33.7	63.6%	14.8
E-3	45	28.0	62.2%	19.1	32.2	71.6%	21.2	30.5	67.9%	15.1	31.2	69.4%	19.3	39.4	87.5%	20.0	38.5	85.4%	22.6	33.7	75.0%	18.6	33.7	75.0%	18.6	33.7	75.0%	18.6
E-2	33	21.6	65.4%	22.0	24.1	73.0%	22.7	24.7	74.9%	17.4	28.0	84.8%	23.2	29.6	89.6%	17.1	26.4	80.1%	17.4	25.8	78.2%	19.5	25.8	78.2%	19.5	25.8	78.2%	19.5
合計	199	122.5	61.5%	9.5	135.5	68.1%	10.7	127.7	64.2%	9.0	138.2	69.5%	10.9	161.8	81.3%	11.0	143.3	72.0%	11.1	139.5	70.1%	10.0	139.5	70.1%	10.0	139.5	70.1%	10.0

2) 診療科別・疾病分類別（入院）順位表

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
呼吸器 アレルギー 内科	1	C34	肺癌	124	12.8%	23.2
	2	J18	肺炎、詳細不明	116	12.0%	18.2
	3	R91	胸部異常影	95	9.8%	3.4
	4	J84	間質性肺炎、肺線維症	80	8.3%	31.3
	5	J15	細菌性肺炎（肺炎レンサ球菌性、インフルエンザ菌を除く）	73	7.5%	16.7
	その他			480	49.6%	-
	総 計			968	100%	17.3

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
リウマチ 膠原病内科	1	M06	関節リウマチ、成人発症 still 病	42	11.8%	20.5
	2	M30	結節性多発性動脈炎関連病態	27	7.6%	31.8
			M300 結節性多発動脈炎	11		
			M300 顕微鏡的多発血管炎	10		
			M301 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5		
			M308 皮膚型結節性多発動脈炎	1		
	2	M33	皮膚筋炎、多発性筋炎	27	7.6%	27.7
	4	M31	その他の壊死性血管障害	23	6.5%	34.7
			M316 巨細胞性動脈炎	6		
			M313 多発血管炎性肉芽腫症	4		
			その他	13		
	4	M35	全身性結合組織疾患	23	6.5%	22.7
			M352 ベーチェット病	9		
			M353 リウマチ性多発筋痛症	4		
			その他	10		
	その他			214	60.1%	-
	総 計			356	100%	22.5

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
糖尿病 代謝内分泌 内科	1	E11	インスリン非依存性糖尿病	317	65.9%	12.8
	2	E10	インスリン依存性糖尿病	37	7.7%	13.8
	3	E26	原発性・特発性アルドステロン症	20	4.2%	4.9
	4	E05	バセドウ病、ブランマー病、甲状腺クリーゼ	12	2.5%	17.3
	4	E16	低血糖	12	2.5%	5.6
	その他			83	17.3%	-
	総 計			481	100%	12.3

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」（ICD-10）を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
腎臓内科	1	N18	慢性腎臓病(G3～5)、慢性腎不全	128	26.5%	19.2
	2	T82	シャント・グラフト閉塞、感染、不全	37	7.7%	18.1
	3	I50	心不全	30	6.2%	15.0
	4	N04	ネフローゼ症候群	27	5.6%	35.0
	5	E87	その他の体液、電解質および酸塩基平行障害	21	4.3%	15.9
			E871 低ナトリウム血症 12			
			E875 高カリウム血症 7			
			E876 低カリウム血症 2			
	5	N28	急性腎障害、慢性腎臓病(G1～2)、腎梗塞	21	4.3%	23.4
	その他			219	45.3%	－
	総 計			483	100%	19.2

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
消化器内科	1	K63	大腸ポリープ、腸潰瘍	590	23.0%	2.2
	2	C22	肝細胞癌、肝内胆管癌、胆管細胞癌	217	8.5%	12.7
	3	C25	膵癌	168	6.6%	18.6
	4	K80	総胆管結石、胆石（結石を伴う炎症を含む）	157	6.1%	10.6
	5	K57	腸の憩室疾患	115	4.5%	10.3
	その他			1,314	51.3%	－
	総 計			2,561	100%	10.9

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
血液内科	1	C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	162	32.6%	30.8
	2	C92	骨髄性白血病	59	11.9%	52.4
	3	C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	48	9.7%	14.2
	4	C85	非ホジキンリンパ腫その他の型、詳細不明	44	8.9%	25.6
			C851 B 細胞リンパ腫 29			
			その他 15			
	5	D46	骨髄異形成症候群	31	6.2%	30.5
	その他			153	30.8%	－
	総 計			497	100%	31.9

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
腫瘍内科	1	C34	肺癌	296	30.3%	16.5
	2	C15	食道癌	157	16.1%	16.6
	3	C18	大腸癌	146	14.9%	15.1
	4	C16	胃癌	112	11.5%	14.8
	5	C50	乳癌	56	5.7%	13.9
	その他			211	21.6%	－
	総 計			978	100%	15.9

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
循環器内科	1	I20	狭心症	462	21.1%	4.6
	2	I50	心不全	306	13.9%	25.7
	3	I25	慢性虚血性心疾患 I252 陳旧性心筋梗塞 143 I256 無症候性心筋虚血 106 I251 冠動脈硬化症 19 I259 虚血性心疾患 19	287	13.1%	4.5
	4	I48	心房細動、心房粗動	208	9.5%	6.2
	5	I21	急性心筋梗塞	90	4.1%	14.8
	その他			841	38.3%	-
	総 計			2,194	100%	11.3

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
神経内科	1	I63	脳梗塞、脳塞栓症	272	29.1%	19.3
	2	G40	てんかん	94	10.0%	11.7
	3	G20	パーキンソン病	78	8.3%	26.4
	4	G45	一過性脳虚血発作、一過性黒内障、一過性全健忘	38	4.1%	6.9
	5	G31	神経系のその他の変性疾患 G318 レビー小体型認知症 13 G319 脊髄小脳変性症 3 その他 4	20	2.1%	20.6
	5	G35	多発硬化症	20	2.1%	12.3
	5	G61	炎症性多発ニューロパチー G610 ギランバレー症候群 11 G618 慢性炎症性脱髄性多発性神経炎 5 G610 フィッシャー症候群 4	20	2.1%	17.7
	その他			394	42.1%	-
	総 計			936	100%	17.1

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
心臓血管 外科	1	I71	大動脈解離、大動脈瘤	79	43.9%	15.7
	2	I35	大動脈弁障害	50	27.8%	23.8
	3	I34	僧帽弁障害	11	6.1%	30.3
	4	I72	腸骨動脈瘤、膝窩動脈瘤、上腸間膜動脈解離	10	5.6%	10.5
	5	I33	感染性心内膜炎	7	3.9%	38.4
	その他			23	12.8%	-
	総 計			180	100%	20.5

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10) を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
呼吸器外科	1	C34	肺癌	70	23.2%	13.7
	2	J93	気胸（外傷性除く）	59	27.6%	9.4
	3	S27	外傷性血胸・血気胸・気胸	17	7.9%	15.1
	4	C78	転移性肺腫瘍、癌性胸水、胸壁転移	13	6.1%	12.2
	4	D38	肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍（性状不詳）	13	6.1%	7.3
	その他			42	19.6%	-
	総 計			214	100%	12.1

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
消化器・ 一般外科	1	C15	食道癌	374	23.3%	18.2
	2	K63	腸のその他の疾患 K635 結腸ポリープ 128 K631 消化管穿孔、腸穿孔 9 K632 糞瘻 1	138	8.6%	4.2
	3	C16	胃癌	130	8.1%	17.0
	4	K80	胆嚢結石症、胆石胆嚢炎、総胆管結石	119	7.4%	7.0
	5	C18	大腸癌	118	7.3%	13.3
	その他			727	45.3%	-
	総 計			1,606	100%	13.2

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
乳腺外科	1	C50	乳癌	547	84.5%	10.0
	2	D05	乳房上皮内癌	64	9.9%	9.1
	3	D24	乳房良性腫瘍	14	2.2%	3.4
	4	C78	癌性胸水	2	0.3%	3.5
	4	D17	乳房脂肪腫	2	0.3%	4.0
	4	H81	良性発作性頭位めまい症	2	0.3%	3.5
	その他			16	2.5%	－
	総 計			647	100%	9.7

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
小児外科	1	K40	鼠径ヘルニア	85	34.0%	3.0
	2	K35	急性虫垂炎	28	11.2%	8.5
	3	Q53	停留精巣	25	10.0%	2.8
	4	K42	臍ヘルニア	16	6.4%	3.0
	5	K21	胃食道逆流症	6	2.4%	13.7
	その他			90	36.0%	-
	総 計			250	100%	6.4

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」（ICD-10）を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
脳神経外科	1	I67	その他の脳血管疾患 I671 未破裂性動脈瘤 220 I670 解離性動脈瘤 13 I675 もやもや病 13 その他 10	256	26.9%	8.9
	2	I65	動脈狭窄・閉塞（頸動脈、脳底動脈、椎骨動脈）	165	17.4%	10.4
	3	I61	脳出血	83	8.7%	17.4
	4	S06	外傷性頭蓋内損傷	60	6.3%	13.6
	5	I60	くも膜下出血（非外傷性）	48	5.1%	31.5
	その他			338	35.6%	-
	総 計			950	100%	13.8

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
整形外科	1	M16	変形性股関節症、臼蓋形成不全症	142	11.7%	30.5
	2	M17	変形性膝関節症	112	9.2%	27.9
	3	S52	前腕骨折	101	8.3%	5.0
	4	M48	脊柱管狭窄症、靱帯骨化症	81	6.7%	18.9
	5	S72	大腿骨骨折	75	6.2%	26.3
	その他			700	57.8%	-
	総 計			1,211	100%	19.5

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
形成外科	1	Q37	唇顎口蓋裂、唇顎裂	385	43.2%	9.5
	2	Z90	乳房欠損、皮膚欠損	73	8.2%	6.5
	3	S02	顔面骨骨折 S0220 鼻骨骨折 25 S0240 頬骨骨折 19 S0260 下顎骨骨折 6 その他 4	54	6.1%	5.7
	4	C50	乳癌術後	51	5.7%	5.7
	5	Q35	口蓋裂	38	4.3%	9.3
	その他			290	32.5%	-
	総 計			891	100%	8.4

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
産婦人科 （分娩除く）	1	D25	子宮筋腫	191	14.6%	6.8
	2	O02	稽留流産	126	9.6%	2.2
	3	C53	子宮頸癌	121	9.2%	9.8
	4	D27	卵巣腫瘍（良性）	93	7.1%	6.9
	5	C54	子宮体癌、子宮肉腫	84	6.4%	9.1
	その他			696	53.1%	-
	総 計			1,311	100%	7.1

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」（ICD-10）を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
産婦人科 （分娩）	1	O80	正常分娩	705	57.4%	6.8
	2	O34	既知の母体骨盤臓器の異常	141	11.5%	9.8
			O342 前回帝王切開	121		
			O342 子宮筋腫核出後妊娠	16		
			O341 子宮筋腫合併妊娠	3		
			O340 双頸双角子宮	1		
	3	O81	鉗子分娩、吸引分娩	91	7.4%	7.9
	4	O42	前期破水	59	4.8%	10.3
	5	O32	骨盤位、横位	32	2.6%	8.9
	5	O60	早産	32	2.6%	10.7
その他				168	13.7%	-
総 計				1,228	100%	8.3

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
産科分娩 （ベビー）	1	Z38	正常新生児、双胎児（体重 2500g以上）	901	72.4%	6.3
	2	P07	低出生体重児、早産児	203	16.3%	3.8
	3	P21	新生児仮死	37	3.0%	2.4
	4	P05	不当軽量児（LFD、SFD）	35	2.8%	6.0
	5	P08	妊娠期間に比較して過体重児（HFD）	34	2.7%	5.6
	その他			34	2.7%	-
	総 計			1,244	100%	5.7

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
眼 科	1	H25	加齢性白内障、成熟白内障	1,501	56.2%	4.2
	2	H35	その他の網膜障害	371	13.9%	4.0
			H353 加齢性黄斑変性症	280		
			H352 オイル眼	20		
			H353 黄斑円孔	20		
			H353 黄斑前膜	16		
			H352 増殖性硝子体網膜症	12		
			H353 黄斑上膜	8		
			H353 近視性脈絡膜血管新生症	6		
			その他	9		
	3	H33	網膜剥離	165	6.2%	8.4
	4	H34	網膜血管閉塞症	146	5.5%	2.9
	5	E11	2型糖尿病眼合併症	93	3.5%	5.7
その他				395	14.8%	-
総 計				2,671	100%	4.8

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」（ICD-10）を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
小児科	1	T78	食物アレルギー、アナフィラキシーショック	612	46.5%	1.3
	2	M30	川崎病	71	5.4%	10.5
	3	J45	気管支喘息	50	3.8%	8.6
	4	R56	けいれん（熱性、その他）	46	3.5%	4.9
	5	J18	急性肺炎、詳細不明	36	2.7%	12.2
	その他			502	38.1%	-
	総 計			1,317	100%	5.9

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
小児科 (新生児)	1	P07	低出生体重児、早産児	111	41.3%	55.6
	2	P21	新生児仮死	26	9.7%	15.4
	3	P22	一過性多呼吸、呼吸窮迫症候群	18	6.7%	21.3
	4	P70	低血糖症	13	4.8%	15.4
	5	P24	胎便吸引症候群	12	4.5%	14.3
	5	P28	無呼吸発作、喉頭浮腫	12	4.5%	19.2
	5	Q37	唇顎口蓋裂、唇顎裂	12	4.5%	20.1
	その他			65	24.2%	-
	総 計			269	100%	34.1

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
耳鼻咽喉科	1	J03	習慣性扁桃炎、急性扁桃炎	73	8.2%	7.3
	2	J36	扁桃周囲膿瘍、扁桃周囲炎	65	7.3%	5.5
	3	J32	慢性副鼻腔炎	51	5.7%	5.8
	4	H81	めまい症、メニエール病、前庭神経炎	41	4.6%	6.0
	5	J38	声帯および喉頭の疾患	35	3.9%	10.4
			J381 声帯ポリープ、ポリープ様声帯	9		
			J384 喉頭浮腫	7		
			J380 声帯麻痺	7		
			その他	12		
	その他			625	70.2%	-
	総 計			890	100%	11.2

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
皮膚科	1	B02	带状疱疹	66	17.6%	7.4
	2	L03	蜂窩織炎	59	15.7%	9.8
	3	L27	薬疹、中毒疹	23	6.1%	9.4
	4	C44	皮膚癌（悪性黒色腫は除く）	21	5.6%	11.5
	4	L12	類天疱瘡	21	5.6%	20.0
	その他			185	49.3%	-
	総 計			375	100%	15.6

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」（ICD-10）を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表（TOP5）

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
泌尿器科	1	C61	前立腺癌、前立腺癌の疑い	257	32.9%	6.7
	2	C67	膀胱癌	141	18.1%	13.2
	3	N20	尿管結石、腎結石、結石生腎盂腎炎	78	10.0%	6.7
	4	C64	腎癌	60	7.7%	12.5
	5	N10	急性腎盂腎炎	34	4.4%	9.1
	その他			210	26.9%	-
	総 計			780	100%	9.9

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
麻酔科	1	T91	脊髄損傷後	3	30.0%	6.7
	2	M48	腰部脊柱管狭窄症	2	20.0%	15.0
	2	G98	開胸術後神経傷害性疼痛	2	20.0%	10.0
	その他			3	30.0%	-
	総 計			10	100%	8.1

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
救急医学科	1	I46	心肺停止	230	42.2%	1.4
	2	T36-T50	急性薬物中毒、薬物過量内服	41	7.5%	2.8
	3	S06	外傷性頭蓋内損傷	28	5.1%	7.7
			S0650 急性硬膜下血腫	9		
			S0660 外傷性くも膜下出血	6		
			S0600 脳振盪	5		
			その他	8		
	4	A41	敗血症、敗血症性ショック	12	2.2%	13.7
	5	G93	蘇生後脳症、低酸素性脳症	9	1.7%	5.3
	その他			225	41.3%	-
	総 計			545	100%	3.8

科	順位	ICD - 10	主病名	計	比率	平均 在院日数
総合診療科	1	J18	肺炎、詳細不明	80	11.6%	2.2
	2	T78	アナフィラキシー、食物アレルギー	46	6.6%	1.4
	3	N39	尿路感染症	43	6.2%	5.3
	4	H81	めまい症、前庭神経炎	25	3.6%	2.3
	5	E87	低ナトリウム血症、低カリウム血症	23	3.3%	3.5
	その他			475	68.6%	-
	総 計			692	100%	3.5

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10) を用いて分類・集計

3) 診療科別 外来・入院診療実績

科	診療実績	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
呼吸器 アレルギー内科	外来患者数（初診）	1,493	1,559	1,420
	外来患者数（再診）	25,685	25,106	25,386
	外来患者数（時間外）	64	75	83
	外来患者数（合計）	27,242	26,740	26,889
	入院患者数（延数）	13,308	13,808	16,843
リウマチ 膠原病内科	外来患者数（初診）	599	507	487
	外来患者数（再診）	14,489	15,135	15,603
	外来患者数（時間外）	12	12	22
	外来患者数（合計）	15,100	15,654	16,112
	入院患者数（延数）	9,344	9,422	108
糖尿病 代謝内分泌内科	外来患者数（初診）	822	860	869
	外来患者数（再診）	23,822	23,950	26,331
	外来患者数（時間外）	6	10	17
	外来患者数（合計）	24,650	24,820	27,217
	入院患者数（延数）	6,083	6,544	5,887
腎臓内科	外来患者数（初診）	342	304	307
	外来患者数（再診）	11,281	12,105	11,998
	外来患者数（時間外）	28	16	20
	外来患者数（合計）	11,651	12,425	12,325
	入院患者数（延数）	8,782	7,991	9,360
消化器内科	外来患者数（初診）	3,303	3,377	3,044
	外来患者数（再診）	42,398	41,584	39,685
	外来患者数（時間外）	148	168	155
	外来患者数（合計）	45,849	45,129	42,884
	入院患者数（延数）	29,931	28,598	27,343
血液内科	外来患者数（初診）	354	369	369
	外来患者数（再診）	9,970	10,307	10,280
	外来患者数（時間外）	30	25	38
	外来患者数（合計）	10,354	10,701	10,687
	入院患者数（延数）	15,870	13,870	15,913
腫瘍内科	外来患者数（初診）	67	47	63
	外来患者数（再診）	7,215	8,981	9,623
	外来患者数（時間外）	37	49	41
	外来患者数（合計）	7,319	9,077	9,727
	入院患者数（延数）	16,528	16,446	15,398
循環器内科	外来患者数（初診）	1,475	1,487	1,402
	外来患者数（再診）	35,060	34,116	34,208
	外来患者数（時間外）	145	158	245
	外来患者数（合計）	36,680	35,761	35,855
	入院患者数（延数）	22,497	21,948	24,212

※昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院合算

科	診療実績	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
神経内科	外来患者数（初診）	1,891	2,002	1,894
	外来患者数（再診）	18,790	18,103	16,067
	外来患者数（時間外）	89	78	85
	外来患者数（合計）	20,770	20,183	18,046
	入院患者数（延数）	14,361	12,581	15,430
感染症内科	外来患者数（初診）	3	5	1
	外来患者数（再診）	23	14	6
	外来患者数（時間外）	0	2	0
	外来患者数（合計）	26	21	7
心臓血管外科	外来患者数（初診）	153	137	157
	外来患者数（再診）	1,765	1,792	1,748
	外来患者数（時間外）	6	6	5
	外来患者数（合計）	1,924	1,935	1,910
	入院患者数（延数）	4,165	3,741	3,634
呼吸器外科	外来患者数（初診）	83	92	99
	外来患者数（再診）	2,044	2,304	2,400
	外来患者数（時間外）	16	11	9
	外来患者数（合計）	2,143	2,407	2,508
	入院患者数（延数）	2,740	2,762	2,560
消化器・一般外科	外来患者数（初診）	725	742	755
	外来患者数（再診）	12,640	12,567	12,561
	外来患者数（時間外）	76	66	85
	外来患者数（合計）	13,441	13,375	13,401
	入院患者数（延数）	21,781	19,114	20,571
乳腺外科	外来患者数（初診）	1,348	1,762	1,826
	外来患者数（再診）	15,188	18,123	20,410
	外来患者数（時間外）	36	37	46
	外来患者数（合計）	16,572	19,922	22,282
	入院患者数（延数）	5,668	6,540	6,244
小児外科	外来患者数（初診）	550	551	552
	外来患者数（再診）	4,013	4,246	4,337
	外来患者数（時間外）	48	27	31
	外来患者数（合計）	4,611	4,824	4,920
	入院患者数（延数）	2,195	2,102	1,661
脳神経外科	外来患者数（初診）	885	855	845
	外来患者数（再診）	6,041	5,723	5,416
	外来患者数（時間外）	174	110	115
	外来患者数（合計）	7,100	6,688	6,376
	入院患者数（延数）	13,861	11,832	12,334

科	診療実績	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
整形外科	外来患者数(初診)	3,519	3,472	3,024
	外来患者数(再診)	36,156	36,411	34,602
	外来患者数(時間外)	455	435	410
	外来患者数(合計)	40,130	40,318	38,036
	入院患者数(延数)	22,406	22,694	19,884
形成外科	外来患者数(初診)	1,918	1,836	1,818
	外来患者数(再診)	15,884	15,661	15,488
	外来患者数(時間外)	432	346	368
	外来患者数(合計)	18,234	17,843	17,674
	入院患者数(延数)	8,171	8,007	7,456
リハビリテーション科	外来患者数(初診)	59	62	57
	外来患者数(再診)	2,515	2,100	2,026
	外来患者数(時間外)	1	0	2
	外来患者数(合計)	2,575	2,162	2,085
産婦人科	外来患者数(初診)	4,305	3,987	3,866
	外来患者数(再診)	47,615	43,542	41,575
	外来患者数(時間外)	449	468	554
	外来患者数(合計)	52,369	47,997	45,995
	入院患者数(延数)	21,571	19,587	20,020
小児科	外来患者数(初診)	2,473	2,535	2,418
	外来患者数(再診)	24,182	24,146	23,262
	外来患者数(時間外)	2,723	2,751	2,604
	外来患者数(合計)	29,378	29,432	28,284
	入院患者数(延数)	17,586	16,266	16,254
眼科	外来患者数(初診)	3,733	3,675	3,534
	外来患者数(再診)	30,697	29,359	25,785
	外来患者数(時間外)	869	719	610
	外来患者数(合計)	35,299	33,753	29,929
	入院患者数(延数)	14,262	14,484	12,759
耳鼻咽喉科	外来患者数(初診)	3,160	3,222	2,981
	外来患者数(再診)	28,230	25,818	25,411
	外来患者数(時間外)	981	817	951
	外来患者数(合計)	32,371	29,857	29,343
	入院患者数(延数)	8,994	9,312	10,162
皮膚科	外来患者数(初診)	3,531	3,851	3,601
	外来患者数(再診)	32,294	31,420	29,877
	外来患者数(時間外)	426	430	405
	外来患者数(合計)	36,251	35,701	33,883
	入院患者数(延数)	4,509	4,516	4,330

科	診療実績	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
泌尿器科	外来患者数（初診）	1,198	1,174	1,239
	外来患者数（再診）	25,515	23,306	21,496
	外来患者数（時間外）	47	42	46
	外来患者数（合計）	26,760	24,522	22,781
	入院患者数（延数）	7,715	8,360	7,871
放射線科	外来患者数（初診）	964	974	866
	外来患者数（再診）	5,936	6,656	7,844
	外来患者数（時間外）	5	2	1
	外来患者数（合計）	6,905	7,632	8,711
麻酔科	外来患者数（初診）	6	6	31
	外来患者数（再診）	745	1,100	1,430
	外来患者数（時間外）	0	2	1
	外来患者数（合計）	751	1,108	1,462
	入院患者数（延数）	12	10	6
救急医学科	外来患者数（初診）	65	87	63
	外来患者数（再診）	82	75	34
	外来患者数（時間外）	78	121	114
	外来患者数（合計）	225	283	211
	入院患者数（延数）	3,725	3,413	2,608
総合診療科	外来患者数（初診）	1,421	1,478	1,470
	外来患者数（再診）	1,460	1,486	1,224
	外来患者数（時間外）	4,653	4,995	4,876
	外来患者数（合計）	7,534	7,959	7,570
	入院患者数（延数）	1,828	2,171	2,075
精神神経科	外来患者数（初診）	718	716	699
	外来患者数（再診）	35,189	34,270	34,759
	外来患者数（時間外）	0	4	5
歯科	外来患者数（初診）	1,434	1,590	1,639
	外来患者数（再診）	4,142	4,597	4,911
	外来患者数（時間外）	0	0	0
	外来患者数（合計）	5,576	6,187	6,550

Ⅲ 各部門活動狀況

1 昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

1) 呼吸器・アレルギー内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：相良 博典

医局長：田中 明彦

(2) 医師数

教授	1 名	講師	2 名	助教(員外)	1 名
准教授	1 名	助教	7 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	14 名
2 年次臨床研修医	18 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会内科指導医	10名
	日本呼吸器学会呼吸器指導医	3名
	日本アレルギー学会指導医	2名
	日本呼吸内視鏡学会気管支鏡指導医	1名
	日本感染症学会指導医	1名
	日本リウマチ学会リウマチ指導医	1名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	10名
	日本呼吸器学会呼吸器専門医	18名
	日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	7名
	日本アレルギー学会アレルギー専門医	13名
	日本感染症学会感染症専門医	1名
	日本結核病学会結核・抗酸菌症専門医	2名
	日本禁煙学会禁煙専門医	1名
	日本リウマチ学会リウマチ専門医	1名
認定医	日本内科学会内科認定医	30名
	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	4名
	日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医	2 名
	肺がん CT 検診認定医機構認定医	2 名
	日本化学療法学会抗菌化学療法認定医	1 名
	日本睡眠学会睡眠医療認定医	1 名
その他	日本がん治療認定医機構暫定教育医	1 名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	肺炎	231
2	肺癌	139
3	間質性肺炎	73
4	睡眠時無呼吸症候群	58
5	気胸	46
6	胸部異常陰影	45
7	気管支喘息	41
8	慢性閉塞性肺疾患	41
9	胸水貯留	18
10	食物アレルギー	16

	主な検査・処置名 等	患者数
1	気管支鏡	277
2	アプノモニター	83
3	CT下肺生検	35
4	気道過敏性検査	47
5	ポリソムノグラフィー	58

2. 高度医療への取り組み

① 重症喘息に対する新規分子標的薬剤の導入	従来治療に抵抗性を有する重症喘息患者を対象に、新規分子標的薬剤である抗 IL-5 抗体を導入した。2016 年 8 月に導入以降、10 か月の間に 20 名の患者に対して使用し、喘息症状および呼吸機能の改善効果、喘息発作の減少効果が得られている。
② 重症喘息に対する気管支熱焼灼療法の導入	従来治療に抵抗性を有する重症喘息患者を対象に、気管支熱焼灼療法 (Bronchial Thermoplasty: BT) を導入した。BT は入院下にて気管支鏡とカテーテルを用いて気管支に直接的に熱を加え治療を行う。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 29 日	城南呼吸器感染症研究会	目黒雅叙園
2	平成 28 年 9 月 15 日	臨床呼吸器カンファレンス	明治記念館
3	平成 28 年 10 月 29 日	呼吸器・免疫シンポジウム	海運クラブ
4	平成 29 年 3 月 2 日	城南地区呼吸器疾患研究会	目黒雅叙園

昭和大学病院 診療部門

2) リウマチ・膠原病内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長: (代)小林 洋一 医局長: 高橋 良

(2) 医師数

教授	0 名	講師	2 名	助教(員外)	2 名
准教授	0 名	助教	6 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	17 名
2 年次臨床研修医	26 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本リウマチ学会認定指導医	1 名
専門医	日本リウマチ学会認定医・専門医	5 名
	日本内科学会内科専門医	3 名
認定医	日本内科学会認定医	13 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	関節リウマチ	210
2	血管炎症候群	120
3	全身性エリテマトーデス	180
4	炎症性筋炎	56
5	強皮症	40
6	Behçet 病	30

3) 腎臓内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：柴田 孝則

医局長：眞田 大介

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	3 名
准教授	1 名	助教	5 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	30 名
2 年次臨床研修医	17 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会研修指導医	5 名
	日本腎臓学会指導医	3 名
	日本透析医学会指導医	3 名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	3 名
	日本腎臓学会専門医	7 名
	日本透析医学会専門医	7 名
	日本アフェリシス学会専門医	1 名
	日本リウマチ学会専門医	1 名
認定医	日本内科学会認定内科医	11 名

(5) 主な診療実績

	主な入院診療実績	患者数
1	慢性腎臓病(CKD)保存期合併症	68
2	腎炎・ネフローゼ症候群(腎生検含む)	91
3	CKD 血液透析導入	82
4	維持血液透析期合併症(バスキュラーアクセス不全を除く)	60
5	急性腎障害(AKI)	57
6	バスキュラーアクセス不全	41
7	腎移植関連合併症	26
8	腎移植	11
9	維持腹膜透析期合併症	5
10	腹膜透析導入	7

	主な検査・処置(外来・入院問わず)	患者数
1	シャント PTA(経皮的血管形成術)	72
2	持続的血液濾過透析	97
3	腎生検	49
4	血液吸着療法(エンドトキシン吸着療法)	33
5	単純血漿交換療法	12
6	吸着式血球成分除去療法	14
7	腹水濾過濃縮再静注療法	7
8	二重濾過血漿交換療法	5
9	血漿吸着療法(LDL アフェレシス)	1
10	血漿吸着療法(免疫吸着療法)	1

2. 高度医療への取り組み

アフェレシス療法	薬物治療で治療困難な難治性ネフローゼ症候群、膠原病、神経免疫疾患、血液疾患、閉塞性動脈硬化症、皮膚疾患、炎症性腸疾患などに対し、血漿交換や二重濾過血漿交換療法、各種の吸着療法などを施行し、一定の治療成果が得られている。
----------	---

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 9 月 20 日	第 7 回フレッシュマンセミナー	昭和大学病院
2	平成 29 年 3 月 9 日	第 8 回腎透析勉強会	昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

4) 消化器内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：吉田 仁 医局長：野本 朋宏

(2) 医師数

教授	1 名	講師	3 名	助教(員外)	1 名
准教授	1 名	助教	11 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	31 名
2 年次臨床研修医	11 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会指導医	25 名
	日本消化器病学会指導医	4 名
	日本消化器内視鏡学会指導医	3 名
	日本肝臓学会指導医	1 名
	日本胆道学会認定指導医	2 名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	2 名
	日本消化器病学会専門医	20 名
	日本消化器内視鏡学会専門医	15 名
	日本肝臓学会専門医	8 名
認定医	日本内科学会認定内科医	25 名
	日本がん治療認定医	3 名
	日本門脈圧亢進症学会技術認定取得医	1 名

(5) 主な診療実績

	疾患名(入院)	延べ患者数		主な処置名	患者数
1	胆管炎	93	1	ERCP および ERCP 関連治療	496
2	胆嚢炎	64	2	経皮的胆道ドレナージ術	96
3	肝細胞癌	161	3	内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	144
4	膵癌	92	4	内視鏡的大腸ポリープ切除術	620
5	胆管癌	27	5	内視鏡的止血術	217
6	胃癌	74	6	ラジオ波焼灼療法(RFA)	102

	疾患名(入院)	延べ患者数
7	大腸癌	39
8	食道癌	36
9	重症急性膵炎	31
10	食道静脈瘤	29

	主な処置名	患者数
7	血管造影下肝癌治療(TACE)	91
8	食道静脈瘤の内視鏡治療	106
9	超音波内視鏡下穿刺	122
10	内視鏡的ネクロセクトミー(ETN)	13

	力を入れている症例
1	IgG4 関連自己免疫性膵炎(AIP Type 1)、IgG 関連硬化性胆管炎は、指定難病 300 として登録された IgG4 関連疾患の消化器疾患である。IgG4 関連疾患は全身性リンパ増殖性疾患であり、多臓器に併発し再燃率が高く、悪性腫瘍の合併例も多いことから、本疾患の診療には、他診療科との診療連携が必要かつ重要となっている。

2. 高度医療への取り組み

内視鏡的粘膜下層剥離術	食道・胃・大腸について ESD による内視鏡的治療を積極的に導入している。早期胃癌の内視鏡治療は Japan Clinical Oncology Group(JCOG) に参加し、治療適応拡大に関する多施設共同研究を進めた。
拡大内視鏡を用いた内視鏡診断	最新の内視鏡機器を導入し、Narrow Band Imaging(NBI)など画像強調内視鏡・色素内視鏡と拡大内視鏡を組み合わせ、腫瘍・非腫瘍の鑑別診断および消化管癌の深達度診断について高精度の内視鏡検査を行った。
重症急性膵炎(SAP)に対する集学的治療	致死率が高い重症急性膵炎に対して、蛋白分解酵素阻害薬、抗菌薬の2経路動注療法や経管栄養療法(EN)を施行し、高い救命率が得られた。また、膵炎後の膵仮性嚢胞および膵膿瘍には超音波内視鏡下(EUS)による経消化管的ドレナージや内視鏡的ネクロセクトミー(ETN)を積極的に行なった。
膵癌(膵管腺癌=PDAC・IPMC・膵腺房細胞癌など)に対する集学的治療	切除不能進行膵癌に対する化学療法(FOLFIRINOX, GEM+nab-PTX)および放射線療法(GEM+RT)を行った。また、悪性胆道狭窄に対する内視鏡的胆道ステント留置も積極的に行なった。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 12 月 7 日	消化器疾患の地域連携を考える会	雅叙園

昭和大学病院 診療部門

5) 血液内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：中牧 剛

医局長：服部 憲路

(2) 医師数

教授	1 名	講師	2 名	助教(医科)	5 名
准教授	0 名	助教	2 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	15 名
2 年次臨床研修医	17 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会内科指導医	4 名
	日本血液学会血液指導医	3 名
	日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1 名
専門医	日本血液学会認定血液専門医	4 名
	日本内科学会総合内科専門医	2 名
認定医	日本内科学会認定内科医	8 名
	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	1 名
	造血細胞移植認定医	1 名

(5) 主な診療実績

	疾患名(入院)	患者数
1	悪性リンパ腫	25
2	白血病	74
3	骨髄異形成症候群	15
4	多発性骨髄腫	27
5	再生不良性貧血	8

	手術項目(入院)	患者数
1	非血縁者骨髄移植	3
2	臍帯血移植	16
3	血縁者末梢血幹細胞移植	1
4	自己末梢血幹細胞移植	4

2. 高度医療への取り組み

①造血幹細胞移植	未だ完全には確立されていない治療法であり、安全に行えるよう新たな前処置などを取り入れている。
----------	--

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 2 月 15 日	The5th Hematology Seminar	昭和大学病院

6) 循環器内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 小林 洋一

医局長： 濱寄 裕司

(2) 医師数

教授	0 名	講師	10 名	助教(員外)	2 名
准教授	2 名	助教	5 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	32 名
2 年次臨床研修医	22 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会指導医	10 名
	日本高血圧学会指導医	1 名
	日本超音波学会指導医	1 名
専門医	日本内科学会専門医	11 名
	日本循環器学会専門医	18 名
	日本不整脈心電学会専門医	5 名
	日本心血管インターベンション治療学会専門医	1 名
	日本動脈硬化学会認定動脈硬化学会専門医	1 名
	日本老年医学会指導医、専門医	1 名
	日本超音波学会専門医	1 名
認定医	日本内科学会認定医	21 名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	冠動脈カテーテル治療	491
2	末梢血管カテーテル治療	40
3	カテーテル心筋焼灼術	267
4	ペースメーカー植え込み術	73
5	植え込み型除細動器植え込み術	31
6	CRT-D 植え込み術	16
7	Loop Recorder 植え込み	16

	検査項目	患者数
1	冠動脈造影	694
2	末梢血管造影	80
3	心臓電気生理検査	56
4	経胸壁心エコー	6,662
5	経食道心エコー	295
6	心臓核医学検査	844
7	心臓 CT	670
8	心臓 MRI	67

2. 高度医療への取り組み

①難治性心不全患者に対する非薬物治療	難治性心不全の患者さんに対して両心室ペーシング治療により心機能を改善させる治療を行っており良好な成績をおさめている。今後も新しい心不全治療向上を図っている。
②経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)	心臓血管外科、麻酔科、及び放射線科とともにハートチームを形成し、開胸手術が困難であった患者に対して侵襲の少ない経カテーテル大動脈弁留置術を実施しており、症例も増加している。
③新規導入予定のデバイス	日本に新規導入予定の冠動脈薬剤溶出ステントやリードレスペースメーカーも使用可能となり、今後も新しい高度医療による治療が増加が予想される。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
2	平成 28 年 7 月 2 日	失神研究会	昭和大学病院

7) 腫瘍内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：佐々木 康綱 医局長：濱田 和幸

(2) 医師数

教授	1 名	講師	3 名	助教(員外)	0 名
准教授	0 名	助教	2 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	8 名
2 年次臨床研修医	4 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	2 名
	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法暫定指導医	1 名
専門医	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	3 名
	日本呼吸器学会 専門医	3 名
	日本アレルギー学会 専門医	1 名
	日本消化器病学会 専門医	1 名
	日本消化器内視鏡学会 専門医	1 名
	日本外科学会 専門医	1 名
	日本内科学会 総合専門医	4 名
認定医	日本がん治療認定機構 がん治療認定医	3 名
	日本内科学会 認定医	5 名

(5) 主な診療実績

	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 癌腫別 入院患者者数(実数)	患者数
1	肺癌	134
2	大腸癌	89
3	食道癌	54
4	胃癌	35
5	乳癌	29
6	肉腫	13

	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 癌腫別 入院患者者数(実数)	患者数
7	原発不明癌	8
8	膀胱癌	7
9	胚細胞腫瘍	4
10	その他	30
	合計	403

	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 診療実績数(延数)	患者数
1	外来患者数	9,727
2	入院患者数	15,398

2. 高度医療への取り組み

①臨床試験(臨床治験含む)	肺癌 胃癌 食道癌 直腸・結腸癌に対して医師主導臨床試験および治験を実施している。また、臨床薬理的な背景をもとにした、トランスレーショナル・リサーチを腫瘍分子生物学研究所と共同して展開している。
---------------	---

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 11 月 21 日	第 11 回がん医療研究会	臨床講堂

昭和大学病院 診療部門

8) 総合診療科（ER）

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：齋藤 司

医局長：垂水 庸子

(2) 医師数

教授	0 名	講師	0 名	助教(員外)	0 名
准教授	1 名	助教	2 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	37 名
2 年次臨床研修医	24 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本内科学会総合内科専門医	1 名
	日本救急医学会救急科専門医	1 名
	日本循環器学会専門医	1 名
認定医	日本内科学会認定医	3 名
	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医	1 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	胃腸炎	372
2	末梢性めまい	195
3	身体表現性障害など	187
4	失神・前失神	177
5	急性上気道炎	175
6	肺炎	140
7	尿路結石	124
8	挫傷	120
9	尿路感染症	116
10	片頭痛・緊張型頭痛	114

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 10 月 22 日	昭和大学クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル
2	平成 28 年 11 月 12 日	昭和大学公開講座	昭和大学
3	平成 28 年 11 月 26 日	昭和大学公開講座	昭和大学

昭和大学病院 診療部門

9) 感染症内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 二木 芳人 医局長： 詫間 隆博

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	0 名
准教授	0 名	助教	1 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	9 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会認定指導医	2 名
	日本感染症学会指導医	1 名
	日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	1 名
	日本呼吸器学会指導医	1 名
専門医	日本内科学会認定総合内科専門医	2 名
	日本感染症学会専門医	2 名
	日本呼吸器学会専門医	1 名
	日本医真菌学会専門医	1 名
認定医	日本内科学会認定医	2 名
その他	インфекションコントロールドクター(ICD)	2 名
	日本化学療法学会臨床試験指導者	1 名

(5) 主な診療実績

	併診症例	患者数
1	院内コンサルト	105 名
2	血液培養陽性	868 名
3	耐性菌・抗菌薬長期など	199 名

2. 高度医療への取り組み

①Antimicrobial Stewardship Team (AST;抗菌薬適正使用支援チーム) の推進	日本では初めての抗菌薬適正使用支援チーム(AST)として、当科の医師が中心となって、薬剤師、検査技師と共に抗菌薬適正使用の推進に取り組む体制を構築し、その実践と評価、普及に取り組んでいる。
②多診療科にわたる治験の取り組み	新薬の治験は従来は単診療科での患者を対象に行われることがほとんどであったが、感染症の治験対象患者はどの診療科で発生するか予測が難しく、全病院単位で特定の診療科に関わらず、当科で併診して治験を行う体制を構築してきている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 12 日	第 9 回昭和感染症フォーラム	目黒雅叙園
2	平成 28 年 12 月 1 日	第 10 回昭和感染症フォーラム	目黒雅叙園
3	平成 28 年 6 月 24 日	抗菌薬スキルアップセミナー アドバンスト 1	昭和大学病院
4	平成 28 年 7 月 1 日	抗菌薬スキルアップセミナー アドバンスト 2	昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

10) 心臓血管外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：青木 淳

医局長：丸田 一人

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	0 名
准教授	1 名	助教			

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	8 名
2 年次臨床研修医	2 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本外科学会指導医	3 名
	日本心臓血管外科学会指導医	3 名
専門医	心臓血管外科専門医	3 名
	日本外科学会専門医	4 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	弁置換術	29
2	弁形成術	12
3	経カテーテル弁移植術	29
4	冠動脈バイパス術	5
5	開胸大血管手術	9
6	開腹大血管手術	12
7	胸部ステントグラフト	24
8	腹部ステントグラフト	27
9	胸部その他	15
10	末梢血管その他	14

	主な検査・処置名	患者数
1	周術期口腔機能管理計画	439
2	歯周基本検査	1,432

2. 高度医療への取り組み

①経カテーテル大動脈弁移植術	2015 年 12 月よりハイブリッド手術室で経カテーテル大動脈弁移植術を開始し、高齢者や開胸手術困難な重度大動脈弁狭窄症を対象に積極的に治療を行い、在院死亡ゼロの良好な成績を残した。
②腰動脈塞栓術を併施した腹部ステントグラフト内挿術	腹部ステントグラフト内挿術を行う時に、腹部大動脈から分枝している下腸間膜動脈や腰動脈にコイル塞栓を併施することにより Type II エンドリークによる瘤拡大を積極的に予防している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 2 月 18 日	第 335 回昭和大学学士会例会	昭和大学
2	平成 28 年 10 月 22 日	第 31 回昭和大学クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル東京
3	平成 28 年 4 月 23 日	城南周術期循環管理フォーラム 2016	昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

11) 呼吸器外科

1. 診療体制と実績

診療科長：鈴木 隆

医局長：片岡 大輔

(1) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	1 名
准教授	1 名	助教	3 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	18 名
2 年次臨床研修医	4 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本外科学会指導医	3名
	日本呼吸器内視鏡学会指導医	2名
	呼吸器学会指導医	1名
	日本がん治療認定医機構暫定指導医	1名
専門医	呼吸器外科専門医	3名
	日本外科学会専門医	3名
	日本呼吸器学会専門医	1名
	日本気管食道科学会専門医	1名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	肺がん切除	77
2	肺嚢胞切除	39
3	胸腺摘出術	3
4	胸腺以外の縦隔腫瘍摘出	4
5	転移性肺腫瘍	22
6	膿胸の手術	7

	主な検査・処置名	患者数
1	周術期口腔機能管理計画	439
2	歯周基本検査	1,432

昭和大学病院 診療部門

12) 消化器・一般外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：村上 雅彦

医局長：大塚 耕司

(2) 医師数

教授	1 名	講師	6 名	助教(員外)	10 名
准教授	1 名	助教	11 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	11 名
2 年次臨床研修医	2 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本外科学会指導医	7 名
	日本消化器外科学会指導医	3 名
	日本消化器内視鏡学会指導医	6 名
	日本消化器病学会指導医	3 名
	日本大腸肛門病学会指導医	2 名
	日本消化管学会	1 名
	日本肝臓学会指導医	1 名
	日本肝胆膵外科学会高度技能指導医	2 名
	日本透析医学会指導医	1 名
	臨床研修指導医	11 名
専門医	日本外科学会専門医	17 名
	日本消化器外科学会専門医	8 名
	日本消化器内視鏡学会専門医	3 名
	日本消化器病学会専門医	1 名
	日本肝臓学会専門医	2 名
	日本食道学会食道外科専門医	1 名
	日本臨床腎移植学会専門医・腎移植認定医	1 名
	日本消化管学会胃腸科専門医	1 名
認定医	日本内視鏡外科学会技術認定医	3 名
	日本食道学会食道科認定医	5 名
	がん治療認定医	4 名
	消化器がん外科治療認定医	10 名

	日本再生医療学会認定医	1 名
	日本癌治療学会認定医	1 名
その他	日本がん治療暫定教育医	2 名
	日本腹部救急医学会暫定教育医	2 名
	日本外科感染症学会 ICD 医	2 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	胆嚢摘出術(腹腔鏡)	139(126)
2	鼠径ヘルニア根治術(腹腔鏡)	108(80)
3	食道亜全摘術(胸腔鏡)	102(102)
4	結腸切除術(腹腔鏡)	98(93)
5	虫垂切除術(腹腔鏡)	82(82)
6	シャント造設術	67
7	肝切除術(腹腔鏡)	59(23)
8	幽門側胃切除術(腹腔鏡)	43(40)
9	直腸切除(断)術(腹腔鏡)	36(35)
10	胃全摘術(腹腔鏡)	33(30)

	項主な検査・処置名	患者数
1	上部消化管内視鏡	1,146
2	下部消化管内視鏡	899
3	腹部超音波検査	525
4	治療内視鏡(EMR/ESD)	402

2. 高度医療への取り組み

①胸腔鏡下食道癌根治術	食道癌の標準根治術式として、胸腔鏡・腹腔鏡併用食道癌根治術を 108 例(100%)に施行。手術死亡率 0%。縫合不全 3%。
②腹腔鏡下肝・膵切除術	術前・中 3D シミュレーション、近赤外線蛍光内視鏡を導入し、安全な腹腔鏡下肝・膵切除を肝 26 例・膵 5 例の計 31 例(30%)に施行。手術死亡率 0%。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 7 月 23 日	ブラックジャックセミナー	昭和大学
2	平成 28 年 9 月 1 日	第 5 回城南手術合併症撲滅フォーラム	東京
3	平成 28 年 9 月 17 日	第 13 回腹腔鏡手術の理論と基礎	東京
4	平成 28 年 9 月 30 日	第 4 回チーム医療からみた周術期管理実践セミナー～ 腹腔鏡下肝切除手術における周術期管理	東京
5	平成 28 年 10 月 21 日	第 3 回城南消化器内視鏡外科学研究会	東京
6	平成 29 年 1 月 20 日	第 4 回昭和臓器不全フォーラム	東京
7	平成 29 年 2 月 28 日	第 7 回旗の台消化器センター地域連携フォーラム	東京
8	平成 29 年 3 月 3 日	第 7 回城南消化器内視鏡外科学研究会	東京
9	平成 29 年 3 月 17 日	第 32 回城南消化器疾患懇話会	東京

13) 乳腺外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：中村 清吾

医局長：桑山 隆志

(2) 医師数

教授	1 名	講師	0 名	助教(員外)	11 名
准教授	2 名	助教	4 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	0 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本外科学会専門医(指導医)	10 名
	日本乳癌学会乳腺専門医	7 名
認定医	マンモグラフィ読影認定医	12 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数		主な検査・処置名	患者数
1	乳房切除術	236	1	マンモグラフィ	4,210
	内 一期的乳房再建術	157	2	DEXA	348
2	乳房温存術	180	3	マンモトーム生検	148
	内 SAVI	13	4	乳房超音波	6,488
3	マンモトーム生検	148	5	針生検	637

2. 高度医療への取り組み

① 家族性乳癌に対する診療体制	乳癌、卵巣癌に関係する BRCA 遺伝子のカウンセリングや遺伝子検査を行い、乳癌治療に役立てている。
② 乳房再建手術	乳房全摘手術後の乳房再建を形成外科と共同しながら患者の希望にこたえるよう治療している。
③ SAVI を用いた新しい乳房温存療法	放射線科と共同して新しい放射線治療デバイス SAVI を用いた部分加速照射を温存療法後の乳房に行うことで、従来の治療と比較して短期に手術および放射線照射の期間が短縮可能となり、患者の負担も軽減できるような治療を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 7 月 27 日～28 日	第 6 回乳腺腫瘍学セミナー	昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

14) 小児外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：土岐 彰

医局長：杉山 彰英

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	0 名
准教授	1 名	助教	3 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	4 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本小児外科学会指導医	3 名
	日本外科学会指導医	3 名
専門医	日本小児外科学会専門医	3 名
	日本外科学会専門医	4 名
認定医	日本胸部外科学会認定医	1 名
	日本消化器外科学会認定医	1 名
	日本外科学会認定医	4 名
その他	日本がん治療認定医機構暫定教育医	1 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	鼠径ヘルニア(腹腔鏡下手術を含む)	90
2	停留精巣	19
3	臍ヘルニア	15
4	腹腔鏡下虫垂切除術	15
5	腹腔鏡下噴門形成術	5
6	腸重積症非観血的整復術	5
7	消化管ろう造設術	3
8	頸部ろう手術	4
9	消化管穿孔手術	3
10	消化管内視鏡	4

2. 高度医療への取り組み

①低侵襲手術	開腹手術は可能な限り臍輪を利用した切開創(臍弧状切開)で行い、術後創を目立ちにくくしている。鼠径ヘルニア、虫垂炎、噴門形成、胃ろうに対しては積極的に鏡視下手術を行っている。また、漏斗胸に対して、胸壁に金属バーを挿入して、陥没した胸壁を強制する Nuss 法を行っている
②基礎的研究	小児外科疾患の出生前診断の普及に伴い、重症例が増加している。これらの胎児に対して胎児治療が積極的に行われるようになってきている。当科では先天性嚢胞状腺様形成異常(CCAM)、肺分画症、巨大宣仙尾部奇形腫などの実験モデルに高密度焦点式超音波(HIFU:High-Intensity Focused Ultrasound)を照射し、流入(栄養)血管の焼灼塞栓を行う実験や脊髄髄膜瘤に対する細胞シート移植を応用した胎児治療に関する実験を他施設と共同で行っている

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 11 日	第 65 回小児外科モーニングカンファレンス	昭和大学病院
2	平成 28 年 12 月 3 日	第 66 回小児外科モーニングカンファレンス	昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

15) 脳神経外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：水谷 徹

医局長：鷲見 賢司

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	1 名
准教授	1 名	助教	10 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	10 名
2 年次臨床研修医	4 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本脳神経血管内治療学会指導医	1 名
専門医	日本脳神経外科学会専門医	11 名
認定医	日本神経内視鏡学会認定医	2 名
	日本脳卒中学会認定医	5 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
	<手術>	
1	脳動脈瘤開頭クリッピング(以下内訳)	106
	破裂脳動脈瘤	32
	未破裂脳動脈瘤	74
2	頸動脈内膜剥離術(CEA)	44
3	脳動脈バイパス術	18
4	脳腫瘍摘出術	39
5	微小血管減圧術(顔面けいれん、三叉神経痛)	44
	<血管内治療>	
6	脳動脈瘤血管内治療(以下内訳)	39
	破裂脳動脈瘤	8
	未破裂脳動脈瘤	31
7	破裂脳動脈瘤	34
8	急性期再開通	26

	主な検査・処置名 等	患者数
1	脳血管撮影	515
2	脳血流シンチ	300
3	頸動脈エコー	582

2. 高度医療への取り組み

①高度医療への取り組み	ワークステーションとIT ネットワークによる手術シミュレーションと術者教育 ハイビジョン手術動画ファイル、画像のライブラリ化、さらにワークステーションを手術室、医局などから操作することで、すべての手術情報を融合し、ネットワーク化する試みを行っている。これらはすべて一般IT 機器を用いて手作りで構築した。手術教育と、より精度の高い、安全、確実な手術を目指すことができる、他に先駆けた先鋭的な試みである。
②大型、巨大脳動脈瘤の総合治療戦略	大型、巨大脳動脈瘤は治療難易度が高く、詳細な画像によるシミュレーションや血管閉塞テストを含む血管内手技の導入、バイパス術、高度の剥離技術、など総合戦略が必要である。 昭和大学脳神経外科では、3D DSA workstation(WS) をカンファ室、手術室でネットワーク操作可能にし、穿通枝の詳細な位置、癒着動脈の状態を常に術者目線で描出している。手術は最新の Hybrid OR で行い、WS や術中3D DSA を用いてリアルタイムに術中戦略を立てている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	毎月(8月除く)	脳神経外科スキルアップ研究会	昭和大学
2	平成28年9月3日	第4回 Hybrid Neurosurgery 研究会	シダックスホール

昭和大学病院 診療部門

16) 整形外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：稲垣 克記 医局長：豊島 洋一

(2) 医師数

教授	2 名	講師	8 名	助教(員外)	15 名
准教授	0 名	助教	4 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	4 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本リウマチ学会指導医	2 名
	日本脊椎脊髄病学会指導医	3 名
専門医	日本整形外科学会整形外科専門医	36 名
	日本リハビリテーション医学会認定専門医	5 名
	日本リウマチ学会リウマチ専門医	7 名
	日本手外科学会専門医	3 名
その他	日本整形外科学会認定スポーツ医	14 名
	日本整形外科学会認定リウマチ医	12 名
	日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医	14 名
	日本整形外科学会認定リハビリテーション医	10 名
	日本リハビリテーション医学会認定臨床医	8 名
	日本体育協会公認スポーツドクター	17 名
	義肢装具等適合判定医	11 名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	脊椎手術	227
2	手外科関連手術	184
3	上肢骨折手術	138
4	人工股関節置換術	132
5	膝関節鏡手術	107

	手術項目	患者数
6	体幹・下肢骨折手術	89
7	人工膝関節置換術	76
8	体幹・下肢骨折外科手術	40
9	骨軟部腫瘍摘出手術	28
10	肩関節鏡手術	13

2. 高度医療への取り組み

①人工関節置換術	長期耐用に優れた摩耗しない加工のポリエチレンや骨温存型の大腿骨ステムを使用した人工股関節置換やオキシニウム素材を使用している人工膝関節を使用して治療成績が向上している。 人工肘関節の有限要素解析を行い、個別別にインプラントの安定性の評価に臨床応用を検討している。
②関節リウマチ	関節リウマチにおける骨粗鬆症を検討し、抗 RANKL 抗体製剤の投与による変化を検討している。関節リウマチにおける骨粗鬆症の特徴を臨床調査している。
③骨粗鬆症	遺伝子組み換え PTH 製剤、SERM、ビスフォスフォネート剤、カルシトニン製剤等を個々の症例にあった治療を行っている。 サルコペニアを中心として、骨粗鬆症とロコモティブシンドロームの関係性について臨調調査を行っている。
④スポーツ障害	CT による ACL 骨孔の位置評価を行い再建人体の適正位置を確認している。新しい KT2000 や超音波機器を用いて関節靱帯のエラスティを測定して障害の診断・治療を行っている。新しいタイプの人工関節である Reverse 型人工肩関節手術を施設認定を受けたうえで試行している。
⑤脊椎外科	ハイブリッド手術室を利用し、経皮的な椎弓根スクリューの挿入を行っている。腰椎後弯症に対する PSO (pedicle subtraction osteotomy) による脊椎矯正術を行っている。
⑥上肢の外科	近年進歩の著しい上肢の人工関節、人工関節を使わない関節形成術、TFCC (線湿性三角軟骨複合体) への内視鏡の応用、皮弁形成や血管柄付き骨移植などのマイクロサージャリーを行っている。骨接合インプラントのバイオメカニクス研究の臨床応用を行い、優れた治療成績が得られている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 4 月 28 日	第 34 回東京品川運動器カンファレンス	昭和大学病院
2	平成 28 年 6 月 16 日	第 35 回東京品川運動器カンファレンス	昭和大学病院
3	平成 28 年 11 月 30 日	第 36 回東京品川運動器カンファレンス	シェラトン都ホテル東京
4	平成 29 年 3 月 23 日	第 37 回東京品川運動器カンファレンス	昭和大学病院

昭和大学病院 診療部門

17) リハビリテーション科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：(代)板橋 家頭夫 医局長：依田 光正

(2) 医師数

教授	0 名	講師	0 名	助教(員外)	0 名
准教授	1 名	助教	1 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	3 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本リハビリテーション医学会専門医	3 名
認定医	日本リハビリテーション医学会認定医	2 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	理学療法処方	1,659
2	作業療法処方	913
3	嚥下回診患者数	390

2. 高度医療への取り組み

①摂食嚥下回診	平成 21 年度より医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、栄養師による摂食嚥下チームが発足し、主治医からの依頼により週一回の定期回診、およびカンファレンスを行なっている。それ以外にも適宜、口腔ケアや病棟指導、嚥下内視鏡や嚥下造影を行なうことにより、入院中摂食・嚥下障害患者に対する積極的なケアを行っている。
②痙縮に対するボツリヌス療法	平成 22 年 10 月から、上肢、下肢痙縮に対してもボツリヌス療法が保険適用となったのを受け、同年 12 月から外来にて主に脳卒中後遺症による痙縮患者に対しボツリヌス療法を行なっている。
③早期リハビリテーション	ICU・CCU・ER などクリティカルな状況から、多職種参加のカンファレンスを行いながら早期離床を進めるなど早期リハビリテーションに力を入れた。

18) 形成外科

1. 診療体制と患者構成

(1)

診療科長：吉本 信也

医局長：黒木 知明

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	1 名
准教授	2 名	助教	2 名		

(3) 指導医及び専門医・認定医

指導医	臨床研修指導医	5名
専門医	日本形成外科学会専門医	7名
	日本美容外科学会・教育専門医	2名
	皮膚腫瘍外科学会指導専門医	4名
	創傷外科学会専門医	2名
	日本頭蓋顎顔面外科学会専門医	1名
	手外科専門医	2名
	熱傷専門医	1名
認定医	海外留学生インストラクター	1名

(4) 主な診療実績

1) 平成28年・形成外科手術件数

入院手術	全身麻酔	933件	(合計962件)
	局所麻酔・その他*	29件	
外来手術	全身麻酔	5件	(合計381件)
	局所麻酔・その他*	376件	

2) 平成28年度主な疾患における入院診療の実績内訳

	手術項目(入院)	患者数
1	唇裂・口蓋裂	424
2	腫瘍切除の組織欠損(一次再建)	257
3	悪性腫瘍	26
4	良性腫瘍	67
5	頭蓋・顎・顔面・先天異常	41
6	顔面骨骨折	48
7	瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	19
8	難治性潰瘍	10
9	美容外科	15
1	四肢先天異常	8

	主な検査・処置名(外来・入院問わず)	患者数
1	鼻咽腔ファイバー検査	42

2. 高度医療への取り組み

① 特殊な装置および技術を用いた術前鼻歯槽矯正(PNAM)法治療	当院では症例により最新治療である術前矯正治療(nasoalveolarmolding 以下 NAM)を初回口唇鼻形成術前に行なっている。NAM 治療は、術前の鼻軟骨形態改善や裂幅の縮小、および、初回手術時に顎裂部の歯肉骨膜形成(gingivoperiosteoplasty 以下 GPP)の施行を可能とする目的がある。術前に鼻軟骨形態を改善させることで、手術ではより正常に近い形態が作りやすくなり、GPP を行うことで、顎裂部に骨架橋が作られ、学童期の顎裂部骨移植が不要となることが期待される。
② 3D カメラによる形態評価の臨床応用	当院では、口唇や乳房に対して客観性のある形態評価を行うため、3D カメラを用いた形態の数値化を行い、解析している。これらの研究で得た知見は、口唇口蓋裂や乳房再建の術後成績の向上に役立っている。
③ 医療用3D 実体モデルを用いた顎顔面領域手術	三次元実体模型は、模擬手術、テンプレート作成に非常に有用である。特に顎顔面領域の骨は複雑な形態をしており、術前に三次元的な骨の形態把握に実体モデルを用いて行うことで、医療者の顔面骨立体認識が容易になり、従来の方法に比べてより精度の高い再建が可能となっている。
④ 微小血管吻合技術	微小血管吻合技術により、頭頸部(頭蓋・顎顔面)、体幹部(胸・腹壁・外陰)、四肢(軟部組織欠損、指欠損)などの様々な組織の移植・修復を行なっている。さらに近年、本技術を用いたリンパ管静脈吻合によるリンパ浮腫治療も行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成28年10月7日～22日	マダガスカル共和国口唇口蓋裂医療協力	アンチラベ市・クリニックアベマリア病院

19) 美容外科

1. 診療体制と患者構成

(1)

診療科長：大久保 文雄

(2) 医師数 3名(常勤3名、非常勤0名)

教授	1 名	准教授	1 名	講師	1 名
----	-----	-----	-----	----	-----

(3) 指導医及び専門医・認定医

指導医	皮膚腫瘍指導専門医	1名
専門医	形成外科専門医	3名
	臨床皮膚外科専門医	1名
	美容外科専門医	1名
認定医	海外留学生インストラクター	1名

(4) 入院診療の実績

	疾患名(入院)	患者数
1	顎変形	59
2	耳介異常	8
3	皮膚腫瘍	65
4	眼瞼下垂	27
5	瘢痕	65
6	手の先天奇形	3
7	鼻形成	79
8	乳房異物	36
9	臍変形	2
10	腋臭症	1

	手術項目(入院)	患者数
1	顎形成術	59
2	耳介形成術	8
3	皮膚腫瘍切除	65
4	眼瞼形成術	27
5	瘢痕修正	65
6	手指形成術	3
7	鼻形成術	79
8	乳房形成・異物摘出	36
9	臍形成	2
10	腋臭症	1

2. 高度医療への取り組み

①脂肪幹細胞の遊離移植	脂肪吸引によって得られた遊離脂肪を遠心分離し、幹細胞を主成分とする分画を局所注射することにより、より生着しやすい遊離脂肪注入をおこなう。
②3次元カメラの臨床応用	最新の携帯型3次元カメラを用いて顔面を撮影し、パソコン上で美容外科手術のシミュレーションを行い、より精度の高い美容外科手術を提供する。また、顔面計測することで術前後の評価が数値化できる。

昭和大学病院 診療部門

20) 産婦人科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：関沢 明彦

医局長：石川 哲也

(2) 医師数

教授	2 名	講師	6 名	助教(員外)	2 名
准教授	2 名	助教	30 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	14 名
2 年次臨床研修医	6 名

(3) 指導医及び専門医・認定医

指導医・指定医	日本産科婦人科学会指導医	17 名
	超音波指導医	2 名
	婦人科腫瘍指導医	2 名
	周産期(母体胎児)指導医	2 名
	母体保護法指定医	6 名
	臨床研修指導医	12 名
	内分泌代謝指導医	1 名
	臨床遺伝指導医	1 名
	がん治療指導医	1 名
	身体障害者福祉法第15条指定医	1 名
	日本女性医学会ヘルスケア指導医	2 名
専門医	産婦人科専門医	28 名
	生殖医療専門医	2 名
	周産期(母体・胎児)専門医	8 名
	婦人科腫瘍専門医	4 名
	超音波専門医	5 名
	臨床遺伝専門医	7 名
	内分泌代謝専門医	2 名
	日本女性医学会女性ヘルスケア専門医	1 名
認定医	内視鏡外科学会技術認定医	3 名
	がん治療認定医	7 名
	日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医	4 名
	女性心身医学会認定	1 名

その他	da Vinci System Certificate (Console Surgeon)	1 名
	女性のヘルスケアアドバイザー	1 名
	新生児蘇生インストラクター	7 名
	Fetal Medicine Foundation オペレーター資格	4 名
	J-CIMELS インストラクター	6 名
	日本哺乳動物卵子学会生殖補助医療胚培養士 遺伝カウンセラー	1 名 3 名

(4) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	帝王切開	357
2	子宮頸癌(進行癌)	19
3	子宮体癌(進行癌)	23

	主な検査・処置名	患者数
1	分娩数	1245
2	母体搬送受入数	42
3	NIPT	694

2. 高度医療への取り組み

① ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術	腹腔鏡手術に比べてロボット手術では視野を十分に拡大して微細な操作が行えます。また、腹腔鏡手術と同様に低侵襲性にも特色があります。子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術など先進的な医療として取り組んでいます。
② 子宮脱に対する腹腔鏡下仙骨靱帯固定術	子宮脱の新しい手術方法として腹腔鏡下仙骨靱帯固定術を行っています。子宮脱手術の再発例でも優れた治療成績が出ています。
③ 母体救命対応総合周産期センター	母体の生命のリスクを伴う妊産婦を無条件で受け入れる周産期センターとして東京都から指定されています。産婦人科と救急医学科などの他診療科との連携体制を整え、最大限の集中治療が行える体制を整えています。
④ 遺伝性腫瘍外来	遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に対応するための専門外来を設置しています。乳腺外科との連携下で十分な遺伝カウンセリングと遺伝検査を実施するとともに、腹腔鏡下予防的卵巣卵管切除術を行っています。
⑤ 胎児精密超音波検査	当院の胎児超音波検査の高い精度は国内的に定評があります。妊娠初期・中期超音波検査は高い専門性を備えた医師が責任をもって診断に結び付ける体制で実施しています。
⑥ 母体血胎児染色体検査	いわゆる新型出生全検査であり、専門的な遺伝カウンセリングと支援体制のもと、無侵襲的出生前染色体検査を提供しています。
⑦ 腹腔鏡下子宮体癌手術	腹腔鏡下子宮体がん手術を行っています。この手術は腫瘍専門医と腹腔鏡の技術認定医が共同で行い、従来の開腹手術に比べて圧倒的に低侵襲に行えます。

3. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 12 日	品川地区産婦人科臨床研究会	昭和大学臨床講堂
2	平成 28 年 5 月 22 日	東京母性衛生学会	昭和大学臨床講堂

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
3	平成 28 年 6 月 3 日	第 38 回周産期管理研究会	昭和大学病院 C7 研修室
4	平成 28 年 6 月 23 日	昭和大学婦人科研究会	昭和大学病院 C7 研修室
5	平成 28 年 7 月 2 日	学士会シンポジウム	昭和大学 1 号館 7 階
6	平成 28 年 10 月 3 日	第 8 回周産期管理研究会	昭和大学 400 号室

21) 小児科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長: (代)田角 勝

医局長: 神谷 太郎

(2) 医師数

教授	2 名	講師	4 名	助教(員外)	3 名
准教授	0 名	助教	16 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	34 名
2 年次臨床研修医	20 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本アレルギー学会指導医	1名
	日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	1名
	日本肥満学会肥満症指導医	1名
	日本てんかん学会てんかん専門医指導医	1名
専門医	日本小児科学会専門医	19名
	日本アレルギー学会専門医	4名
	日本周産期新生児学会専門医	3名
	日本小児神経学会専門医	2名
	日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医	2名
	日本腎臓学会専門医	1名
	日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	1名
	日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医	1名
	日本肥満学会肥満症専門医	1名
	日本てんかん学会てんかん専門医	1名
認定医	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定医	1名
	小児栄養消化器肝臓認定医	1名
	小児精神神経学会認定医	1名
	日本感染学会認定医	1名
その他	国際認定ラクテーションコンサルタント	2名
	ICD (Infection control doctor)	3名
	NCPR インストラクター	4名

(5) 主な診療実績

	入院実績	患者数
1	食物アレルギー, アナフィラキシー	617
2	肺炎・気管支炎・細気管支炎・クループ症候群	116
3	急性胃腸炎・嘔吐症	70
4	川崎病	53
5	てんかん・熱性けいれん	52
6	気管支喘息	44
7	尿路感染症	11
8	シェーンライン・ヘノッホ紫斑病・ネフローゼ症候群	10

	主な検査・処置名	患者数
1	食物経口負荷試験	1,320
2	心臓超音波検査	1,000
3	スパイロメトリーSPP	750
4	腎臓超音波検査	140
5	腎シンチグラフィー	20
6	腎生検	4
7	成長障害検査	4

母子医療センター新生児部門 NICU の実績は別項に記載

2. 高度医療への取り組み

①脳形成障害の包括的診療	滑脳症や小頭症、Aicardi 症候群、裂脳症などの脳形成障害合併者に対し、包括的診療(画像診断から遺伝子解析、治療まで)を行っている。
②てんかん症候群の原因診断と遺伝相談	主に乳幼児期に発症する難治性のてんかん症候群に対し、原因遺伝子解析に基づいた遺伝相談を行ない、将来的には原因毎の薬剤選択による効果的で副作用の少ない治療法開発を行っている。
③経口免疫療法	同治療は食物アレルギーを治癒に導く唯一の治療方法である。しかしリスクを伴うため、体系的に行っている施設は全国でも極めて少ない。また食物負荷試験に基づく、必要最小限の除去食を積極的に指導している。これは患者のQOL向上はもちろん、マイルドに治癒へつなげる可能性を秘め、先駆的な食事療法として注目を集めている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 25～26 日	第 37 回ハイリスク児フォローアップ研究会	昭和大学
2	平成 28 年 11 月 26～27 日	第 30 回日本小児脂質研究会学術集会	昭和大学
3	平成 29 年 2 月 25 日	第 1 回臨床 DOHaD セミナー	昭和大学

22) 泌尿器科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：小川 良雄

医局長：森田 順

(2) 医師数

教授	1 名	講師	4 名	助教(員外)	0 名
准教授	2 名	助教	1 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	0 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本泌尿器科学会指導医	7 名
	日本腎臓学会指導医	1 名
	日本透析学会指導医	1 名
専門医	日本泌尿器科学会専門医	8 名
	日本透析学会専門医	2 名
	日本腎臓学会専門医	1 名
認定医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	5 名
	日本泌尿器内視鏡学会技術認定医	4 名
	日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)	4 名
	泌尿器ロボット支援手術プロクター	1 名

(5) 主な診療実績

入院診療の実績(上位10位)

	疾患名(入院)	患者数
1	手術目的入院	425
2	前立腺生検	264
3	尿路感染症	78
4	癌化学療法	62
5	進行癌全身管理	55
6	分子標的薬治	28
7	出血性疾患(膀胱タンポナーデ、腎出血)	18

	疾患名(入院)	患者数
8	腎不全	9
9	放射線療法	4
10	外傷性疾患	3
	手術項目(入院)	患者数
1	経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)	113
2	経尿道的尿路結石破碎術(TUL, f-TUL)	52
3	ロボット支援下根治的前立腺全摘除術(ダ・ヴィンチ)	50
4	経尿道的前立腺切除術(TUR-P)	26
5	腹腔鏡下腎摘除術	22
6	腎部分切除術	18
7	腹腔鏡下副腎摘除術	16
8	陰嚢水腫手術	12
9	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	11
10	膀胱全摘除術	6
	主な検査・処置名(外来・入院問わず)	患者数
1	前立腺生検	264
2	経尿道的尿管ステント留置、交換	165
3	体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	46
4	腎ろう造設	22

2. 高度医療への取り組み

①ロボット支援下根治的前立腺全摘除術(ダ・ヴィンチ)	2013年9月の導入以来、現在前立腺全摘除術のほぼ全例に適用し、現在は毎月曜日に2例の枠を設け、症例数を蓄積させている。
②体腔鏡下手術	副腎・腎疾患に対しては、現在ほぼ体腔鏡下手術で積極的に切除を施行している。従来の開腹手術と比較し低侵襲性で入院期間の短縮を図っている。また、腎温存手術(腎部分切除術)にも積極的に取り組み、ミニマム創手術などを併用している。
③転移性腎癌に対する分子標的薬治療、新規免疫療法	切除不能腎細胞癌や腎癌腎摘出後の転移巣に対し、日本導入当初から積極的に施行している。また、平成28年度からは、新たな免疫チェックポイント分子阻害薬も導入され、さらに選択肢の幅を広げている。
④軟性鏡による尿路結石症手術	硬性尿管鏡では破碎困難な尿管結石や腎結石に対し、積極的に軟性尿管鏡とレーザーの使用による手術を施行し、単回手術での結石消失率向上を実現している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成28年7月10日	第6回 Showa Urology Conference	KTP 品川カンファレンスセンター
2	平成29年1月12日	旗の台泌尿器医療連携フォーラム	シェラトン都ホテル東京
3	平成29年3月30日	第8回城南地区腎癌セミナー	目黒雅叙園

23) 耳鼻咽喉科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 小林 一女

医局長： 許 芳行

(2) 医師数

教授	1 名	講師	3 名	助教(員外)	3 名
准教授	1 名	助教	5 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	9 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本耳鼻咽喉科学会専門医	11 名
	日本気管食道学会専門医	3 名
	頭頸部がん専門医	1 名
認定医	日本癌認定機構認定医	2 名
その他	補聴器適合判定医	6 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、 力を入れている症例	患者数
1	口蓋扁桃摘出術	100
2	鼻中隔矯正術	97
3	内視鏡鼻内副鼻腔手術	94
4	鼓室形成術	66
5	頸部郭清術	46
6	甲状腺手術	44
7	舌腫瘍摘出術	34
8	喉頭微細手術	31
9	耳下腺腫瘍摘出術	28
10	口腔・咽頭腫瘍摘出術	22

	主な検査・処置名	患者数
1	標準純音聴力検査	4,898
2	喉頭ファイバースコピー	3,836
3	嗅裂部・鼻咽腔ファイバー	1,587
4	甲状腺・頸部超音波検査	1,067
5	鼓室処置	1,041
6	平衡機能標準検査	852
7	基準嗅力検査	664
8	静脈性嗅覚検査	509
9	エコー下穿刺吸引細胞診	333
10	内視鏡下嚥下機能検査	142

2. 高度医療への取り組み

①舌下免疫療法	アレルギー性鼻炎の治療として薬物療法や手術療法、皮下注射での減感作療法が行われてきた。2014 年よりスギ、2015 年よりダニに対する減感作療法の選択肢として、皮下注射だけでなく、自宅で自らできる舌下投与（舌下免疫療法）が保険適応となった。 当科では従来の治療では症状の改善が乏しい方に対し、舌下免疫療法および後鼻神経切断などの手術療法を提示し治療を行っている。
②甲状腺癌分子標的療法	甲状腺癌の治療は手術が基本であり、根治切除が不能な場合は有効な治療法が従来なかった。しかし、2014 年に「ソラフェニブ」、2015 年に「レンパチニブ」という分子標的薬が保険適応となった。 当科では手術が不能な甲状腺癌の方に対しても、分子標的薬などの治療法を提示し治療を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 11 日	昭和耳鼻咽喉科医会	昭和大学臨床講堂
2	平成 28 年 10 月 21 日	旗の台中耳疾患フォーラム	渋谷東急 REI ホテル
3	平成 29 年 1 月 14 日	昭和耳鼻咽喉科医会	昭和大学臨床講堂
4	平成 29 年 3 月 25 日	SCPT ご家族向け講演会	昭和大学臨床講堂

昭和大学病院 診療部門

24) 放射線科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：後閑 武彦

医局長：宗近 次朗

(2) 医師数

教授	2 名	講師	2 名	助教(員外)	1 名
准教授	1 名	助教	11 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	21 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本医学放射線学会研修指導者	7 名
専門医	日本医学放射線学会放射線診断専門医	9 名
	日本血管造影・インターベンショナルラジオロジー学会専門医	1 名
	日本核医学会専門医	3 名
	日本超音波医学会専門医	1 名
認定医	日本乳癌学会認定医	1 名
	PET核医学認定医	4 名
	検診マンモグラフィ読影認定医師	4 名
	がん治療認定医	1 名
その他	日本がん治療認定医機構暫定教育医	2 名

(5) 主な診療実績

	主な検査・処置名(外来・入院問わず)	患者数
1	CT検査	38,801
2	MRI検査	22,797
3	マンモグラフィ	4,305
4	核医学検査	3,877
5	IVR	725
6	上部消化管造影	392
7	排泄性尿路造影・逆行性尿路造影	196

2. 高度医療への取り組み

①診断部門	3TMRI、Dual Energy 192 列 MDCT をはじめとする最新の画像診断装置を使用して、それぞれの疾患の診断に最適と思われる、スライス厚、撮影時間、造影剤注入時間及び最新のMRI撮像シーケンスを選択し、各種画像検査を施行し報告書を作成している。また必要に応じてワークステーションを用い三次元画像、フュージョン画像の作成も行っている。
②血管造影部門	フラットパネルを搭載した血管造影装置による C-Arm CBCT を利用して、血管造影、vascular IVR(血管拡張術や腫瘍や出血病変への経皮的塞栓術、腫瘍への動注化学療法、CVC ポート留置、ステント留置、CVC ポート留置、その他)、non vascular IVR(画像誘導下の膿瘍ドレナージ、腫瘍生検、その他)を行っている。また、先進医療として、TIPS を行っている。
③核医学部門	ガンマカメラとマルチスライス CT が一体となった最新の SPECT-CT 装置を導入している。現在、負荷心筋シンチの吸収補正に使用している。また、高画質、高速撮像が可能な 3 検出器型の SPECT 装置を導入している。また、ドパミントランスポーターシンチを導入している。この検査は、パーキンソン症候群との鑑別が必要となる本態性振戦やレビー小体型認知症との鑑別が必要となるアルツハイマー型認知症の診断に役立つ。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 21 日	第 10 回昭和大学画像診断医療連携の会	目黒

昭和大学病院 診療部門

25) 放射線治療科

1. 診療体制と実績

診療科長：加賀美 芳和

(1) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	0 名
准教授	1 名	助教	3 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	21 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	放射線治療専門医	3 名
	日本医学放射線学会専門医	1 名
認定	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	1 名
	医学物理士認定	1 名
その他	放射線治療研修指導医	3 名
	日本がん治療認定医機構暫定教育医	1 名

(5) 主な診療実績

	外部照射	患者数
1	乳腺	238
2	肺、縦隔	117
3	泌尿器科腫瘍	56
4	頭頸部	52
5	食道	50
6	婦人科腫瘍	37
7	胃、小腸、大腸	23
8	造血、リンパ系腫瘍	22
9	肝胆膵	16
10	脳、脊髄	6

	特殊な外部照射	患者数
1	強度変調放射線治療 (IMRT)	82
2	定位放射線治療	20
3	全身照射	3

	小線源治療)	患者数
1	子宮頸部	17
2	子宮体部	3
3	乳腺	12
4	前立腺	1

	小線源治療の方法	患者数
1	腔内照射	20 (72 件)
2	組織内照射	13
3	SAVI (組織内照射に含まれる)	12

	その他	患者数
1	ストロンチウム内用療法	1
2	甲状腺ヨード治療 (甲状腺機能亢進症)	1

2. 高度医療への取り組み

①多施設共同臨床試験 JCOG への参加	JCOG 放射線治療グループの一員として多施設共同臨床試験に参加し新たな標準治療の開発に寄与している。
②乳房部分照射	SAVI applicator 使用による乳房温存手術後の乳房部分照射を乳腺外科と共同研究として開始した。平成 26 年より始まった SAVI applicator 使用による乳房部分照射は、わが国初めての試みである。その先駆者として症例を重ねており、現在 37 症例施行している。
③画像誘導小線源治療 (IGBT)	腔内照射専用の CT 装置を導入した。これにより子宮頸癌や SAVI などの腔内照射をより安全かつ正確に行うことができるようになった。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 24 日	TJCRO (Tokyo Joint Centers of Radiation Oncology)	ホテル東京ガーデンパレス
2	平成 28 年 12 月 2 日	TJCRO (Tokyo Joint Centers of Radiation Oncology)	TKP ガーデンシティお茶の水

26) 麻酔科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：大嶽 浩司

医局長：上嶋 浩順

(2) 医師数

教授	1 名	講師	3 名	助教(員外)	1 名
准教授	3 名	助教	17 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	70 名
2 年次臨床研修医	5 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本麻酔科学会指導医	3 名
専門医	日本麻酔科学会専門医	5 名
	日本ペインクリニック学会専門医	2 名
	日本集中治療医学会専門医	3 名
	日本心臓血管麻酔学会専門医	3 名
	呼吸療法専門医	2 名
認定医	日本麻酔科学会認定医	6 名
	日本小児麻酔学会認定医	1 名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	全身麻酔	3,967
2	全身麻酔＋硬膜外麻酔、伝達麻酔	1,622
3	脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔	266
4	脊髄くも膜下麻酔	235
5	伝達麻酔	19
6	硬膜外麻酔	4
7	その他	63

2. 高度医療への取り組み

①遠隔医療 ICU システム (eICU)	院内の複数の重症病棟、江東豊洲病院の重症病棟をネットワークで繋ぎ、中央棟5階に設置した支援センターで全ての患者の情報が一覧できるアジア初の遠隔医療システム(eICU)を導入した。支援センターと全ベッドは双方向ビデオ通信システムでつながれており、ベッドサイドと支援センターのスタッフが相談しながら治療を進められる。米国では診療成績が改善するとの結果が出ており、日本でも診療成績の改善が見込まれる。
②超音波ガイド下末梢神経ブロック教育ラダー	超音波ガイド下末梢神経ブロックは急速に普及している。ブロックの診療の質を向上させるため、3段階の教育ラダーを導入した。このシステムでは、ブロック施行時の超音波画像をビデオ録画し、各ラダーで定められた所定の件数を終えた際に、インストラクターがチェックをし、認定されるとラダー昇格できる。これにより、各施行者が自らのレベルを認識することができ、末梢神経ブロックの合併症などを減少させることが期待できる。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 4 月 23 日	城南周術期循環管理フォーラム	昭和大学病院
2	平成 28 年 5 月 7 日	城南地区周術期管理セミナー	昭和大学病院
3	平成 28 年 6 月 25 日	末梢神経ブロック教育セミナー	昭和大学江東豊洲病院
4	平成 28 年 7 月 30 日	旗が岡麻酔セミナー	AP 東京丸の内
5	平成 28 年 9 月 1 日	学士会セミナー	昭和大学病院
6	平成 28 年 10 月 15 日	旗の台麻酔セミナー	昭和大学病院
7	平成 28 年 11 月 12 日	江東豊洲 PNB ワークショップ	昭和大学江東豊洲病院
8	平成 29 年 1 月 14 日	旗の台麻酔セミナー	昭和大学病院

27) 救急医学科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長: (代)板橋 家頭夫 医局長: 吉池 昭一

(2) 医師数

教授	1 名	講師	1 名	助教(員外)	2 名
准教授	1 名	助教	7 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	59 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本救急医学会救急指導医	2 名
専門医	日本救急医学会救急科専門医	4 名
	日本脳神経外科専門医	2 名
	日本整形外科学会専門医	1 名
	日本外傷学会専門医	1 名
	日本脳卒中外科専門医	2 名
認定医	日本集中治療学会認定医	1 名
その他	日本リハビリテーション医学会認定臨床医	1 名

2. 高度医療への取り組み

①重症熱中症の臨床研究 および基礎研究	重症熱中症について、臨床症例のデータ集積と解析による臨床研究、ラット熱中症モデルを用いた基礎研究など多角的な研究に取り組んでいる。また、日本救急医学会 熱中症に関する委員会が行う全国調査 (Heatstroke STUDY)に参加し、そのデータ分析によって重症熱中症の病態解析、新たな重症度分類、治療法の確立に努めている。さらに、厚生労働省の提供するレセプト情報を基に熱中症の疫学調査も行い、ガイドラインの策定に携わっている。
②心停止後症候群に対する 脳低温療法	心肺停止症例に対する病院前の救命処置の発達に伴い、蘇生に成功した症例が増加している。心停止後症候群、特に全脳虚血に対して、NIRUS や aEEG など最新のモニタリング下に、ジェルパッド式体外冷却装置や CV カテーテルを使用する血管内冷却装置を用いて、安全かつ

	効果的な脳低温療法の実施に取り組んでいる。
③救命救急センターにおける早期リハビリテーション	重症症例のICU退室後の長期予後が不良であることやICU滞在期間におけるせん妄が予後に関係することが指摘され、その対策としてリハビリテーションの重要性が報告されている。当施設では、以前より早期リハビリテーションの実施に努めている。また、その効果について分析し、安全性の確立に向けた取り組みを進めている。
④救急・集中治療における終末期医療	積極的な急性期医療の実施により救命できたが、集中治療の継続なしに生命を維持することが不可能な終末期に陥ってしまう場合がある。延命措置継続の是非について、本人の意思を尊重しつつ、家族、医療チームで検討し、納得できる最終的な医療の提供が可能となるため、チーム医療の成熟、進化に向けた努力を継続している。
⑤膜型人工肺を用いた重症呼吸不全の全身管理	呼吸器感染症などによる重症呼吸不全に対して、人工呼吸器を用いた管理のみで状態の改善が得られない場合、膜型人工肺を用いた全身管理による救命率の改善を目指している。
⑥急性一酸化炭素中毒に対する高気圧酸素療法	急性一酸化炭素中毒に対して、24時間以内に3回の高気圧酸素療法を実施している。また、間歇型一酸化炭素中毒による遅発性中枢神経障害について、その臨床像を明らかにするためにデータの蓄積と分析を行い、高気圧酸素療法の治療効果の検証とともに治療法の確立を目指した取り組みを行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

●社会・地域貢献活動

- ・日本DMAT出動件数:0件(対象災害なし)
- ・東京DMAT出動件数:

	回数
現場活動	1回
訓練参加	4回

昭和大学病院 診療部門

28) 臨床病理診断科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：瀧本 雅文

医局長：本間 まゆみ

(2) 医師数

教授	3 名	講師	1 名	助教(員外)	3 名
准教授	3 名	助教	2 名	歯科医(兼担)	6 名

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	1 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	病理専門医研修指導医	4 名
専門医	病理専門医	6 名
	細胞診専門医	6 名
	臨床検査専門医	3 名
	(兼担・口腔病理専門医)	4 名
その他	臨床検査管理医	5 名
	死体解剖資格	6 名
	インфекションコントロールドクター	1 名

(5) 主な診療実績

	主な検査・処置名	患者数
1	組織診診断件数 (【】迅速組織診診断件数)	15,838 【858】
2	細胞診診断件数 (【】迅速細胞診診断件数)	11,889 【98】
3	免疫染色件数	3,468
4	Her2 テスト、ER、PgR 検査、EGFR 検査数	2,039
5	病理解剖数	92
6	末梢血および骨髓血の血液像判読	61,794
7	免疫電気泳動判読	386
8	麻疹・風疹ゲノムの検出(倫理委員会承認 1281 号)	4

	主な検査・処置名	患者数
9	分子疫学手法（パルスフィールド電気泳動、Multi Locus Sequence Typing）による医療行為関連感染原因菌の追跡	50
10	抗菌薬耐性遺伝子、毒素遺伝子、rRNA 領域 DNA の解析による臨床分離菌の解析	400

2. 高度医療への取り組み

①抗体療法への関与	悪性リンパ腫、乳癌、胃癌、大腸癌、悪性中皮腫、神経内分泌腫瘍等において、抗体療法施行の是非に関し、免疫染色を活用することにより、抗体療法使用の可否を検索している。
②院内感染の検査技術	薬剤耐性遺伝子や毒素遺伝子解析とパルスフィールド電気泳動によるゲノム型解析および MLST 解析により、感染経路や拡大状況の解析を行う。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 11 月 30 日	第 3 回皮膚リンパ腫臨床・病理セミナー	協和発酵キリン(株) 新宿営業所会議室

29) 歯科・口腔外科

1. 診療体制と実績

(1)

責任者：岡松 良昌

(2) 歯科医師数

助教	2 名
----	-----

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	周術期口腔機能管理術前	350
2	周術期口腔機能管理術後	270
3	周術期口腔機能管理Ⅲ	254
4	週術期口腔衛生処置術前	343
5	周術期口腔衛生処置術後	269
6	病棟往診の口腔ケア	200
7	嚥下回診の口腔評価	1,373
8	RST 回診の口腔評価	223
9	マウスピース作成	47
10	埋伏智歯抜歯	10

	主な検査・処置名	患者数
1	周術期口腔機能管理計画	439
2	歯周基本検査	1,432

2. 高度医療への取り組み

①なし	退院後は歯科病院へ紹介
-----	-------------

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 10 月 19 日	第 9 回口腔ケアセンター周術期講習会	昭和大学
2	平成 29 年 2 月 1 日	第 10 回口腔ケアセンター周術期講習会	昭和大学

昭和大学病院 中央診療部門

1) 総合周産期母子医療センター

1-1) 産科部門

1. 人員構成

診療科長	関沢 明彦 教授
大学院教授	下平 和久
准教授	2 名
講師	6 名
助教	30 名

2. 資格者一覧

指導医・指定医	日本産科婦人科学会指導医	17 名
	超音波指導医	2 名
	婦人科腫瘍指導医	2 名
	周産期(母体胎児)指導医	2 名
	母体保護法指定医	6 名
	臨床研修指導医	12 名
	内分泌代謝指導医	1 名
	臨床遺伝指導医	1 名
	がん治療指導医	1 名
	身体障害者福祉法第 15 条指定医	2 名
	日本女性医学会女性ヘルスケア指導医	2 名
専門医	産婦人科専門医	28 名
	生殖医療専門医	2 名
	周産期(母体・胎児)専門医	8 名
	婦人科腫瘍専門医	4 名
	超音波専門医	5 名
	臨床遺伝専門医	7 名
	内分泌代謝専門医	2 名
	日本女性医学会女性ヘルスケア専門医	1 名
認定医	内視鏡外科学会技術認定医	3 名
	がん治療認定医	7 名
	日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医	4 名
	日本女性心身医学会認定医	1 名

その他	da Vinci System Certificate (Console Surgeon)	1 名
	女性のヘルスケアアドバイザー	1 名
	新生児蘇生インストラクター	7 名
	Fetal Medicine Foundation オペレーター資格	4 名
	J-CIMELS インストラクター	6 名
	日本哺乳動物卵子学会生殖補助医療胚培養士 遺伝カウンセラー	1 名 3 名

3. 業務実績

分娩手術件数

分娩件数	1,245
帝王切開件数	357
母体搬送受入数	42
早産数(28 週未満)	22
極低出生体重児	76

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
5	平成 28 年 5 月 12 日	品川地区産婦人科臨床研究会	昭和大学臨床講堂
6	平成 28 年 5 月 22 日	東京母性衛生学会	昭和大学臨床講堂
7	平成 28 年 6 月 3 日	第 38 回 周産期管理研究会	昭和大学病院 C7 研修室
8	平成 28 年 6 月 23 日	昭和大学婦人科研究会	昭和大学病院 C7 研修室
9	平成 28 年 7 月 2 日	学士会シンポジウム	昭和大学 1 号館 7 階
10	平成 28 年 10 月 3 日	第 8 回 周産期管理研究会	昭和大学 400 号室

昭和大学病院 中央診療部門

1) 総合周産期母子医療センター

1-2) 新生児部門

1. 人員構成

センター長	田角 勝
病棟医長	宮沢 篤生
担当医師	7 名
看護師長	根本 友重
看護師	50 名
発達心理士	1 名
病棟薬剤師	1 名

2. 資格者一覧

日本小児科学会専門医	5 名
うち指導医	3 名
日本周産期新生児医学会暫定指導医	1 名
日本周産期新生児医学会新生児専門医	3 名
新生児蘇生法(NCPR)インストラクター	4 名
国際認定ラクテーションコンサルタント	2 名
インфекション・コントロール・ドクター	1 名
新生児集中ケア認定看護師	1 名
小児看護認定看護師	1 名

3. 業務実績

①入院内訳

総入院数	272 名
内 院内出生	250 名
内 院外出生	22 名
転院(戻り搬送)	9 名
死亡退院	5 名

②出生体重別入院内訳

体重	内訳
1000g 未満	14 名
1000 - 1499g	29 名
1500 - 2499g	109 名
2500g 以上	120 名

③主な診療疾患(重複あり)

疾患名	内訳
低出生体重児	152 名
新生児仮死	109 名
新生児高ビリルビン血症	92 名
新生児呼吸窮迫症候群	36 名
新生児一過性多呼吸	35 名
新生児気胸、エアリーク	20 名
胎便吸引症候群	18 名
未熟児動脈管開存症	14 名
多血症	11 名
新生児遷延性肺高血圧症	10 名
唇顎口蓋裂	9 名
染色体異常症(18, 21トリソミー)	6 名

④主な診療手技

疾患名	内訳
光線治療	92 件
人工呼吸管理(SIMV、HFO)	68 件
経鼻陽圧換気(SiPAP)	70 件
中心静脈栄養	43 件
人工肺サーファクタント療法	31 件
一酸化窒素吸入療法	11 件
レーザー光凝固療法	7 件
消化管手術(小児外科)	3 件
胸腔ドレーン挿入	2 件
低体温療法	1 件
動脈管結紮術	0 件

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 6 月 25～26 日	第 37 回ハイリスク児フォローアップ研究会	昭和大学
2	平成 28 年 10 月 2 日	NICU 卒業生の会	昭和大学
3	平成 29 年 2 月 25 日	第 1 回臨床 DOHaD セミナー	昭和大学
4	平成 29 年 3 月 4 日	天使のあしあとの会(グリーフの会)	昭和大学

昭和大学病院 中央診療部門

2) 血液浄化センター

1. 人員構成

センター長(腎臓内科教授)	柴田 孝則
看護師長	増島 絵里子
医師	11 名
看護師	6 名
臨床工学技士	4 名

2. 資格者一覧

透析専門医	7 名
透析指導医	3 名
透析看護認定看護師	1 名
透析療法指導看護師	1 名
透析技術認定士	10 名
CAPD 認定指導看護師	1 名
インターベンションエキスパートナース	1 名
アフエーシス学会技術認定士	3 名

3. 業務実績

① 液浄化治療件数

治療内容			件数
血液透析			448 症例/4,423 件
ポータブル透析			198 件
CAPD(腹膜透析)			24 名/265 件
CHDF(持続的血液濾過透析)			97 症例/775 件
アフエレスィス	PE(血漿交換)		12 症例/49 件
	DFPP(二重膜濾過血漿分離交換法)		5 症例/10 件
	血漿吸着法	LDL 吸着	1 症例/3 件
		免疫吸着	1 症例/6 件
	直接血液吸着	エンドトキシン吸着	33 症例/61 件
	血球成分吸着	GCAP(顆粒球除去療法)	8 症例/72 件
		LCAP(白血球除去療法)	6 症例/31 件
	CART(腹水濾過濃縮再静注法)		7 症例/13 件
腎移植	11 件		

②透析導入件数

治療内容	件数
血液透析	82 件
腹膜透析	7 件

③認定施設

日本透析医学会認定施設
日本アフェリシス学会認定施設
透析療法従事職員研修・実習指定施設
東京都区部災害時透析医療ネットワーク正会員施設

④透析液清浄度

ET	感度以下	0.001 EU /ml 以下	(2 回/月)
生菌	感度以下	0.1 CFU/ml 以下	(2 回/月)

⑤院内活動

血液浄化セミナー	3 回/年
医療機器安全講習会(透析装置)	2 回/年

4. 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 9 月 20 日	第 7 回フレッシュマンセミナー	昭和大学病院
2	平成 29 年 3 月 9 日	第 8 回腎透析勉強会	昭和大学病院

昭和大学病院 中央診療部門

3) 救命救急センター

1. 人員構成

センター長	三宅 康史
医師	11 名
看護師	63 名

2. 資格者一覧

DMAT 隊員	医師	6 名
	看護師	12 名
	合計	18 名
公益社団法人日本看護協会認定救急看護認定看護師		2 名

3. 業務実績

①3次救急来院患者数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
来院患者数	94 名	93 名	73 名	66 名	69 名	66 名	68 名	79 名	74 名	85 名	72 名	67 名	906 名

②救命救急センター入院診療科別患者数

診療科	人数
救急	2,339
形成	56
消内	42
脳外	29
整形	25
神内	22
腎内	16
小児	10
総診	9

診療科	人数
循内	7
リ内	6
耳鼻	5
消外	3
産婦	2
血内	1
合計	2,602

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 9 月 9 日	第 5 回 Intesivist Conference	当院臨床講堂
2	平成 29 年 2 月 10 日	第 6 回 Intesivist Conference	当院臨床講堂

4) ICU

1. 人員構成

部長	大嶽 浩司
師長	只野 江理子
医師	麻酔科3名（専従）、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、耳鼻科、形成外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科各1名
看護師	スタッフ看護師46名、ヘルパー2名
事務	クラーク1名

2. 資格者一覧

日本集中治療医学会集中治療専門医	4名
日本呼吸療法医学会認定医	1名
急性・重症患者看護専門看護師	1名
集中ケア認定看護師	1名
感染管理認定看護師	1名

3. 業務実績

①ICU入室患者(内訳)

	患者数
総数	1,559名

②診療科別入室患者数

診療科	消化器・一般外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	泌尿器科
患者数	609名	428名	172名	91名	122名
診療科	整形外科	形成外科	腎臓内科	呼吸器・アレルギー内科	消化器内科
患者数	38名	27名	5名	6名	8名
診療科	産婦人科	耳鼻咽喉科	神経内科	小児科	小児外科
患者数	12名	19名	4名	9名	2名
診療科	救急医学科	その他の内科			
患者数	0名	7名			

③人工呼吸患者数 238名

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 9 月 1 日	昭和大学学士会講演会座長 (Early rehabilitation in the ICU)	昭和大学臨床講堂
2	平成 29 年 2 月 10 日	第 6 回 Intensivist Conference 講演 (集中治療 up to date～呼吸管理を中心に～)	昭和大学臨床講堂
3	平成 29 年 3 月 30 日	講演会; チーム医療による早期離床と e-ICU	昭和大学江東豊洲病院

症例報告

- 小谷透、尾頭希代子、尾本正、青木淳、庄野敦子. Electrical impedance tomography を使用した PEEP トライアル中に偶然発見された不均一換気の 1 例. 連載 ICU・CCU-あんな症例こんな症例-. ICU と CCU 40 (8)、582-5、2016
- 小谷透、尾頭希代子、古泉友文、青木武士、村上雅彦、庄野敦子. EIT による評価に基づき管理した Pulmonary ARDS の 1 例. 連載 ICU・CCU-あんな症例こんな症例-. ICU と CCU 40 (12)、722-725、2016

教育講演・セミナー

- 小谷透. 人工呼吸器離脱プロトコルの基準の根拠. 第 1 回日本クリティカルケア看護学会交流集会 (6/4、栃木)
- 小谷透. 適切な PEEP、肺保護. 日本呼吸療法医学会主催 第 4 回医師向け人工呼吸管理基礎教育プログラム (8/27、東京)
- 小谷透. 挿管人工呼吸. シンポジウム: 人工呼吸管理～呼吸器疾患への包括的呼吸管理～第 26 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (10/11、横浜)
- Kotani T. Towards the ideal sedation protocol using Dexmedetomidine in Japan. Luncheon Seminar. Annual meetings of Taiwan Society of Critical Care Medicine (10/15, Taipei, 台湾)
- 小谷透. 教育講演 呼吸管理の最新情報. 第 44 回日本集中治療医学会学術集会 (3/9、札幌)
- 小谷透. 企画セミナー 急性心不全の集中治療: 心不全患者への呼吸管理の要点. 第 44 回日本集中治療医学会学術集会 (3/10、札幌)
- 小谷透. ARDS. 3 学会合同呼吸療法認定士更新講習会 (3/16、東京)

一般演題

- 木村真也、尾頭希代子、小谷透、庄野敦子、奥和典、三浦倫一、大嶽浩司. ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術における肺内ガス分布変化. 第 44 回日本集中治療医学会 (3/9、札幌)
- 尾頭希代子、小谷透、庄野敦子、木村真也、稲村ル斗、大嶽浩司. Electrical impedance tomography (EIT) を用いた心臓外科術後症例における至適 PEEP 設定の試み. 第 64 回日本麻酔科学会 (6/9、神戸)

5) CCU

1. 人員構成

科長(循環器内科教授・医師)	小林 洋一
濱崎 裕司 他医師 5 名	濱崎 裕司 他医師 5 名
病棟責任者(師長補佐・看護師)	三浦 まき 他看護師 37 名

2. 資格者一覧

循環器学会専門医	5 名
カテーテルインターベンション認定医	1 名
不整脈学会専門医	1 名
超音波学会専門医	1 名
総合内科専門医	3 名

3. 業務実績（下記注意事項4点）

①入院患者・診断・剖検数

	平成 28 年度
CCU 入院患者数	478
循環器内科入院患者数	366
急性心筋梗塞	102
不安定狭心症	44
急性心不全	98
重症不整脈	34
肺動脈血栓塞栓症	22
死亡数	42(循内 38)
剖検数	19

②IABP・PCPS 件数

	平成 28 年度
IABP	34
PCPS	4
NPPV	98
気管内挿管呼吸器管理	46
Nasal high flow	23
CHDF	40

③心臓電気生理検査・カテーテルアブレーション・デバイス植え込み

	平成 28 年度
心臓電気生理検査	213
カテーテルアブレーション	244
ペースメーカー植え込み	73
植え込み型除細動器植え込み	31
両心室ペーシング除細動器付き	13
植え込み型ループレコーダー	1

昭和大学病院 中央診療部門

6) リハビリテーションセンター

1. 人員構成

センター長	(代)板橋 家頭夫	
技士長補佐	及川 雄司	
その他	専従医師	2 名
	非常勤医師	1 名
	理学療法士	14 名
	作業療法士	9 名
	言語聴覚士	0 名
	技師(マッサージ師)	2 名
	技術補助員	0 名

* 言語聴覚士・技術補助員は欠員。専従看護師は配置されていない。

2. 資格者一覧

日本理学療法士協会 専門理学療法士 運動器理学療法専門分野	1 名
日本理学療法士協会 認定理学療法士 内部障害理学療法専門分野 呼吸	1 名
日本理学療法士協会 認定理学療法士 内部障害理学療法専門分野 循環	1 名
日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士	2 名
日本呼吸ケアリハビリテーション学会 呼吸ケア指導士	2 名
日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・麻酔科学会 3 学会合同呼吸療法認定士	2 名
日本体育協会 公認アスレティックトレーナー	1 名

3. 業務実績

①平成 28 年度 疾患別リハビリテーション 患者人数

(単位:件数)

	脳血管	運動器	呼吸器	心大血管	がん
理学療法	10,246	18,069	5,666	8,076	5,124
作業療法	9,231	6,831	1,051		431
言語聴覚療法					
合 計	19,477	24,900	6,717	8,076	5,555

②平成 28 年度 疾患別リハビリテーション 診療単位数

(単位:単位数)

	脳血管	運動器	呼吸器	心大血管	がん
理学療法	12,409	20,617	6,461	16,347	5,649
作業療法	12,164	8,014	1,351		533
言語聴覚療法					
合 計	24,573	28,631	7,812	16,347	6,182

③平成 28 年度 部門別診療報酬点数 (単位: 点数)

理学療法	14,108,087
作業療法	4,741,311
言語聴覚療法	0
合 計	18,849,398

7) 中央手術室

1. 人員構成

手術部長	村上 雅彦
麻酔科科長	大嶽 浩司
麻酔科医師	27名
手術室師長	武田 恵
手術室看護師スタッフ	57 名
中央材料室	リジョイスカンパニー

2. 業務実績

年間手術件数	全身麻酔	局所麻酔	合計
形成外科	935	473	1,408 件
消化器一般外科	998	186	1,184 件
整形外科	883	246	1,129 件
産婦人科	1,085	3	1,088 件
耳鼻咽喉科	600	84	684 件
乳腺外科	543	58	601 件
泌尿器科	401	10	411 件
脳神経外科	340	50	390 件
小児外科	200	1	201 件
心臓血管外科	165	12	177 件
呼吸器外科	141	2	143 件
眼科	10	1	11 件
血液内科	8	0	8 件
循環器内科	6	1	7 件
小児科	3	0	3 件
皮膚科	0	3	3 件
消化器内科	2	0	2 件
麻酔科	2	0	2 件
合計	6,322	1,130	7,452

昭和大学病院 中央診療部門

8) 緩和ケアセンター

1. 人員構成

センター長	樋口 比登実
医師	3 名
看護師	2 名
薬剤師	1 名

2. 資格者一覧

緩和医療学会暫定指導医	1 名
日本麻酔科学会指導医	1 名
日本麻酔科学会専門医	1 名
日本ペインクリニック学会専門医	1 名
精神保健指定医	2 名
日本精神神経学会専門医	2 名
日本精神神経学会指導医	2 名
がん看護専門看護師	1 名
緩和ケア認定看護師	1 名
緩和薬物療法認定薬剤師	1 名

3. 業務実績

①新規依頼件数

依頼科	人 数
外科系	40
内科系	273
婦人科	28
泌尿器科	25
耳鼻咽喉科	15
その他	6
合計	386

②依頼内容(終了者 248 名について)

依頼内容	人数
症状マネジメント	226
精神的サポート	216
家族のサポート	45
療養先の相談	35

③原発部位

原発部位	人数	原発部位	人数
肺	69	卵巣	7
食道	21	前立腺	7
胃	21	腎臓	7
大腸	33	膀胱	10
肝	8	造血器	35
胆嚢・胆管	13	頭頸部	12
膵臓	37	その他	16
乳がん	47	非がん	5
子宮	19	原発不明	7

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容	開催地
1	平成 28 年 7 月 30 日～31 日	緩和ケア研修会	昭和大学
2	平成 28 年 11 月 21 日	第 11 回がん医療研究会	昭和大学病院臨床講堂
3	平成 29 年 2 月 25 日～26 日	緩和ケア研修会	昭和大学
4	平成 29 年 1 月 10 日～3 月 31 日 (毎月開催)	緩和ケアセミナーとがん患者サロン	昭和大学 入院棟 17 階会議室

9) 褥瘡ケアセンター

1. 人員構成

褥瘡ケアセンター長	土岐 彰
褥瘡管理者	遠藤 由布
その他	褥瘡ケアチーム 11 名

2. 資格者一覧

日本褥瘡学会 褥瘡認定薬剤師	1 名
皮膚・排泄ケア認定看護師	2 名

3. 業務実績

① 褥瘡回診件数

	定期回診	臨時回診
昭和大学病院	49 件	1 件
昭和大学附属東病院	40 件	0 件

② 瘡回診新規依頼件数

	平成 28 年度
昭和大学病院	364 件
昭和大学附属東病院	31 件

③ 褥瘡回診延べ患者件数

	平成 28 年度
昭和大学病院	944 件
昭和大学附属東病院	88 件

4. 主な 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 9 月 13 日	褥瘡ケアセミナー	昭和大学病院

昭和大学病院 中央診療部門

10) 腫瘍センター

1. 人員構成

センター長	佐々木 康綱
センター師長	川上 由香子
看護師	12 名
薬剤師	4 名(レジデント含む)

2. 資格者一覧

がん化学療法認定看護師	1 名
がん指導薬剤師	1 名

3. 業務実績

診療科別治療件数

科 別	件 数
呼吸器内科	14
消化器内科	720
血液内科	677
婦人科	501
耳鼻科	9
泌尿器科	664
腫瘍内科	2,924
乳腺外科	3,986
脳神経外科	41
リウマチ内科	675
小児科	39
整形外科	68
合計	10,318

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 11 月 21 日	第 11 回がん医療研究会	昭和大学病院臨床講堂

11) ブレストセンター

1. 人員構成

センター長	中村 清吾
医師	18 名
看護師	5 名
その他	11 名

2. 資格者一覧

専門医	日本外科学会専門医	10 名
	日本乳癌学会専門医	8 名
認定医	日本乳癌学会認定医	2 名
	日本癌治療認定医機構癌治療認定医	5 名
その他	乳癌認定看護師	1 名
	がん薬物療法認定看護師	1 名

3. 業務実績

① 手術件数

	手術名	患者数
1	乳房切除術	236
	内 一期的乳房再建術	157
2	乳房温存術	180
	内 SAVI	13
3	マンモトーム生検	148

② 検査件数

	検査名	患者数
1	マンモグラフィ	4,210
2	DEXA	348
3	マンモトーム生検	148
4	乳房超音波	6,488
5	針生検	637

③ 治療機器

マンモグラフィ	2台
超音波	3台
吸引式針生検	2台
骨密度測定器	1台

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成28年7月27日—28日	第6回乳腺腫瘍学セミナー	昭和大学病院

12) 輸血センター

1. 人員構成

輸血センター長	中牧 剛
臨床検査技師	10 名

2. 資格者一覧

輸血認定技師	2 名
細胞治療認定管理師	4 名

3. 業務実績

①輸血実施状況

赤血球製剤	11,052 単位
濃厚血小板製剤	29,146 単位
新鮮凍結血漿製剤	4,698 単位
自己血	918 単位

②検査件数

検査項目	平成 28 年度
血液型検査	10,596 件
不規則性抗体検査	11,156 件
間接・直接クームス検査	257 ・ 250 件
HTLV-1 検査	1,071 件
血小板抗体検査	17 件
HLA 検査	84 件
LCT 検査	14 件
亜型検査	6 件
クリオ・パイログロブリン等検査	574 件
Ham・Sugar Water Test	2 件

③その他

1	細胞治療関連	末梢血幹細胞採取・保存・移植に協力	17 症例
		臍帯血移植	13 件
		骨髄移植	3 件
		骨髄濃縮	3 件
2	自己血関連	自己血採血・調整・保存・管理	481 件
		自己フィブリン糊の作製	264 件
3	日本臓器移植ネットワーク事業関連	献腎移植希望登録者の検査・血清回収・保存発注業務	43 件

昭和大学病院 中央診療部門

13) 超音波センター

1. 人員構成

センター長	後閑武彦（放射線科教授）
臨床検査技師	15 名
医師	内科・外科・小児科・耳鼻咽喉科・泌尿器科など各診療科

2. 資格者一覧

日本超音波医学会認定 超音波指導医	3 名
日本超音波医学会認定 超音波専門医	5 名
日本超音波医学会認定 超音波検査士（循環器）	4 名
日本超音波医学会認定 超音波検査士（消化器）	3 名
日本超音波医学会認定 超音波検査士（体表臓器）	4 名
日本臨床検査同学院認定 二級臨床検査士（循環生理学）	11 名

3. 業務実績

超音波検査件数（超音波センターにおける超音波検査総件数）

検査項目	平成 27 年度	平成 28 年度
腹部	4,857	4,604
腹部カラードブラ・造影	469	435
心臓（経食道を含む）	8,420	8,310
乳腺	7,040	7,984
体表	2,465	2,456
頸動脈	1,662	1,700
その他	521	515
総計	25,434	26,004

昭和大学病院 中央診療部門

14) 内視鏡センター

1. 人員構成

センター長	山村 冬彦
看護師長	平田 葉子
その他	11名

2. 資格者一覧

日本消化器内視鏡学会 指導医	7 名
日本消化器内視鏡学会 専門医	8 名
消化器病学会 指導医	8 名
消化器病学会 専門医	4 名
日本消化管学会 専門医	1 名

3. 業務実績

①内視鏡件数

検査項目	平成28 年度
上部内視鏡検査	5,332 件
大腸内視鏡検査	3,835 件
ESD	206 件
消化管止血術	214 件
気管支鏡	306 件

②内視鏡機器

GIF－H290Z
CF－HQ290Z
GIF－Q260J
PCF－Q260JI

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 10 月 21 日	第3回城南消化器内視鏡研究会	7階会議室
2	平成 28 年 7 月 22 日	ハンズオンセミナー(上部・下部)	内視鏡センター

15) 頭頸部腫瘍センター

1. 人員構成

教授・センター長	嶋根俊和
講師	勝田秀行
助教	池田賢一郎
助教	櫛橋幸民
助教	江川峻哉
助教	八十篤聡
助教(員外)	倉澤侑也

2. 資格者一覧

日本耳鼻咽喉科学会専門医	4名
日本口腔外科学会専門医	1名
日本口腔外科学会認定医	1名
頭頸部がん暫定指導医	1名
頭頸部がん専門医	1名
日本がん治療認定医	5名
日本気管食道科学会専門医	1名
日本耳鼻咽喉科学会研修指導医	1名

3. 業務実績

手術症例数

手術部位	件数
口腔癌	38 例
中咽頭癌	4 例
下咽頭癌	6 例
喉頭癌	1 例
甲状腺癌	15 例
副鼻腔癌	2 例
耳下腺癌	2 例
頸部郭清術	44 例
頭頸部癌再建術	6 例
その他の悪性腫瘍手術	7 例
耳下腺腫瘍	22 例
顎下腺手術	11 例

舌下腺手術	6 例
頸部神経鞘腫	5 例
甲状腺腫瘍・パセドウ病	20 例
その他	25 例

化学(分子)放射線療法(動注を含む)

化学放射線療法	20 例
化学療法	7 例
放射線療法(入院)	2 例

4. ①主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	講演	開催地
1	平成 28 年 7 月 28 日	口腔がんの診断と治療	荏原歯科医師会(品川)
2	平成 28 年 9 月 24 日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科医としての口腔がん診療	城南耳鼻咽喉科医会 (大田区)
3	平成 29 年 3 月 16 日	口腔がんと最近のトピックス	臨床歯科理工学会講演会(品川区)

②研究業績

学会等発表	36 演題
発表論文	7 論文

昭和大学病院 診療・患者支援部門

1) 看護部

1. 人員構成

看護部長	城所 扶美子
次長	荒川 千春、吉田 雅子、福地本 晴美、田口 美保、小林 宏栄
師長	32 名
その他:係長	65 名

職種別

助産師		看護師		准看護師	保育士	看護補助者	
常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	常勤	職員	委託
51	0	934	8	0	5	10	88

2. 資格者一覧

①専門看護師

領 域	人数	領 域	人数	領 域	人数
がん看護	5 名	急性・重症患者看護	2 名	小児看護	1 名
母性看護	1 名	精神看護	1 名	感染症看護	1 名

②認定看護師

領 域	人数	領 域	人数	領 域	人数
がん性疼痛	2 名	感染管理	3 名	集中ケア	3 名
緩和ケア	1 名	糖尿病看護	2 名	小児救急看護	1 名
乳がん看護	1 名	摂食・嚥下障害看護	1 名	救急看護	2 名
がん化学療法看護	3 名	脳卒中リハビリテーション看護	1 名	新生児集中ケア	1 名
皮膚・排泄ケア	3 名	透析看護	1 名	慢性呼吸器疾患看護	1 名
手術看護	1 名	不妊症看護	1 名		

③認定看護管理者

認定看護管理者	サードレベル修了者	セカンドレベル修了者	ファーストレベル修了者
4 名	7 名	35 名	84 名

3. 業務実績

① 院内研修開催数

開催件数	申請者数	参加者数	参加率
108 件	4,279 名	3,340 名	78.0%

② 認定看護師実習受入れ人数

学校名	学科・領域	人数
東京女子医科大学 看護学部 認定看護師教育センター	透析看護・手術看護	4 名
公益社団法人日本看護協会 看護研修学校	糖尿病看護	3 名
北里大学看護キャリア開発・研究センター	新生児集中ケア	2 名
目白大学メディカルスタッフ研修センター	脳卒中リハビリテーション看護	2 名
静岡県立静岡がんセンター	乳がん看護	2 名
千葉大学大学院看護学研究科 附属看護実践研究指導センター	乳がん看護	2 名

③ 専門看護師実習受け入れ人数

学校名	学科・領域	人数
日本赤十字北海道看護大学 大学院看護学研究科	がん看護	2 名
慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科	がん看護	2 名
昭和大学大学院保健医療学研究科 がん看護専門看護師教育課程	がん看護	2 名
昭和大学大学院保健医療学研究科 精神看護専門看護師教育課程	精神看護	1 名

④ 基礎教育臨地実習の他施設受け入れ人数

学校名	実習名称	学年	人数
東京医療保健大学	基礎Ⅰ/基礎Ⅱ/小児	1 年/2 年/3～4 年	3 名/42 名/42 名
神奈川県・昭和大学保健医療学部共催 看護師実習指導者講習会	成人Ⅰ・Ⅱ・母性・小児	—	12 名

⑤ その他実習の受け入れ人数

病院名	実習名称	人数
東京都市大学 人間科学部児童学科	保育実習	1 名
青山学院女子短期大学 こども学科研究室	病棟保育	1 名

⑥ 外来件数

種類	患者数	種類	患者数
育児支援外来	1,225 件	がん看護外来	1,544 件
赤ちゃんクラス	523 件	ストーマ外来	消化器系 327 件
母親学級	756 件		泌尿器系 90 件
両親学級	393 件		

4. 社会・地域貢献活動

開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
平成 28 年 5 月 12 日	「看護の日」活動	昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院

2) 薬 局

1. 人員構成

薬局長代行・病院薬剤学教授	佐々木 忠徳
薬局 課長	白井 敦
薬局 副主幹	小林 智子

2. 資格者一覧(専門・認定取得者)

日本病院薬剤師会生涯研修認定	27	日本医療薬学会認定薬剤師	3
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定	16	日本医療薬学会指導薬剤師	2
日本病院薬剤師会がん専門薬剤師	1	日本医療薬学会がん指導薬剤師	1
日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師	2	日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト	10
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師	2	日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師	14
日本臨床救急医学会救急認定薬剤師	1	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師	11
日本医療情報学会医療情報技師	2	日本薬剤師研修センター小児薬物療法認定薬剤師	4

3. 業務実績

①調剤件数

外来処方せん	合計(日平均)	入院処方せん	合計(日平均)
枚数(枚)	196,689(669)	枚数(枚)	130,977(359)
件数(件)	571,718(1,945)	件数(件)	256,260(702)
剤数(剤)	16,792,608(57,118)	剤数(剤)	1,653,590(4,530)
院外処方せん発行率	99.1%	注射せん	合計(日平均)
		枚数(枚)	128,297(351)

②院内製剤調製件数

項目	合計(年)	項目	合計(年)
内用・外用液剤(本)	720	注射剤(本)	785
消毒薬(本)	170	点眼剤(本)	20,133
軟膏剤(個)	975	その他無菌(本)	3,623
坐剤(個)	231	乾性内用・外用散剤(kg)	4.04
		乾性錠剤(錠)	31,518

③混合調製(中心静脈栄養、入院・外来化学療法)

中心静脈栄養	合計(年)	入院化学療法	合計(年)	外来化学療法	合計(年)
総本数(本)	6,966	調製枚数(人)	5,923	調製枚数(人)	9,335
		調製本数(本)	9,099	調製本数(本)	32,320

④医薬品情報管理

質疑応答関連	問い合わせ件数(件)	1429	医薬品安全情報報告件数(件)	28
	経過・転帰件数(件)	67	市販直後調査件数(件)	9850
			新規医薬品情報提供件数(件)	53

⑤薬務業務

	内服薬	外用薬	注射薬	合計
採用品目	841	307	786	1,934
ジェネリック採用薬	236	77	182	495
院外採用薬	412	133	9	554

⑥薬剤管理指導

	算定件数			
実施患者数	430 点	380 点	325 点	退院時指導
8,517 人	57 件	4,820 件	5,358 件	2,176 件

⑦治験薬管理(品目数)

前年度繰越	新規受領	返却済み	次年度繰越
38	18	15	41

⑧学生・研修・見学

薬学生	海外留学生	研修			
141 人	6 人 (2 大学)	救命救急 センター1 名	医薬品医療機器 総合機構 1 名	小児薬物療法 認定薬剤師研修 7 名	日本臨床腫瘍薬学会外来 がん認定薬剤師研修 1 名

⑨認定施設

日本医療薬学会 認定薬剤師制度による研修施設	日本薬剤師研修センター 認定対象研修実施機関
日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設	日本薬剤師研修センター 薬局・病院実務研修受入施設
日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設	

4.社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 7 月 16 日(土)	Team Pharmacist Seminar オンコロジー領域における地域医療・チーム医療	昭和大学病院
2	平成 29 年 1 月 28 日(土)	Team Pharmacist Seminar 認知症とチーム医療	昭和大学病院
3	平成 29 年 2 月 27 日(月)	院外処方箋発行に関する情報交換会	昭和大学病院

昭和大学病院 診療・患者支援部門

3) 放射線室

1. 人員構成

准教授(技師長兼務)	佐藤 久弥
その他	56 名

2. 資格者一覧

第1種放射線取扱主任者	12 名
マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定	7 名
放射線治療品質管理士認定	1 名
放射線治療専門放射線技師	2 名
医学物理士	2 名
放射線管理士	5 名
MDIC 認定技師	1 名
放射線機器管理士	5 名
Ai 認定診療放射線技師	3 名
日本核医学専門技師	1 名
BLS	10 名
ACLS	5 名
日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	6 名
医療情報技師	4 名
救急撮影認定技師	5 名
肺がん CT 検診認定技師	1 名
X 線 CT 認定技師	6 名
臨床実習指導教員	6 名
医療画像情報精度管理士	3 名
エックス線作業主任者	1 名
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	1 名

3. 業務実績

①大学病院検査件数

モダリティ	平成 27 年度	平成 28 年度	モダリティ	平成 27 年度	平成 28 年度
一般撮影	107,533	194,853	DR 検査	3,376	2,983
乳房撮影	4,434	5,150	CT 検査	36,317	39,904
ポータブル撮影	36,615	36,384	MRI 検査	22,696	22,797

モダリティ	平成 27 年度	平成 28 年度	モダリティ	平成 27 年度	平成 28 年度
心臓カテーテル	1,668	1,797	核医学検査	4,088	3,881
DSA 検査	1,289	1,296	放射線治療	16,094	17,688

* 単位(件数)

②研修会開催

1	統括放射線技術部新人研修会	平成 28 年 4 月 11 日	4 名(甲斐 麻梨乃、菊地 慧史、清水 杏樹、野見山 慎也)
2	統括放射線技術部係長研修会	平成 28 年 8 月 6 日	6 名(野田 主税、守屋 克之、高橋 寛治、中井 雄一、高瀬 正、大澤 三和)
3	統括放射線技術部主査研修会	平成 28 年 7 月 23 日	6 名(今井 康人、渋谷 徹、久保 聡、築 郁子、尾崎 道雄、橘高 大介)
4	統括放射線技術部主任補佐研修会	平成 28 年 6 月 18 日	3 名(菊原 喜高、井口 正啓、山本 剛史)

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 ～平成 29 年 3 月	放射線教育への貢献 診療放射線技師臨床実習受け入れ ・北海道医薬専門学校 診療放射線学科 ・帝京大学医療技術学部 診療放射線学科 ・東洋公衆衛生学院 診療放射線学科 ・日本医療科学大学 診療放射線科学科 ・駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科 ・Yuanpei 大学	学内
2	平成 28 年 4 月 24 日	放射線教育への貢献 第 15 回昭和大学診療放射線技師学術大会	学内

昭和大学病院 診療・患者支援部門

4) 臨床検査室

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
係長	7 名
臨床検査技師	64 名

2. 資格者一覧

日本臨床検査同学院 1 級臨床検査士(微生物学)	1 名
日本検査血液学会認定血液検査技師	2 名
日本臨床衛生検査技師会認定一般検査技師	1 名
日本臨床微生物学会認定臨床微生物検査技師	2 名
日本臨床微生物学会感染制御認定臨床微生物検査技師	1 名
日本心電学会認定心電検査技師	2 名
日本臨床神経生理学会認定技師(脳波分野)	1 名
日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム(NST)専門療法士	1 名

3. 業務実績

① 臨床検査室部門別検査件数

検査項目	平成 27 年度	平成 28 年度
生化学・血清 *	5,409,601	5,490,057
血液 *	855,646	867,500
尿一般 *	138,514	142,739
細菌	99,421	104,880
生理	74,016	74,441
病理 * *	34,935	35,403
(解剖)	96	92
外注	243,888	259,325
合計	6,856,117	6,974,437

*:緊急検査項目を含む * *:迅速診断、電子顕微鏡、免疫染色含む

② 緊急検査件数

検査項目	平成 27 年度	平成 28 年度
生化学・血清	3,659,507	3,825,366
血液	511,630	527,653
尿一般	38,052	40,284
病理	884	956
合計	4,210,073	4,394,259

③ 東病院検査件数

検査項目	平成 27 年度	平成 28 年度
合計	5,042	4,742

④ 採血件数

検査項目	平成 27 年度	平成 28 年度
昭和大学病院	145,245	147,117
昭和大学病院附属東病院	25,035	25,047

5) 栄養科

1. 人員構成

科長補佐	菅野 丈夫
管理栄養士	4 名
調理補助	1 名
事務職員(派遣)	1 名

2. 資格者一覧

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士	2 名
日本病態栄養学会 病態栄養認定管理栄養士	2 名
日本病態栄養学会 NST コーディネーター	1 名
日本病態栄養学会 腎臓病病態栄養専門管理栄養士	1 名
日本病態栄養学会 がん病態栄養専門管理栄養士	1 名
日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士	1 名

3. 業務実績

①給食数

一般常食	190,807 食 (34.8%)
一般軟菜	62,083 食 (11.3%)
流動食	3,949 食 (0.7%)
学童小児食	13,270 食 (2.4%)
調乳	28,335 食 (5.2%)
非加算治療食	66,237 食 (12.1%)
加算治療食	182,588 食 (33.3%)
合計	548,468 食 (100%)

②栄養指導件数(個人指導)

腎臓病	1,213 件 (43.3%)	脂質異常症	24 件 (0.9%)
糖尿病	658 件 (23.5%)	消化管疾患	26 件 (0.9%)
心臓病	285 件 (10.2%)	高血圧	19 件 (0.7%)
食物アレルギー	272 件 (9.7%)	肝臓病	19 件 (0.7%)
肥満	54 件 (1.9%)	その他	151 件 (5.4%)
糖尿病透析予防指導	44 件 (1.6%)		
膵臓病	34 件 (1.2%)	合計	2,799 件 (100%)

③栄養指導件数(集団指導)

糖尿病教室	36 件 / 年
-------	----------

④NST 実施件数

循環器内科	159 件 (19.3%)	耳鼻咽喉科	21 件 (2.5%)
救急医学科	150 件 (18.2%)	総合内科(ER)	20 件 (2.4%)
小児外科	79 件 (9.6%)	心臓血管外科	20 件 (2.4%)
脳神経外科	79 件 (9.6%)	整形外科	15 件 (1.8%)
血液内科	68 件 (8.2%)	乳腺外科	11 件 (1.3%)
消化器・一般外科	38 件 (4.6%)	形成外科	9 件 (1.1%)
腫瘍内科	37 件 (4.5%)	呼吸器外科	3 件 (0.4%)
呼吸器・アレルギー内科	30 件 (3.6%)	リウマチ・膠原病内科	2 件 (0.2%)
腎臓内科	30 件 (3.6%)	泌尿器科	2 件 (0.2%)
消化器内科	26 件 (3.2%)	小児科	1 件 (0.1%)
産婦人科	25 件 (3.0%)	合計	825 件 (100%)

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 10 月 2 日	昭和大学病院 NICU 卒業生の会(パンダの会) 「離乳食について」	昭和大学 50 周年記念会館

6) 臨床工学室

1. 人員構成

室長 心臓血管外科(教授)	青木 淳
課長	大石 竜
その他	19 名

2. 資格者一覧

透析技術認定士	8 名
3学会合同呼吸療法認定士	7 名
体外循環認定士	4 名
日本アフェシス学会認定技士	3 名
急性血液浄化認定指導者	1 名
第一種 ME 技術実力検定	1 名
臨床 ME 専門認定士	1 名
臨床高気圧酸素治療装置操作技士	1 名

3. 業務実績

① 中央機器管理件数

機器管理内容	件数
人工呼吸器（大人）	5,487 件
人工呼吸器（小児）	3,077 件
機器管理（定期点検）	1,024 件
機器管理（CE 点検）	1,102 件
HBO	94 件
IABP	89 件

②心臓カテーテル検査件数

機器管理内容	件数
IVR（大人）	1,334 件
IVR（小児）	0 件
不整脈	221 件
植込み・交換	63 件

③血液浄化治療件数

治療内容			件数
血液透析			448 症例/4423 件
ポータブル透析			198 件
CHDF(持続的血液濾過透析)			97 症例/775 件
アフエリス	PE(血漿交換)		12 症例/49 件
	DFPP(二重膜濾過血漿分離交換法)		5 症例/10 件
	血漿吸着法	LDL 吸着	1 症例/3 件
		免疫吸着	1 症例/6 件
	直接血液吸着	エンドトキシン吸着	33 症例/61 件
	血球成分吸着	GCAP(顆粒球除去療法)	8 症例/72 件
		LCAP(白血球除去療法)	6 症例/31 件
	CART(腹水濾過濃縮再静注法)		7 症例/13 件

④手術件数

術式	件数
人工心肺症例(脳分離含む)	51 件
非人工心肺症例	4 件
PCPS	12 件
TAVI	33 件
術中自己血回収	90 件

⑤院内活動

医療機器安全講習会
人工呼吸器実践講習会

4. 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 9 月 20 日	第 7 回フレッシュマンセミナー	昭和大学病院
2	平成 29 年 3 月 9 日	第 8 回腎透析勉強会	昭和大学病院

昭和大学病院 診療運営部門

1) 臨床試験支援センター

1. 人員構成

センター長(医師)	小林 真一
副センター長(薬剤師)	白井 敦
その他	事務 2 名、薬剤師 1 名、CRC 7 名

2. 資格者一覧

日本臨床薬理学会認定医・専門医・指導医	1 名
日本臨床薬理学会認定薬剤師	1 名
日本臨床薬理学会認定 CRC	3 名
日本臨床試験学会認定 GCP エキスパート	1 名
日本臨床試験認定 GCP パスポート	2 名
日本癌治療学会認定 CRC	1 名
日本医薬品情報学会認定医薬品情報専門 薬剤師	1 名
認定実務実習指導薬剤師	2 名
漢方薬・生薬認定薬剤師	1 名
日本 SMO 協会公認 CRC	1 名
緊急検査士	1 名

3. 業務実績

①臨床試験受託件数

検査項目	平成28年度
臨床試験(治験)	22 件
製造販売後調査	32 件
臨床研究	18 件

②治験実績件数

検査項目	平成28年度
終了報告	18 件
実績例数/契約例数(例)	71/91 例
実施率(%)	78.0%

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 7 月 14 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学
2	平成 28 年 9 月 30 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学横浜市北部病院
3	平成 28 年 10 月 7 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学藤が丘病院
4	平成 28 年 10 月 22 日	第 31 回昭和大学クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル東京
5	平成 28 年 11 月 10 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学江東豊洲病院
6	平成 29 年 1 月 26 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学附属烏山病院
7	平成 29 年 2 月 3 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学歯科病院
8	平成 29 年 3 月 1 日	第 4 回昭和大学治験セミナー	昭和大学病院
9	平成 29 年 3 月 22 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学

2) 診療録管理室

1. 人員構成

室長	小林 洋一
診療情報管理士	5 名
その他(委託)	50 名

2. 資格者一覧

診療情報管理士	5 名
医療情報技師	1 名

3. 業務実績

① 診療録 閲覧・貸出件数

種別	閲覧・貸出冊数	利用者数
入院診療録	14,070 冊	3,093 名
外来診療録	60,924 冊	6,981 名

② 入院診療録サマリー14 日以内受領率

2016 年度	90.1%
---------	-------

③ 診療情報提供(カルテ開示)件数

2016 年度	73 件
---------	------

④ クリニカルパス使用退院患者数

2016 年度(医療者パス)	15,254 件
2016 年度(患者パス)	14,560 件

⑤ 院内がん登録 登録症例数

2015 年症例	2,639 件
----------	---------

3) 医療情報室

1. 人員構成

室長	大嶽 浩司
課長	井上 宏政
その他	4 名

2. 業務実績

・病院情報システム 保険改正に伴うオーダー・医事・看護システムの対応

4) 管理課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	佐藤 強
その他	23 名

2. 業務実績

①ワークショップ開催

内容	開催年月日
統括部長会ワークショップ (統括部長会主催・多職種) 「昭和大学の強みを生かしてさらに発展させる(発展する)ためには何をすべきか？」	平成 28 年 6 月 3 日・4 日
管理課ワークショップ (病院事務部交換研修ワークショップ委員会主催・事務職) 「患者さんのご意見に関する業務(回収から回答まで)の効率化と回答の質の向上と改善について」	平成 28 年 10 月 26 日

②院内イベント(ボランティアによるコンサート)

内容	開催年月日
第 73 回昭和大学病院院内コンサート 「コーロ・AmA(ソプラノデュエット、ふうせんアート)」	平成 28 年 6 月 4 日
第 74 回昭和大学病院院内コンサート 「ザ・フォーリーフ・クローバ 53(コーラス)」	平成 28 年 7 月 23 日
第 75 回昭和大学病院院内コンサート 「ムジカ・フロール(ソプラノ・朗読・ピアノ)」	平成 28 年 9 月 24 日
第 76 回昭和大学病院院内コンサート 「昭和大学管弦楽団(管弦楽演奏)」	平成 28 年 11 月 12 日
第 77 回昭和大学病院院内コンサート 「エンジェルマミー(コーラス)」	平成 28 年 12 月 17 日
第 78 回昭和大学病院院内コンサート 「ギタラス・デ・オロ(ギター演奏)」	平成 29 年 1 月 28 日
第 79 回昭和大学病院院内コンサート 「木々の会(箏演奏)」	平成 29 年 3 月 25 日

③院外の勉強会・研修会等

内容	開催年月日
第 120 回病院庶務研究会	平成 28 年 7 月 22 日
第 121 回病院庶務研究会	平成 28 年 10 月 13 日・14 日
第 122 回病院庶務研究会	平成 29 年 2 月 17 日
第 114 回用度業務研究会	平成 28 年 6 月 10 日
第 115 回用度業務研究会	平成 28 年 10 月 20 日・21 日
第 116 回用度業務研究会	平成 29 年 2 月 3 日
平成 28 年度 第 1 回用度業務研究会第 1 分科会	平成 28 年 6 月 10 日
平成 28 年度 第 1 回用度業務研究会第 2 分科会	平成 28 年 6 月 10 日
平成 28 年度 第 2 回用度業務研究会第 1 分科会	平成 28 年 12 月 6 日
平成 28 年度 第 2 回用度業務研究会第 2 分科会	平成 28 年 12 月 2 日
平成 28 年度 荏原防火管理研究会視察研修会	平成 28 年 10 月 13 日・14 日

昭和大学病院 診療運営部門

5) クオリティマネジメント課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	浅川 悦久
その他	8名(内 派遣職員等3名)

2. 業務実績

① ワークショップ開催

内 容	開催年月日
病院ワークショップ(病院主催・多職種) 「新入院患者を増やすには」	平成28年6月17日・18日

② 院外の勉強会・研修会等

内 容	開催年月日
JANAMEFセミナー	平成28年6月12日
国公立大学附属病院医療安全セミナー	平成28年7月14日・15日
医療安全セミナー	平成28年8月5日
第54回 日本医療・病院管理学会学術総会	平成28年9月17日・18日
医療安全につながる“業務の可視化”と“文書管理”セミナー	平成28年12月2日
SSKセミナー	平成29年2月21日
日本臨床倫理学会 第5回年次大会	平成29年3月18日～20日

3. 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成28年5月28日・29日	第14回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会(学会事務局)	東京医科大学病院 臨床講堂
2	平成28年7月5日	子ども虐待対応講習会 「子ども虐待予防に向けた医療機関の取り組み」	昭和大学病院臨床講堂
3	平成28年7月14日	平成28年度 臨床研究に関する倫理講習会 「ベルモントレポート関連」 「実施計画書の書き方」	昭和大学
4	平成28年7月22日	医療安全講習会(講演)	ほたか病院
5	平成28年9月30日	平成28年度 臨床研究に関する倫理講習会 「ベルモントレポート関連」	昭和大学横浜市北部病院

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
		「実施計画書の書き方」	
6	平成 28 年 11 月 10 日	平成 28 年度 臨床研究に関する倫理講習会 「ベルモントレポート関連」 「実施計画書の書き方」	昭和大学江東豊洲病院
7	平成 29 年 1 月 26 日	平成 28 年度 臨床研究に関する倫理講習会 「ベルモントレポート関連」 「実施計画書の書き方」	昭和大学附属烏山病院
8	平成 29 年 2 月 3 日	平成 28 年度 臨床研究に関する倫理講習会 「ベルモントレポート関連」 「実施計画書の書き方」	昭和大学歯科病院
9	平成 29 年 3 月 22 日	平成 28 年度 臨床研究に関する倫理講習会 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について」	昭和大学

6) 医事課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	小川 秀樹
職員数	57 名

2. 業務実績

① 保険診療講習会

開催年月日	内 容	開催地
平成 28 年 11 月 16 日	保険診療について 講師:吉澤 宗大 (昭和大学病院 消化器一般外科 助教)	昭和大学上條講堂
平成 29 年 2 月 15 日	再指導を控えて ～より適正な保険診療を目指して～ 講師:澁澤 三喜 (昭和大学統括保険診療管理室 室長)	昭和大学上條講堂

② 院外の勉強会・研修会等

内 容	開催年月日
医事業務研修会(精度の高いレセプトを作成するために)	平成 28 年 4 月 22 日
医事業務研修会(急性期中小病院の改訂対応について)	平成 28 年 5 月 20 日
都内私立大学附属病院医療保険研究会	平成 28 年 6 月 21 日 平成 28 年 11 月 29 日
労災診療費算定基準及び自賠責保険算定基準	平成 28 年 6 月 29 日
私立医科大学医療事務研究会	平成 28 年 6 月 15～17 日 平成 28 年 10 月 19～21 日
7 大学間ベンチマーク会議	平成 28 年 7 月 8 日
医事業務研修会(診療報酬改定における算定・運用ポイントと取り組み)	平成 28 年 7 月 28 日
医事業務研究会(チーム医療の一員として事務系職員ができること・施設基準管理)	平成 28 年 9 月 16 日
医事業務研修会(未収金予防・管理・回収体制構築の勘所を学ぶ)	平成 29 年 1 月 26 日
医事業務研修会(近年の適時調査・個別指導への対応)	平成 29 年 2 月 24 日
大学病院情報マネジメント部門連絡会議	平成 29 年 1 月 26～27 日

③ ワークショップ開催

内 容	開催年月日
会計の待ち時間について	平成 28 年 7 月 27 日

3. 社会・地域貢献活動、研究業績

●研究業績

学会等発表

発表者氏名	題 名	学会名、開催地	発表年月日
藤 恵里子	紹介予約患者に対する初診受付での待ち時間短縮の取り組みについて	第 18 回日本医療マネジメント学会学術総会	平成 28 年 4 月 21、22 日
和田 妙子	昭和大学統括保険診療管理室の活動と展望について	第 18 回日本医療マネジメント学会学術総会	平成 28 年 4 月 21、22 日
小川 秀樹	救急車使用による転送患者の費用負担について	日本病院学会	平成 28 年 6 月 23、24 日

7) 医療推進課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	西正 譲
職員数	67 名(内 委託職員 46 名・派遣職員 6 名)

2. 業務実績

① 院外の勉強会・研修会等

	内容	開催年月日
1	品川地区産婦人科臨床研究会	平成 28 年 5 月 12 日
2	東京都がん診療連携協議会 クリティカルパス部会	平成 28 年 6 月 10 日
3	放射線科画像診断連携の会	平成 28 年 6 月 21 日
4	整形外科地域連携の会	平成 28 年 7 月 26 日
5	品川地区地域連携他職種連絡会	平成 28 年 7 月 28 日
6	旗の台泌尿器医療連携フォーラム	平成 29 年 1 月 21 日
7	整形外科医療連携フォーラム	平成 29 年 1 月 24 日
8	東京都がん連携パス委員会	平成 29 年 2 月 3 日
9	玉川医師会病診連携の会	平成 29 年 2 月 23 日
10	旗の台消化器センターフォーラム	平成 29 年 2 月 28 日
11	ITと医療連携に関するシンポジウム	平成 29 年 3 月 11 日

3. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
平成 28 年 10 月 22 日	昭和大学クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル東京

昭和大学病院 クオリティマネジメント室 医療安全管理部門

1) 医療安全管理部門

1. 人員構成

医療安全管理部門長(副院長、消化器・一般外科教授)	村上 雅彦
副部門長(事務部長)	丸地 伸
医療安全管理者(看護師長)	石川 恵美子
医療安全管理者(看護係長)	二瓶 友美
医薬品安全管理責任者(薬局係長)	野田 秀裕
医療機器安全管理責任者(臨床工学室課長)	大石 竜
その他:(医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、患者相談窓口担当者、診療情報管理士、事務)	計:12名

2. 業務実績

①アクシデント・インシデント報告件数(合併症を含む)

分類	インシデント件数	アクシデント件数 (警鐘事例含む)
誤薬(内服・外用)	1,162件	2件
誤注射・輸血	952件	2件
転倒・転落	555件	9件
チューブトラブル	959件	3件
検査・画像	1,072件	8件
手術・ME	467件	11件
食事・その他	1,321件	12件
合併症・偶発症、手術合併症	252件	-
合計	6,740件	47件

②インシデントレポート職種別報告件数(アクシデントは除く)

職 種	件数	報告率
医師(研修医含む)	600件	8.9%
看護師	5,249件	77.9%
その他	891件	13.2%
合計	6,740件	100.0%

1) 感染管理部門

1. 人員構成

感染管理部門長(感染症専門医)	二木 芳人	感染管理副部門長(感染症専門医)	詫間 隆博
次長(看護師)	荒川 千春	専従感染管理者(感染症看護専門看護師)	中根 香織
薬剤師	内藤 結花	感染制御認定臨床微生物検査技師	宇賀神 和久
薬剤師	石野 敬子	感染制御専門薬剤師	前田 真之
その他	2 名		

2. 資格者一覧

日本感染症学会専門医	2 名
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	2 名
インфекションコントロールドクター(ICD)	2 名
感染症看護専門看護師	1 名
感染制御専門薬剤師	1 名
日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師	2 名
感染制御認定臨床微生物検査技師	1 名

3. 業務実績

①新規 MRSA 検出件数

項目	件数・検出率
院内発生新規 MRSA	109 件(昨年 157 件)
持ち込み新規 MRSA(入院後 48 時間以内に検出)	199 件(昨年 173 件)
MRSA 検出率(新規 MRSA/延べ入院患者数×1,000)	0.51/1000days(昨年 0.64)

②針刺し切創・血液曝露事例発生件数

項目	件数
針刺し切創件数	69 件うち未使用針 12 件(昨年 56 件)
血液・体液曝露件数	21 件(昨年 15 件)
針刺し切創事例のうちリキャップによる事例	5 件(昨年 4 件)
針刺し切創事例のうち手術室事例	19 件(昨年 13 件)

③ICT(環境)ラウンド件数

場 所	回 数
病 棟(中央棟, 入院棟)	30 回
外 来・検査部門・中材・解剖・歯科	12 回

場 所	回 数
中央部門(薬局,検査部,栄養科,ME 室,リハビリ,食堂)	6 回

④抗菌薬適正使用ラウンド・AST(抗菌薬適正使用支援チーム)ラウンド件数

場 所	件数
抗菌薬適正使用ラウンド 中央棟,入院棟	51 回
AST ラウンド(血液培養陽性例)	570 例

⑤医療安全・感染対策講習会開催

	テーマ	開催日	人 数
1	活用しよう！ポケットマニュアル	平成 28 年 4 月 21 日	860 名
2	院内感染事例について インフルエンザ、結核	平成 28 年 5 月 10 日	818 名
3	・病院長からのメッセージ ・感染管理部門長からのメッセージ	平成 28 年 8 月 24 日	563 名
4	多剤耐性アシネトバクターによるアウトブレイクの経験	平成 28 年 9 月 14 日	492 名
5	血液培養の検出状況とコンタミネーション率	平成 28 年 11 月 17 日	456 名
6	院内感染事例について	平成 29 年 1 月 30 日	353 名

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 11 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
2	平成 28 年 5 月 12 日	第 19 回昭和感染症フォーラム	目黒雅叙園
3	平成 28 年 9 月 9 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
4	平成 28 年 11 月 18 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
5	平成 28 年 12 月 1 日	第 20 回昭和感染症フォーラム	目黒雅叙園
6	平成 28 年 12 月 16 日	昭和大学 Infection Control Forum	昭和大学病院
7	平成 29 年 3 月 8 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院

②手洗いキャンペーン

	開催年月日	職種	人 数
1	平成 28 年 11 月 8 日～11 日	医師	34 名
		臨床研修医	16 名
		看護師	137 名
		薬剤師	13 名
		臨床検査技師	23 名
		患者	37 名
		その他	240 名

昭和大学病院 ベッドコントロール管理室

1) ベッドコントロール管理室

1. 人員構成

室長	村上 雅彦
看護次長	田口 美保
その他	4 名

2. 業務実績

新入院患者数	19,764 人
緊急入院患者数	7,910 人
平均在院日数	11.3 日
病床利用率(全体)	83.2%
病床利用率(一般病棟)	87.5%

昭和大学病院 総合相談センター

1) 総合相談センター

1. 人員構成

センター長(医師)		河村満
副センター長(医師)		樋口比登実
専任スタッフ	事務員	立川純恵 高木菜穂
	医療連携担当	磯飛雄一
	退院調整看護師	松林幸子、伊藤浩、板垣友子
	患者相談担当看護師	大田優子
	緩和ケア担当看護師	牧克仁
	ソーシャルワーカー	中澤恒子、多田弘美、小川何奈 竹内香織、藪かおり
兼任スタッフ	薬相談担当	川手礼子
	栄養相談担当	菅野丈夫
	医療連携担当	山本茂
	諸法担当	脇坂美穂、小幡由美
	ベッド調整担当	伊藤亜紀子

2. 資格者一覧

緩和ケア認定看護師	牧克仁
認定医療対話推進者研修 修了	大田優子
がん性疼痛看護認定看護師	松林幸子
がん相談員基礎研修1～3 修了	松林幸子 大田優子 多田弘美 小川何奈
がん相談員基礎研修1～2 修了	板垣友子 中澤恒子
社会福祉士	中澤恒子 多田弘美 小川何奈 竹内香織 藪かおり
精神保健福祉士	中澤恒子 多田弘美 小川何奈
児童福祉司	多田弘美

3. 業務実績

①平成28年度 大学病院総合相談センター 相談件数 表1

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院患者ケース数	242	234	258	247	257	236	253	260	279	286	313	321	3,186
外来・直接来所患者ケース数	111	180	150	110	118	108	103	96	75	78	82	108	1,319
がん相談患者ケース数	210	260	238	231	268	291	238	250	210	230	273	289	2,988
総数	563	674	646	588	643	635	594	606	564	594	668	718	7,493

②平成28年度 東病院総合相談センター 相談件数 表2

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院患者ケース数	72	69	73	78	69	65	60	63	66	74	97	95	881
外来・直接来所患者ケース数	12	26	42	20	30	23	19	23	16	19	20	22	272

がん相談患者ケース数	2	1	1	2	1	4	2	4	5	8	4	4	38
総数	86	96	116	100	100	92	81	90	87	101	121	121	1,191

4. 社会・地域貢献活動

院内

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成28年6月30日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～活用できる社会資源を理解しよう(中澤)	昭和大学病院
2	平成28年9月6日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～連携部門との情報共有 (板垣)	昭和大学病院
3	平成28年9月15日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～退院支援カンファレンス(伊藤、松林、板垣)	昭和大学病院
4	平成28年10月12日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～退院支援スクリーニングシートの活用(伊藤)	昭和大学病院
5	平成28年9月9日、 10月11日、11月26日	昭和大学病院看護部研修 事例を通して考える退院調整(伊藤、松林、板垣)	昭和大学病院
6	平成28年10月4日	昭和大学病院看護部研修 がん看護 緩和ケア①～意思決定支援(松林)	昭和大学病院
7	平成28年4～平成29年3月 年10回	口唇裂・口蓋裂父母教室 口唇裂・口蓋裂の患者の保護者対象にソーシャルワーカーが 社会資源について講義 (竹内、薮)	昭和大学病院
8	平成28年4月～平成29年3月 年2回 平成28年11月3日 (北部)	医師に対する緩和研修プログラム(PEACE) 昭和大学病院 (松林、小川)、北部病院(松林)	昭和大学病院
11	平成28年度	昭和大学緩和医療研究会世話人(松林)	昭和大学
12	平成28年度 年12回	昭和大学在宅チーム医療教育推進委員会委員 (中澤)	昭和大学
13	平成28年4月～平成29年3月 年2回	看護キャリア開発・研究センターELNEC-J(松林)	昭和大学病院 北部病院
14	平成29年3月27日	がん医療セミナー「がんの療養を支える社会資源」(小川)	昭和大学病院

院外

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 4 月	看護キャリア開発・研究センターELNEC-J(松林)	名古屋市
2	平成 28 年度 年 4 回	品川・荏原地域包括ケア推進事業実行会議(板垣)	品川区
3	平成 28 年度	城南緩和ケア研究会世話人(松林)	品川区(NTT東 日本関東病院)
4	平成 28 年 4 月 ～平成 29 年 3 月年 10 回	東京都難病医療相談会 相談員(中澤 小川)	東京都医師会館
5	平成 28 年度	品川区虐待防止ネットワーク推進協議会委員(中澤)	品川区
6	平成 28 年度	目黒区高次脳機能障害者支援ネットワーク会議委員(中澤)	目黒区
7	平成 28 年度	東京都神経難病医療ネットワーク事業拠点病院 相談連絡 員(中澤)	東京都

Ⅲ 各部門活動狀況

1 昭和大学病院附属東病院

昭和大学病院附属東病院 診療部門

1) 糖尿病・代謝・内分泌内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：平野 勉

医局長：山本 剛史

(2) 医師数

教授	1 名	講師	2 名	助教(員外)	11 名
准教授	0 名	助教	4 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	18 名
2 年次臨床研修医	31 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本糖尿病学会指導医	5 名
専門医	日本糖尿病学会専門医	11 名
	日本内分泌内科学会専門医	1 名
認定医	日本内科学会認定医	18 名

(5) 主な診療実績

	項目 入院病名	患者数
1	2 型糖尿病	307
2	1 型糖尿病	37
3	原発性アルドステロン症	20
4	急性感染症の合併	19
5	糖尿病合併症の増悪	14
6	甲状腺機能亢進症	11
7	電解質異常	10
8	下垂体機能低下症	8
9	クッシング症候群	5
10	褐色細胞腫	2

	項目 外来患者統計	患者数
1	総外来患者数	5,645
2	新規患者数	925
3	妊娠糖尿病外来患者数	100

2. 高度医療への取り組み

①持続血糖モニタリング Continuous Glucose Monitor (CGM)	外来 CGM の運用をおこなっている。CGM を使用することで血糖値を 24 時間連続して測定することが可能となり、今まで認識できなかった食後高血糖や夜間低血糖などの問題点が明らかになるようになった。
②持続皮下インスリン注入療法 Continuous subcutaneous insulin injection (CSII)	1 型糖尿病患者に積極的に導入している。24 時間連続的にインスリンを注入するポンプを皮下に挿入することで、時間帯によって基礎インスリンの量を変更するなどの複雑な血糖コントロールが可能となった。新しい機種では上述の CGM と併用することによりオンタイムで血糖値を把握しながら治療することもできるようになっている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 11 月 10 日	世界糖尿病デーイベント	昭和大学附属東病院
2	毎月第2水曜日	糖尿病教室	昭和大学病院
3	毎月第2土曜日	ヘルシースクール	昭和大学病院
4	平成 28 年 7 月 2 日	1 型糖尿病患者会イベント	昭和大学病院
5	平成 28 年 9 月 25 日	1 型糖尿病患者会野外講習会	二子玉川河川敷
6	平成 29 年 2 月 4 日	1 型糖尿病患者会勉強会	昭和大学病院

2) 神経内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：小野 賢二郎 医局長：矢野 怜

(2) 医師数

教授	1 名	講師	2 名	助教(員外)	7 名
准教授	1 名	助教	4 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	23 名
2 年次臨床研修医	23 名

(3) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本神経学会指導医	6 名
専門医	日本神経学会専門医	9 名
	日本内科学会総合内科専門医	5 名
	日本脳卒中学会専門医	1 名
	日本認知症学会専門医	1 名
認定医	日本内科学会認定内科医	15 名

(5) 主な診療実績

	主要疾患別 入院患者数	(人)
1	脳血管障害	212
2	パーキンソン病	89
3	てんかん	81
4	末梢神経・筋疾患	52
5	髄膜炎/脳炎/脳症	38
6	アルツハイマー病/レビー小体型認知症)	31
7	多発性硬化症/視神経脊髄炎	26
8	運動ニューロン疾患	19
9	重症筋無力症	13
10	進行性核上性麻痺/大脳皮質基底核変性症/前頭側頭葉変性症	8

	特殊外来・検査 受診者数	(人)
1	ものわすれ外来	110
2	頭痛外来	1,409
3	電気生理検査外来	173
4	経食道心臓超音波	35

2. 高度医療への取り組み

①急性期脳卒中診療	脳神経外科の協力体制のもと、遺伝子組み換え組織プラスミノーゲンアクチベーター(rt-PA)静脈内投与や血管内治療などの急性期再開通療法を駆使し、超急性期から急性期(発症 24 時間以内)の脳卒中患者を対象とした診療を 24 時間体制で行っている。
②アルツハイマー病診療	アルツハイマー病に特有の脳脊髄液バイオマーカー(アミロイドβ蛋白・リン酸化タウ蛋白)、遺伝子検査、MRI・核医学検査などの画像検査、神経心理学的検査を積極的に活用した精度の高いアルツハイマー病の診断を行っている。
③αシヌクレイノパチー診療	αシヌクレイノパチーは細胞内にαシヌクレイン蛋白が沈着する疾患でパーキンソン病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症などが該当する。従来から行われてきた神経学的診察や画像検査に、脳脊髄液中のαシヌクレイン蛋白の測定を加えることで精度の高い診断を目指している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 4 月 8 日	Sleep Discussion Meeting	昭和大学病院
2	平成 28 年 5 月 13 日	認知症カンファレンス	昭和大学病院
3	平成 28 年 5 月 27 日	認知症カンファレンス	昭和大学病院
4	平成 28 年 5 月 31 日	Jonan Stroke Forum	昭和大学病院
5	平成 28 年 6 月 10 日	第 44 回昭和大学神経研究会	昭和大学病院
6	平成 28 年 6 月 29 日	神経内科スキルアップ研究会	昭和大学病院
7	平成 28 年 7 月 1 日	城南パーキンソン病セミナー	昭和大学病院
8	平成 28 年 7 月 11 日	旗の台神経セミナー	昭和大学病院
9	平成 28 年 7 月 20 日	神経内科・脳神経外科ジョイントカンファレンス	昭和大学病院
10	平成 28 年 10 月 14 日	認知症カンファレンス	昭和大学病院
11	平成 28 年 10 月 18 日	第 4 回抗凝固療法研究会	昭和大学病院
12	平成 28 年 11 月 8 日	認知症カンファレンス	昭和大学病院
13	平成 28 年 12 月 9 日	昭和大学学士会後援セミナー	昭和大学病院
14	平成 28 年 12 月 16 日	21 世紀の神経疾患を考える会	昭和大学病院
15	平成 29 年 1 月 23 日	第 10 回脳・心・腎・代謝 Joint Forum	昭和大学病院
16	平成 29 年 2 月 10 日	ニュープロパッチ学術講演会	昭和大学病院
17	平成 29 年 2 月 17 日	城南地区クリニカルセミナー	昭和大学病院
18	平成 29 年 3 月 3 日	神経内科スキルアップセミナー	昭和大学病院
19	平成 29 年 3 月 10 日	昭和大学学士会後援セミナー	昭和大学病院
20	平成 29 年 3 月 24 日	てんかんスキルアップセミナー	昭和大学病院

昭和大学病院附属東病院 診療部門

3) 精神神経科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：岩波 明

医局長：岡島 由佳

(2) 医師数

教授	1 名	講師	0 名	助教(員外)	4 名
准教授	2 名	助教	1 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	0 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本精神神経学会指導医	3 名
専門医	日本精神神経学会専門医	3 名
その他	精神保健指定医	6 名

(5) 主な診療実績

	項目	患者数
1	外来患者数(初診)	699
2	外来患者数(再診)	34,761
3	外来患者数(合計)	35,460

	項目	患者数
1	心理検査	68

2. 高度医療への取り組み

① 専門外来を設置し、より専門的な治療を目指している	パニック障害外来、物忘れ／認知症外来、アスペルガークリニック、PTSD 外来を開設し、より専門医療に特化した外来を心がけている。
② 検査の充実	頭部 MRI、CT、脳波、血液検査などの器質的・身体的検査や心理検査などを組み合わせ、多角的視点から診断確定、治療方針の決定を行なうことを目指している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 11 月 5 日	昭和大学附属烏山病院公開講座	昭和大学附属烏山病院
2	平成 28 年 11 月 5 日	東京都精神科医療地域連携事業公開講演会	昭和大学附属烏山病院
3	平成 28 年 11 月 19 日	第 4 回成人発達障害支援研究会	昭和大学 上條講堂

4) 眼 科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：高橋 春男 医局長：恩田 秀寿

(2) 医師数

教授	1 名	講師	3 名	助教(員外)	6 名
准教授	1 名	助教	3 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	4 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本眼科学会指導医	15 名
専門医	日本眼科学会専門医	23 名

(5) 主な診療実績

	手術	件数
1	白内障	1,875
2	硝子体疾患(硝子体注射)	488(983)
3	眼瞼疾患	112
4	眼窩疾患	96
5	緑内障	61
6	涙器疾患	44
7	強角膜縫合	17
8	斜視	11
9	翼状片	5
10	角膜移植	1

2. 高度医療への取り組み

①トラベクトームを使用した緑内障手術	シュレム氏管をトラベクトームで電氣的に焼灼し房水流出を減らす低侵襲な緑内障を行っている。
②緑内障チューブシャント手術	複数回の濾過手術によっても眼圧下降が得られない難治性緑内障に対し行っている。

③広角眼内観察システムを使用した小切開硝子体手術(MIVS)	接眼レンズを使用せずに眼底を隅々まで観察しながら硝子体手術が可能である。また27Gトロカールを使用し強膜自己閉鎖が可能な小切開手術を行っている。
④有水晶体眼内レンズ(ICL)を用いた屈折矯正手術	強度近視眼や角膜が薄いために LASIK 手術が適応でない症例に対し行っている。
⑤ブローアウトバルーンを用いた眼窩底骨折整復術	上顎洞内でバルーンを膨らませることで、骨折した眼窩骨をそのまま利用できる手術を行っている。
⑥ナビゲーションシステム	ナビゲーションシステムを使用し、確実な眼窩内手術、視神経管開放術を行っている。
⑦涙道内視鏡	SGI (Seath guided intubation)により涙道内への確実なチューブ留置が可能である。
⑧未熟児網膜症	小児科、産婦人科と連携し未熟児網膜症の診察、レーザー治療を行っている。
⑨生物学製剤	加齢黄斑変性に対する VEGF 阻害薬硝子体注入や眼ベージェットに対する抗ヒト TNF α 抗体の全身投与を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 18 日	第 6 回昭和大学眼科学術研究会	臨床講堂
2	平成 28 年 9 月 10 日	第 4 回 SOC	臨床講堂
3	平成 28 年 10 月 19 日	第 7 回昭和大学眼科学術研究会	目黒雅叙園
4	平成 29 年 2 月 25 日	第 4 回 SOM	目黒雅叙園

5) 皮膚科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：末木 博彦

医局長：大歳 晋平

(2) 医師数

教授	2 名	講師	3 名	助教(員外)	20 名
准教授	1 名	助教	2 名		

(3) 臨床研修医受入実績

1 年次臨床研修医	0 名
2 年次臨床研修医	15 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医	5 名
-----	-----------------	-----

(5) 主な診療実績

	主な検査・処置	患者数
1	光線療法 【ナローバンド UVB 照射】	2,625
2	いぼ冷凍凝固術	1,959
3	真菌検鏡	1,303
4	鶏眼胼胝処置	861
5	ダーモスコピー	696
6	局所免疫療法 【SADBE 療法】	445
7	パッチテスト・皮内テスト	98
8	陥入爪ワイヤー法	93
9	尋常性疣贅に対する塩酸 ブレオマイシン局注療法	57
10	皮膚切開術	89

	入院患者	患者数
1	蜂窩織炎・丹毒	67
2	皮膚良性腫瘍(手術)	52
3	帯状疱疹	45
4	皮膚悪性腫瘍(手術・化学療法・放射線治療)	34
5	薬疹・中毒疹	33
6	乾癬	14
7	アトピー性皮膚炎	6
8	血管炎	6
9	蕁麻疹	4
10	カポジ水痘様発疹症	3

2. 高度医療への取り組み

①重症型薬疹	重症型薬疹（Stevens-Johnson 症候群：SJS、中毒性表皮壊死症：TEN、薬剤過敏症症候群：DIHS）に対する免疫グロブリン静注療法を含めた集学的治療
②乾癬	尋常性乾癬、膿疱性乾癬、関節症性乾癬に対する生物学的製剤治療（静注・皮下注）

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 14 日	第 19 回昭和大学皮膚科懇話会	東京カンファレンスセンター品川
2	平成 28 年 12 月 3 日	第 20 回昭和大学皮膚科懇話会	AP 品川アネックス

昭和大学病院附属東病院 診療部門

6) 麻酔科（ペインクリニック）

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：大嶽 浩司

医局長：上嶋 浩順

(2) 医師数

教授	1 名	講師	3 名	助教(員外)	1 名
准教授	3 名	助教	17 名		

(3) 臨床研修医受入実績 ※再掲

1 年次臨床研修医	70 名
2 年次臨床研修医	5 名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本麻酔科学会指導医	3 名
専門医	日本麻酔科学会専門医	5 名
	日本ペインクリニック学会専門医	2 名
	日本集中治療医学会専門医	3 名
	日本心臓血管麻酔学会専門医	3 名
	呼吸療法専門医	2 名
認定医	日本麻酔科学会認定医	6 名
	日本小児麻酔学会認定医	1 名

(5) 主な診療実績

	項目	患者数
1	星状神経節ブロック	1,679
2	硬膜外ブロック	817
3	仙骨ブロック	546
4	超音波ガイド神経ブロック	858
5	透視ガイド神経ブロック	200

2. 高度医療への取り組み

①脊髄刺激療法	難治性疼痛に対するインターベンショナル治療法として施行している。脊髄後索に植え込んだ電極を通じて様々な電氣的刺激を行い、痛みを軽減する方法。薬物療法や神経ブロック治療に抵抗を示す、難治性の神経障害性痛が適応となる。
②パルス高周波法	特殊な神経ブロック針を用いて、神経に高周波電流を42度で間欠的に通電することで、神経に障害を与えず痛みを軽減する方法。従来の神経ブロックに比較して、長期間の鎮痛効果を得られる。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年3月29日	第2回痛み治療を考える会	昭和大学

昭和大学病院附属東病院 中央診療部門

1) 手術室

1. 人員構成

所属長(東病院 院長)	河村 満
師長	1 名(外来・病棟兼任)
係長	1 名
看護師	13 名
中央材料室	3 名

2. 資格者一覧

感染管理認定看護師	1 名
-----------	-----

3. 業務実績

手術件数	平成 28 年度
眼科	3,342 件
白内障手術	1,594 件
その他	1,748 件
皮膚科	177 件
合計	3,519 件

2) 薬 局

1. 人員構成

薬局長(代行)	佐々木 忠徳
その他	5 名

2. 資格者一覧

日本病院薬剤師会 生涯研修認定	5 名
日本病院薬剤師会 生涯研修履修認定	2 名
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師	2 名
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	1 名
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師	3 名
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	2 名
日本アンチドーピング機構 スポーツファーマシスト	1 名
日本腎臓病薬物療学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師	1 名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	1 名
日本褥瘡学会 認定褥瘡薬剤師	1 名
日本リウマチ財団 リウマチ財団登録薬剤師	2 名

3. 業務実績

①処方箋業務(月平均)(前年度比)

外来処方箋枚数	229 枚(19.1 枚)(80.1%)
入院処方箋枚数	24,394 枚(2,032.8 枚)(95.5%)
入院処方箋疑義照会件数	118 件(9.8 件)(74.2%)
入院処方箋疑義照会率(件数/処方箋枚数)	0.5%
院外処方箋疑義照会件数	3,200 件(266.7 件)(145.5%)

②医薬品情報管理業務(月平均)(前年度比)

医薬品情報提供(問い合わせ)件数	101 件(8.4 件)(80.2%)
------------------	---------------------

③薬剤管理指導業務(月平均)(前年度比)

介入患者数	5,005 人(417.1 人)(88.0%)
介入率(介入患者数/全入院患者数)	82.2%
薬剤管理指導人数	2,955 人(246.3 人)(92.4%)
退院指導人数	2,285 人(190.4 人)(77.7%)
薬剤管理指導 325 点	1,851 件(154.3 件)(90.4%)

380 点	2,073 件(172.8 件)(117.9%)
退院時薬剤情報管理指導 90 点	2,021 件(168.4 件)(92.7%)
入院患者持参薬確認件数	3,471 件(289.3 件)(83.0%)

④治験薬管理(品目数)

	品目数			
診療科名	前年度繰越	新規受領	返却済み	管理中
皮膚科	3	1	1	3
リウマチ・膠原病内科	2	0	1	1
精神神経科	1	1	1	1
麻酔科	1	0	1	0
合 計	7	2	4	5

⑤学会・病院薬剤師会委員活動等

日本腎臓病薬物療法学会代議員	1 名
私立医科大学協会感染対策協議会薬剤師専門職部会	1 名
東京腎と薬剤研究会世話人	1 名
東京都病院薬剤師会 輸液・栄養領域薬剤師養成特別委員	1 名
東京都病院薬剤師会 褥瘡領域薬剤師養成特別委員	1 名

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 7 月 16 日	第 2 回 Team Pharmacist Seminar オンコロジー領域における地域医療・チーム医療	昭和大学病院
2	平成 29 年 1 月 28 日	第 3 回 Team Pharmacist Seminar 認知症とチーム医療	昭和大学病院

4) 放射線室

1. 人員構成

准教授(技師長兼務)	佐藤 久弥
主査(診療放射線技師)	今井 康人
その他	1 名

2. 資格者一覧

放射線管理士	1 名
MDIC 認定技師	2 名
放射線機器管理士	1 名
医療画像情報精度管理士	1 名

3. 業務実績

①東病院検査件数

モダリティ	平成 27 年度	平成 28 年度
一般撮影	6,752	11,928
ポータブル撮影	1,345	1,453
DR 検査	159	207
CT 検査	4,382	3,110

* 単位(件数)

②研修会開催

1	統括放射線技術部主査研修会	平成 28 年 7 月 23 日	6 名(今井 康人、渋谷 徹、久保 聡、 築 郁子、尾崎 道雄、橘高 大介)
---	---------------	------------------	---

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 4 月 24 日	放射線教育への貢献 第 15 回昭和大学診療放射線技師学術大会	学内

昭和大学病院附属東病院 診療・患者支援部門

5) 栄養科

1. 人員構成

科長補佐	菅野 丈夫
係長	中田 美江
栄養士	4 名
調理師	2 名

2. 資格者一覧

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士	1 名
日本病態栄養学会 病態栄養認定管理栄養士	1 名
日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士	1 名
日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士	1 名
厚生労働大臣 給食用特殊料理専門調理師	1 名
厚生労働大臣 調理技能士	1 名

3. 業務実績

①給食数

一般常食	54,809 食 (43.3%)
一般軟菜	11,930 食 (9.4%)
流動食	154 食 (0.1%)
学童小児食	212 食 (0.1%)
非加算治療食	86,190 食 (15.1%)
加算治療食	40,461 食 (32.0%)
合計	126,651 食 (100%)

②栄養指導件数(個人指導)

糖尿病	686 件 (81.8%)	消化管疾患	2 件 (0.2%)
腎臓病	84 件 (10.1%)	その他	2 件 (0.2%)
脂質異常症	40 件 (4.7%)		
糖尿病透析予防指導	15 件 (1.7%)		
心臓病	11 件 (1.3%)	合計	2,799 件 (100%)

③栄養指導件数(集団指導)

糖尿病教育入院	47 件 /年
---------	---------

④NST 実施件数

神経内科	163 件 (53.8%)	循環器内科	2 件 (0.7%)
リウマチ・膠原病内科	93 件 (30.6%)	脳神経外科	1 件 (0.3%)
皮膚科	25 件 (8.3%)	消化器・一般外科	1 件 (0.3%)
糖尿病内科	15 件 (5.0%)		
整形外科	3 件 (1.0%)	合計	303 件 (100%)

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 11 月 10 日	世界糖尿病デー	昭和大学病院附属東病院

昭和大学病院附属東病院 診療運営部門

2) 管理課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	市川 三津子
その他	20 名

2. 業務実績

①ワークショップ開催

	テーマ	主催/参加者	開催月日	開催場所
1	新入院患者を増やすには	病院/多職種	平成 28 年 6 月 17 日(金) ～18 日(土)	TKP 品川カンファレンスセンター

②保険診療講習会

	開催月日	講師	開催場所
1	平成 28 年 11 月 16 日(木)	昭和大学病院 消化器一般外科 助教 吉澤 宗大	上條講堂
2	平成 29 年 2 月 21 日(火)	昭和大学統括保険診療管理室 室長 澁澤 三喜	上條講堂

③人権啓発講習会

	開催月日	開催場所	対象者
1	平成 28 年 6 月 16 日(木)	中央棟 7 階会議室	病院管理者層
2	平成 28 年 9 月 26 日(月)	入院棟臨床講堂	病院職員
3	平成 28 年 9 月 29 日(木)	入院棟臨床講堂	病院職員

④院内イベント(ボランティアによるコンサート)

	開催月日	開催場所	出演者	演目	参加人数
1	平成 28 年 6 月 24 日(金)	E3 デイルーム	ギタラス・オロ	ギターアンサンブル	31 名
2	平成 28 年 8 月 26 日(金)	E3 デイルーム	榊 ゆかり 他 河村病院長	弦楽三重奏	28 名
3	平成 28 年 10 月 28 日(金)	E3 デイルーム	ジージーズ	男性カルテット	14 名
4	平成 28 年 12 月 16 日(金)	E3 デイルーム	おもひでサンデー	マンドリン演奏	44 名
5	平成 29 年 2 月 24 日(金)	E3 デイルーム	大東 晋 櫻岡 史子	パンフルート演奏	44 名

3. 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容	開催地
1	平成 28 年 10 月 22 日(土)	臨床セミナー	シェラトン都ホテル東京
2	平成 28 年 11 月 10 日(木)	「世界糖尿病デー」イベント	東病院

1) 医療安全管理部門

1. 人員構成

役職	氏名
医療安全管理部門長(病院長)	河村 満
副部門長(管理課長)	市川 三津子
医療安全管理者(看護師長)	彦山 弘子
医薬品安全管理責任者(薬局係長)	嶋村 弘史
医療機器安全管理責任者(診療放射線技師)	今井 康人

2. 業務実績

①アクシデント・インシデント報告件数(合併症を含む)

分類	インシデント件数	アクシデント件数 (警鐘事例含む)
誤薬(内服・外用)	336件	2件
誤注射・輸血	119件	0件
転倒・転落	116件	5件
チューブトラブル	95件	0件
検査・画像	87件	0件
手術・ME	67件	1件
食事・その他	275件	2件
合計	1095件	10件

②インシデントレポート職種別報告件数(アクシデントは除く)

職 種	件数	報告率
医師(研修医含む)	60件	5.5%
看護師	937件	85.5%
その他	98件	9.0%
合計	1095件	100.0%

③医療安全管理部門主催講習会

講習会	開催回数
医療安全講習会(全体講習)	6 回
部署別職員研修会	25 回
BLS講習会	31 回
CVCインストラクター研修会	3 回
人工呼吸器実践講習会	9 回

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①医療安全推進週間

平成28年度は11月24日～11月30日の1週間を医療安全推進週間と定め、「患者確認」をテーマにし期間中に在院・来院された方へ「患者さんを正しく確認するためにお名前をフルネームで名乗っていただく」ことへのご協力をいただきたい旨を添えたポケットティッシュの配布や、外来患者さんに当院職員の患者確認行動に関するアンケートにご協力いただいた。患者確認は95%の方がされているとの回答で、安心が得られるとの結果であった。

職員を対象に『安全活動自慢大会』を開催し、例年の院内各部署の医療安全に関する取り組みを紹介する「医療安全活動自慢」と「安全標語」の掲示も行いました。患者さんおよび職員の投票により最優秀賞を決定し、部署を表彰した。今後も様々な活動を通して、医療安全の推進を図っていくことを広報掲示した。

活動自慢最優秀賞 <東病院> 東手術室『急変対応の訓練』

安全標語最優秀賞 <東病院> 管理課管理係『一人じゃないよ！！チーム医療』

1) 感染管理部門

1. 人員構成

感染管理部門長(感染症専門医)	二木 芳人	感染管理副部門長(感染症専門医)	詫間 隆博
医師	矢野 怜	次長(看護師)	荒川 千春
専従感染管理者(感染管理認定看護師)	秋間 悦子	薬剤師	吉川 雅之
臨床検査技師	清野 桂子	その他	2名

2. 資格者一覧

日本感染症学会専門医	2名
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	2名
インфекションコントロールドクター(ICD)	2名
感染管理認定看護師	1名
感染制御認定薬剤師	1名
日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師	1名

3. 業務実績

①新規 MRSA 検出件数

項目	件数・検出率
院内発生新規 MRSA	19 件(昨年 22 件)
持ち込み新規 MRSA(入院後 48 時間以内に検出)	11 件(昨年 12 件)
MRSA 検出率(新規 MRSA/延べ入院患者数×1,000)	0.37/1000days(昨年 0.41)

②針刺し切創・血液曝露事例発生件数

項目	件数
針刺し切創件数	9 件うち未使用針 5 件(昨年 8 件)
血液・体液曝露件数	0 件(昨年 2 件)
針刺し切創事例のうちリキャップによる事例	0 件(昨年 1 件)
針刺し切創事例のうち手術室事例	5 件(昨年 4 件)

③ICT(環境)ラウンド件数

場 所	回 数
病 棟	36 回
外 来・中材・手術室	24 回
中央部門(薬局,検査室,栄養科,食堂)	24 回

④抗菌薬適正使用ラウンド・AST(抗菌薬適正使用支援チーム)ラウンド件数

場 所	件数
抗菌薬適正使用ラウンド	51 回
AST ラウンド(血液培養陽性例)	58 例

⑤医療安全・感染対策講習会開催

	テーマ	開催日	人 数
1	活用しよう！ポケットマニュアル	平成 28 年 4 月 21 日	140 名
2	院内感染事例について インフルエンザ、結核	平成 28 年 5 月 10 日	156 名
3	・病院長からのメッセージ ・感染管理部門長からのメッセージ	平成 28 年 8 月 24 日	69 名
4	多剤耐性アシネトバクターによるアウトブレイクの経験	平成 28 年 9 月 14 日	57 名
5	血液培養の検出状況とコンタミネーション率	平成 28 年 11 月 17 日	74 名
6	院内感染事例について	平成 29 年 1 月 30 日	53 名

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 28 年 5 月 11 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
2	平成 28 年 5 月 12 日	第 19 回昭和感染症フォーラム	目黒雅叙園
3	平成 28 年 9 月 9 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
4	平成 28 年 11 月 18 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
5	平成 28 年 12 月 1 日	第 20 回昭和感染症フォーラム	目黒雅叙園
6	平成 28 年 12 月 16 日	昭和大学 Infection Control Forum	昭和大学病院
7	平成 29 年 3 月 8 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院

②手洗いキャンペーン

	開催年月日	職種	人 数
1	平成 28 年 11 月 8 日～11 日	医師	6 名
		臨床研修医	2 名
		看護師	68 名
		薬剤師	6 名
		臨床検査技師	5 名
		患者	35 名
		その他	84 名

病院年報委員会 名簿

委員長	大 嶽 浩 司	(副院長／麻酔科)
委 員	矢 野 怜	(神経内科)
委 員	野 本 朋 宏	(消化器内科)
委 員	渡 辺 誠	(消化器・一般外科)
委 員	森 田 順	(泌尿器科)
委 員	小 林 宏 栄	(看護部)
委 員	白 井 敦	(薬局)
委 員	佐 藤 久 弥	(放射線室)
委 員	家 泉 桂 一	(臨床検査室)
委 員	吉 田 勝 彦	(臨床検査室)
委 員	板 谷 一 夫	(臨床検査室)
委 員	結 城 祐 磨	(管理課)
委 員	飯 田 真 由	(管理課)
委 員	市 川 三津子	(東病院管理課)
委 員	田 丸 直 樹	(クオリティマネジメント課)
委 員	荒 川 博 美	(医事課)
委 員	檜 野 雅 実	(医療推進課)

平成28年度 病院年報

平成29年10月発行

編 集	病院年報委員会
発 行	昭和大学病院
	〒142-8666
	東京都品川区旗の台1-5-8
	昭和大学病院附属東病院
	〒142-0054
	東京都品川区西中延2-14-19
印 刷	(有) 創文社
